```
[Check]
                                                                                                                      Ver. 1. 20 2016/12/17
           【想定するサーバのスペックとネットワーク構成】
     \bigcirc
 20
     \bigcirc
 30
     \bigcirc
          CPU: 2Core 以上
 40
     \bigcirc
         Memory: 2GB 以上
                                                  ※ この手順書では、 2GB にて例示
 50
     \bigcirc
         DVD ドライブ: 1台
 60
         HDD 1: 8GB 以上
                           (1st Disk, OS 用)
     \bigcirc
                                                 *
 70
                                                      この手順書では、 40GB にて例示
         HDD 2: 1GB 以上
 80
     \bigcirc
                           (swap 用)
                                                     この手順書では、 1GB にて例示
                                                 ※ この手順書では、100GB にて例示
                           (2nd Disk, データ用)
         HDD 3: 1GB 以上
                                                 ※ この手順書では、100GB にて例示
         HDD 4: 1GB 以上
                           (3rd Disk, データ用)
100
                         (4th Disk, データ用)
                                                 ※ この手順書では、100GB にて例示
110
     \bigcirc
         HDD 5: 1GB 以上
                         (5th Disk, データ用) ※ この手順書では、100GB にて例示
120
         HDD 6: 1GB 以上
                                                         (IBM Bluemix(SoftLayer) では Private VLAN) へ接続
         NIC 1: 1Gbps 以上、サービス用セグメント
130
         NIC 2: 1Gbps 以上、インターコネクト用セグメント (IBM Bluemix(SoftLayer) では Public VLAN) へ接続
140
         NIC 3: 1Gbps 以上、サービス用セグメント (IBM Bluemix(SoftLayer) では Private VLAN) へ接続
150
     \bigcirc
         NIC 4: 1Gbps 以上、インターコネクト用セグメント (IBM Bluemix(SoftLayer) では Public VLAN) へ接続
160
     \bigcirc
170
180
     \bigcirc
                                                                                                        「インターコネクト・セグメント〕
     \bigcirc
190
                         (eth1, eth3) bond1
                                              クラスタ ID: 1
                                                                        bond1 (eth1, eth3)
                                                                                                                        192, 168, 1, 0/24
                                                                                                                             MTU: 9000
     \bigcirc
200
              iscsitgt01a.example.com
210
     \bigcirc
                                                                            iscsitgt01s.example.com
220
     \bigcirc
                                                                                                                    InitiatorName:
                   1st Disk: OS
                                                             Oracle Linux 7.3
                                                                                1st Disk: OS
     \bigcirc
230
                                   Oracle Linux 7.3
                                                                                                       /dev/sda
                                                                                                                         initiator01
     \bigcirc
240
                                                                                                                         initiator02
                  Swap Disk
250
     \bigcirc
                                                                                     Swap Disk
                                                                                                       /dev/sdb
                                                                                                                         initiator03
     \bigcirc
260
                                                                                                                         initiator04
270
     \bigcirc
                   2nd Disk
                                LVM(vg0)
                                                                        LVM(vg0)
                                                                                      2nd Disk
                                                                                                       /dev/sdc
     \bigcirc
280
                   3rd Disk
                                    DRBD
                                                                        DRBD
                                                                                      3rd Disk
                                                                                                       /dev/sdd
                                                                                                                   NTP1: 10. 0. 77. 54
290
     \bigcirc
                   4th Disk
                                LVM(vg1)
                                                                        LVM(vg1)
                                                                                      4th Disk
                                                                                                       /dev/sde
                                                                                                                   NTP2:
300
     \bigcirc
                   5th Disk
                                                                                      5th Disk
                                                                                                       /dev/sdf
                                                                                                                   NTP3:
310
     \bigcirc
                                    iSCSI
                                                                       iSCSI
                                                                                                                   NTP4:
                                 1un0, 1, 2, 3
                                                                     lun0, 1, 2, 3
320
     \bigcirc
330
     \bigcirc
                                                                      Snapshot
                                                                                                        Router
                                                                                                                   DNS1: 10.0.80.11
                                  Snapshot
     \bigcirc
340
                                                                                                                   DNS2: 10. 0. 80. 12
                                                                        .58
350
     \bigcirc
                                     .57
                                              VIP
                                                                        bond0 (eth0, eth2)
                         (eth0, eth2) bond0
360
     \bigcirc
                                                                                                                「サービス・セグメント〕
     \bigcirc
                                              .59
                                                                                                                        10, 110, 88, 0/26
370
                                             iscsitgt01.example.com
     \bigcirc
380
                                                                                                                             MTU: 9000
     \bigcirc
390
```

※ 当文書内で緑色にした部分は、環境に合わせて読み替えたり、カスタマイズ(名前を変えたり、実行するしないを選択)

 $\bigcirc$ 

 $\bigcirc$ 

400

410

```
する部分を表します。ただし、日付や注目していない UUID 等は除きます。
420
430
440
           ※ IBM Bluemix(SoftLaver) のベアメタルサーバで NIC を冗長化した場合、
               「NIC 1 (eth0)」と「NIC 3 (eth2)」、「NIC 2 (eth1)」と「NIC 4 (eth3)」が LAG で束ねられています。
450
           ※ 本手順書では、LAG の設定がない前提としますが、LAG 対応させるための設定方法は注記しておきます。
460
           ※ IBM Bluemix (SoftLayer) の仮想サーバは、ベアメタルサーバと比較して、主に以下の相違点があります。
470
               ・「NIC 3」と「NIC 4」を追加できません。
480
               ・MTU は 1500 までしかサポートされません。
490
500
               ・ローカルストレージのデバイス名が異なります。
510
        【共有ストレージの構成】
520
    \bigcirc
530
                         LVM 物理ボリューム
540
    \bigcirc
       /dev/sdc
    \bigcirc
       /dev/sdd
                         LVM 物理ボリューム
550
    \bigcirc
       /dev/sde
                        LVM 物理ボリューム
560
570
    \bigcirc
       /dev/sdf
                         LVM 物理ボリューム
    \bigcirc
                         LVM ボリュームグループ
580
       vg0
590
    \bigcirc
       /dev/vg0/1v-drbd0
                         LVM 論理ボリューム (DRBD 用ブロックデバイスとして使用)
    \bigcirc
                         DRBD リソース (LVM 物理ボリュームとして使用)
600
       /dev/drbd0
    \bigcirc
                         DRBD 上のボリュームグループ(「vg +「クラスタ ID」)
610
       vg1
                         DRBD 上の LVM 論理ボリューム (LUN としてエクスポート)
620
    \bigcirc
       dev/vg1/1v-1un0000
                         DRBD 上の LVM 論理ボリューム (LUN としてエクスポート)
    \bigcirc
630
       dev/vg1/1v-1un0001
    \bigcirc
       dev/vg1/1v-1un0002
                         DRBD 上の LVM 論理ボリューム (LUN としてエクスポート)
640
                         DRBD 上の LVM 論理ボリューム (LUN としてエクスポート)
650
    \bigcirc
       dev/vg1/1v-1un0003
660
670
```

```
【OS のインストールと初期設定】
680
     \bigcirc
690
         インストーラを DVD ドライブにセットし、サーバを起動します。
700
710
720 a, s
         # V834394-01. iso (Oracle Linux 7.3)
730
         インストーラの起動メニューが表示されたら60秒以内に「Tab」キーを押下します。
740
750
760 a, s
         # Tab
770
         起動オプションを以下のように編集し、「Enter」キーを押下します。
780
     \bigcirc
790
800 a, s
         # vmlinuz ··· rd. live. check quiet
810 a, s
         # vmlinuz ··· net. ifnames=0 biosdevname=0 selinux=0 vconsole. keymap=jp106
820 a, s
830
              ※ 英語キーボードとして認識されている状態なので、「=」を入力するには「^」を押下します。
840
850
         anaconda の「Welcome」画面が出てきたら「Ctrl + Alt + F3」キーを押下し、シェルに移行します。
860
870
880 a, s
         # Ctrl + Alt + F3
890
          [anaconda root@localhost /]#
900
         HDD の情報を確認します。
910
     \bigcirc
920
930 a, s
          fdisk -1 | grep Disk | sort
940
          Disk /dev/mapper/live-base: 2147 MB, 2147483648 bytes, 4194304 sectors
         Disk /dev/mapper/live-rw: 2147 MB, 2147483648 bytes, 4194304 sectors
950
960
          Disk /dev/sda: 42.9 GB, 17179869184 bytes, 33554432 sectors
970
          Disk /dev/sdb: 1073 MB, 1073741824 bytes, 2097152 sectors
980
          Disk /dev/sdc: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
990
          Disk /dev/sdd: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
1000
          Disk /dev/sde: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
          Disk /dev/sdf: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
1010
1020
         パーティションを作成します。
1030
     \bigcirc
1040
         fdisk -H 64 -S 32 /dev/sda
1050 a, s
          Welcome to fdisk (util-linux 2.23.2).
1060
1070
1080
          Changes will remain in memory only, until you decide to write them.
```

```
1090
           Be careful before using the write command.
1100
1110
           Device does not contain a recognized partition table
1120
           Building a new DOS disklabel with disk identifier 0x2a058c02.
1130
1140 a, s
           Command (m for help): o
1150
           Building a new DOS disklabel with disk identifier 0xc9c2368a.
1160
1170 a, s
           Command (m for help): n
1180
           Partition type:
1190
                 primary (0 primary, 0 extended, 4 free)
1200
              e extended
1210 a, s
           Select (default p): [Enter]
1220
           Using default response p
           Partition number (1-4, default 1): [Enter]
1230 a, s
           First sector (2048-83886079, default 2048): [Enter]
1240 a, s
           Using default value 2048
1250
1260 a, s
           Last sector, +sectors or +size {K, M, G} (2048-83886079, default 83886079): +500M
1270
           Partition 1 of type Linux and of size 500 MiB is set
1280
           Command (m for help): a
1290 a, s
1300
           Selected partition 1
1310
           Command (m for help): n
1320 a, s
1330
           Partition type:
1340
              p primary (1 primary, 0 extended, 3 free)
1350
                 extended
           Select (default p): [Enter]
1360 a.s
           Using default response p
1370
           Partition number (2-4, default 2): [Enter]
1380 a, s
           First sector (1026048-83886079, default 1026048): [Enter]
1390 a, s
1400
           Using default value 1026048
           Last sector, +sectors or +size {K, M, G} (1026048-83886079, default 83886079): [Enter]
1410 a, s
           Using default value 83886079
1420
           Partition 2 of type Linux and of size 39.5 GiB is set
1430
1440
           Command (m for help): p
1450 a, s
1460
1470
           Disk /dev/sda: 42.9 GB, 42949672960 bytes, 83886000 sectors
           Units = sectors of 1 * 512 = 512 bytes
1480
           Sector size (logical/physical): 512 bytes / 512 bytes
1490
```

```
1500
           I/O size (minimum/optimal): 512 bytes / 512 bytes
1510
           Disk label type: dos
1520
           Disk identifier: 0xc9c2368a
1530
1540
              Device Boot
                                Start
                                              End
                                                       Blocks
                                                                Id System
                                 2048
           /dev/sda1
1550
                                          1026047
                                                        512000
                                                                 83 Linux
1560
           /dev/sda2
                              1026048
                                         83886079
                                                     41430016
                                                                83 Linux
1570
1580 a, s
           Command (m for help): w
1590
           The partition table has been altered!
1600
           Calling ioctl() to re-read partition table.
1610
1620
           Syncing disks.
1630
           fdisk -H 64 -S 32 /dev/sdb
1640 a, s
1650
           Welcome to fdisk (util-linux 2.23.2).
1660
1670
           Changes will remain in memory only, until you decide to write them.
1680
           Be careful before using the write command.
1690
1700
           Device does not contain a recognized partition table
1710
           Building a new DOS disklabel with disk identifier 0x2a058c02.
1720
           Command (m for help): o
1730 a, s
1740
           Building a new DOS disklabel with disk identifier 0xb3afd860.
1750
           Command (m for help): n
1760 a, s
1770
           Partition type:
                  primary (0 primary, 0 extended, 4 free)
1780
1790
                  extended
           Select (default p): [Enter]
1800 a, s
1810
           Using default response p
           Partition number (1-4, default 1): [Enter]
1820 a, s
1830 a, s
           First sector (2048-2097151, default 2048): [Enter]
           Using default value 2048
1840
           Last sector, +sectors or +size {K, M, G} (2048-2097151, default 2097151): [Enter]
1850 a, s
1860
           Using default value 2097151
1870
           Partition 1 of type Linux and of size 1023 MiB is set
1880
1890 a, s
           Command (m for help): t
1900
           Selected partition 1
```

```
Hex code (type L to list all codes): 82
1910 a, s
           Changed type of partition 'Linux' to 'Linux swap / Solaris'
1920
1930
1940 a, s
           Command (m for help): p
1950
1960
           Disk /dev/sdb: 1073 MB, 1073741824 bytes, 2097152 sectors
1970
           Units = sectors of 1 * 512 = 512 bytes
1980
           Sector size (logical/physical): 512 bytes / 512 bytes
1990
           I/O size (minimum/optimal): 512 bytes / 512 bytes
2000
           Disk label type: dos
2010
           Disk identifier: 0xb3afd860
2020
2030
              Device Boot
                               Start
                                             End
                                                      Blocks
                                                               Id System
2040
           /dev/sdb1
                                2048
                                                     1047552
                                                               82 Linux swap / Solaris
                                         2097151
2050
           Command (m for help): w
2060 a, s
2070
           The partition table has been altered!
2080
2090
           Calling ioctl() to re-read partition table.
           Syncing disks.
2100
2110
2120 a, s
           fdisk -l |
                     grep /dev/ | sort
           /dev/sda1
                                2048
2130
                                         1026047
                                                      512000
                                                               83 Linux
2140
           /dev/sda2
                             1026048
                                        83886079
                                                    41430016
                                                               83 Linux
2150
           /dev/sdb1
                                2048
                                         2097151
                                                     1047552
                                                               82 Linux swap / Solaris
2160
           Disk /dev/mapper/live-base: 2147 MB, 2147483648 bytes, 4194304 sectors
           Disk /dev/mapper/live-rw: 2147 MB, 2147483648 bytes, 4194304 sectors
2170
2180
           Disk /dev/sda: 42.9 GB, 42949672960 bytes, 83886080 sectors
2190
           Disk /dev/sdb: 1073 MB, 1073741824 bytes, 2097152 sectors
2200
           Disk /dev/sdc: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
2210
           Disk /dev/sdd: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
2220
           Disk /dev/sde: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
2230
           Disk /dev/sdf: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
2240
            「Ctrl + Alt + F6」キーを押下し、anaconda の「welcome」画面に戻ります。
2250
      \bigcirc
2260
           # Ctrl + Alt + F6
2270 a, s
2280
            「English (United States)」が選択されていることを確認し、「Continue」を選択します。
2290
      \bigcirc
2300
2310 a, s
           # Continue
```

```
2320
          「DATE & TIME」を選択し、「Asia / Tokyo」を選択します。
2330
2340
2350 a, s
         # DATE & TIME: Asia / Tokyo
2360
2370
          「KEYBOARD」を選択し、「Japanese (OADG 109A)」のみ選ばれているように選択します。
2380
         # KEYBOARD: Japanese (OADG 109A)
2390 a, s
2400
          「INSTALLATION DESTINATION」を選択し、以下のように設定します。
2410
2420
2430
            デバイス名 FS
                           MountPoint ラベル
2440 a, s
         # /dev/sdal xfs /boot
                                 /boot
         # /dev/sda2 xfs /
2450 a, s
         # /dev/sdb1 swap
2460 a, s
                                 swap
2470
2480 🔾
          「Begin Install」を選択します。
2490
2500 a, s
         # Begin Install
2510
          「ROOT PASSWORD」を選択し、パスワードを設定します。
2520 🔾
2530
         # ROOT PASSWORD: ******
2540 a, s
2550
          「Reboot」ボタンが表示されるのを待ち、「Reboot」を選択します。
2560
2570
2580 a, s
         # Reboot
2590
         再起動処理中に Eject されたインストーラをDVDドライブから取り外します。
2600
2610
2620 a, s
         # Eject DVD
2630
         再起動完了後、コンソールにてログインします。
2640
2650
2660
         Oracle Linux Server 7.3
         Kernel 4. 1. 12-61. 1. 18. el7uek. x86_64 on an x86_64
2670
2680
         localhost login: root
2690 a, s
2700 a, s
         Password: *****
         [root@localhost ~] #
2710
2720
```

```
MAC アドレスを確認します。
2730
2740
2750 a, s
          ip addr show
2760
          1: lo: <LOOPBACK, UP, LOWER UP> mtu 65536 gdisc nogueue state UNKNOWN
2770
              link/loopback 00:00:00:00:00:00 brd 00:00:00:00:00
2780
              inet 127. 0. 0. 1/8 scope host lo
2790
                valid lft forever preferred lft forever
2800
             inet6 ::1/128 scope host
2810
                valid lft forever preferred lft forever
          2: eth0: <BROADCAST, MULTICAST, UP, LOWER_UP> mtu 1500 qdisc mq state UP qlen 1000
2820
2830
             link/ether 00:0c:29:08:b8:5f brd ff:ff:ff:ff:ff
2840
          3: eth1: <BROADCAST, MULTICAST, UP, LOWER_UP> mtu 1500 qdisc mq state UP qlen 1000
2850
              link/ether 00:0c:29:08:b8:41 brd ff:ff:ff:ff:ff
2860
          4: eth2: <BROADCAST, MULTICAST, UP, LOWER UP> mtu 1500 qdisc mg state UP glen 1000
             link/ether 00:0c:29:08:b8:4b brd ff:ff:ff:ff:ff
2870
2880
          5: eth3: <BROADCAST, MULTICAST, UP, LOWER_UP> mtu 1500 qdisc mq state UP qlen 1000
2890
             link/ether 00:0c:29:08:b8:55 brd ff:ff:ff:ff:ff
2900
          MAC アドレスをもとに、 LAN ケーブルの結線(組み合わせ)を設計通りに修正します。
2910
2920
                 この後の手順で、NIC デバイス名の方を入れ替えても構いません。
2930
2940
          IP アドレスを一時的に設定します。
2950
2960
2970
         ip addr add 10.110.88.57/26 dev eth0
2980
2990
         ip addr add 10.110.88.58/26 dev eth0
3000
              ※ デバイス名が意図するものとずれている場合、デバイス名は適宜変更する必要があります。
3010
3020
          必要に応じて、デフォルトゲートウェイを一時的に設定します。
3030
3040
3050
          ip route add default via 10.110.88.1
3060
          root にて、ssh でログインします。
3070
3080
3090
         ssh root@10, 110, 88, 57
          The authenticity of host '10.110.88.57 (10.110.88.57)' can't be established.
3100
          ECDSA key fingerprint is 95:bc:49:71:b2:a3:dd:ab:63:ad:35:e4:fe:4d:fc:82.
3110
         Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes
3120
          Warning: Permanently added '10.110.88.57' (ECDSA) to the list of known hosts.
3130
```

```
3140
          root@10.110.88.57's password: *******
3150
           Last login: Sat Oct 29 18:33:24 2016
3160
3170
          ssh root@10, 110, 88, 58
3180
           The authenticity of host '10.110.88.58 (10.110.88.58)' can't be established.
           ECDSA key fingerprint is 8f:f6:81:0f:44:e1:83:d5:0a:9d:3f:90:7c:3e:93:73.
3190
3200
          Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes
           Warning: Permanently added '10.110.88.58' (ECDSA) to the list of known hosts.
3210
          root@10.110.88.58's password: *******
3220
3230
           Last login: Sat Oct 29 18:33:24 2016
3240
           ストレージの情報を確認します。
3250
3260
3270 a, s
           fdisk -1 | grep /dev/ | sort
3280
           /dev/sda1
                       *
                                2048
                                         1026047
                                                      512000
                                                               83 Linux
3290
           /dev/sda2
                             1026048
                                        83886079
                                                    41430016
                                                               83 Linux
3300
           /dev/sdb1
                                2048
                                         2097151
                                                     1047552
                                                               82 Linux swap / Solaris
3310
           Disk /dev/sda: 42.9 GB, 42949672960 bytes, 83886080 sectors
3320
           Disk /dev/sdb: 1073 MB, 1073741824 bytes, 2097152 sectors
3330
           Disk /dev/sdc: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
3340
           Disk /dev/sdd: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
3350
           Disk /dev/sde: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
           Disk /dev/sdf: 107.4 GB, 107374182400 bytes, 209715200 sectors
3360
3370
3380 a, s
           blkid
           /dev/sda2: LABEL="/" UUID="6fa3bde3-dc77-461d-8ae4-5a6ea5efba4c" TYPE="xfs"
3390
           /dev/sda1: LABEL="/boot" UUID="11b16718-fa37-4aed-baff-2b643304e705" TYPE="xfs"
3400
           /dev/sdb1: LABEL="swap" UUID="d561d285-585b-4790-9690-1b55598de94b" TYPE="swap"
3410
3420
3430 a, s
           cat /etc/fstab
3440
3450
           # /etc/fstab
3460
           # Created by anaconda on Fri Nov 25 11:55:06 2016
3470
           # Accessible filesystems, by reference, are maintained under '/dev/disk'
3480
3490
           # See man pages fstab(5), findfs(8), mount(8) and/or blkid(8) for more info
3500
3510
           UUID=6fa3bde3-dc77-461d-8ae4-5a6ea5efba4c /
                                                                                      defaults
                                                                                                      0 0
                                                                              xfs
3520
           UUID=11b16718-fa37-4aed-baff-2b643304e705 /boot
                                                                                      defaults
                                                                                                      0 0
                                                                              xfs
3530
           UUID=d561d285-585b-4790-9690-1b55598de94b swap
                                                                                                      0 0
                                                                              swap
                                                                                      defaults
3540
```

```
キーボード、ロケールの情報を確認します。
3550
3560
           cat /etc/vconsole.conf
3570 a, s
           KEYMAP="ip-OADG109A"
3580
3590
           FONT="latarcyrheb-sun16"
3600
           cat /etc/locale.conf
3610 a, s
           LANG="en_US. UTF-8"
3620
3630
3640 a, s
           localectl status
              System Locale: LANG=en_US.UTF-8
3650
3660
                  VC Keymap: jp-OADG109A
3670
                 X11 Layout: ip
                X11 Variant: OADG109A
3680
3690
           タイムゾーンの情報を確認します。
3700
3710
3720 a, s
           cat /etc/adjtime
3730
           0.000.0
              0
3740
3750
           UTC
3760
           hwclock —debug
3770 a, s
3780
           hwclock from util-linux 2.23.2
3790
           Using /dev interface to clock.
3800
           Last drift adjustment done at 0 seconds after 1969
3810
           Last calibration done at 0 seconds after 1969
           Hardware clock is on UTC time
3820
           Assuming hardware clock is kept in UTC time.
3830
3840
           Waiting for clock tick...
3850
           ...got clock tick
3860
           Time read from Hardware Clock: 2016/11/25 04:31:00
3870
           Hw clock time : 2016/11/25 \ 04:31:00 = 1480048260 seconds since 1969
3880
           Fri 25 Nov 2016 01:31:00 PM JST -0.239477 seconds
3890
3900 a, s
           1s -1 /etc/localtime
           lrwxrwxrwx 1 root root 32 Nov 25 11:58 /etc/localtime -> ../usr/share/zoneinfo/ Asia/Tokyo
3910
3920
3930 a, s
           timedatectl status
                 Local time: Fri 2016-11-25 13:31:44 IST
3940
3950
             Universal time: Fri 2016-11-25 04:31:44 UTC
```

```
3960
                  RTC time: Fri 2016-11-25 04:31:43
3970
                 Time zone: Asia/Tokyo (IST, +0900)
3980
               NTP enabled: n/a
          NTP synchronized: no
3990
           RTC in local TZ: no
4000
                DST active: n/a
4010
4020
          kdump の設定を確認します。
4030
4040
          systemctl is-enabled kdump.service
4050 a, s
4060
          enabled
4070
4080 a, s
          kdumpctl status
          Kdump is operational
4090
4100
          SELinux を無効化します。
      \bigcirc
4110
4120
          sed -i -e 's/\SELINUX=.*$/SELINUX=disabled/' /etc/sysconfig/selinux
4130 a, s
4140
               ※ カーネルパラメータで無効化していますが、運用上紛らわしいので設定ファイルも変更します。
4150
4160
          SELinux の設定を確認します。
4170
4180
          grep -v ^# /etc/sysconfig/selinux
4190 a, s
4200
          SELINUX=disabled
4210
          SELINUXTYPE=targeted
4220
4230 a, s
          getenforce
          Disabled
4240
4250
          管理者用一般ユーザを作成します。
4260
      \bigcirc
4270
          sed -i -e 's/CREATE_MAIL_SPOOL=.*$/CREATE_MAIL_SPOOL=no/' /etc/default/useradd
4280 a, s
4290
          groupadd -g 1000 admin
4300 a, s
          useradd -g admin -G wheel -u 1000 admin
4310 a, s
          echo 'password' | passwd --stdin admin
4320 a, s
          Changing password for user admin.
4330
4340
          passwd: all authentication tokens updated successfully.
4350
          id admin
4360 a, s
```

```
uid=1000 (admin) gid=1000 (admin) groups=1000 (admin), 10 (wheel)
4370
4380
          wheel グループのユーザがパスワードなしで sudo コマンドを使えるように設定します。
4390
      \bigcirc
4400
          echo '%wheel ALL=(ALL) NOPASSWD: ALL' > /etc/sudoers.d/wheel
4410 a, s
4420
          管理者用一般ユーザにて、ssh でログインします。
4430
4440
4450
          ssh admin@10.110.88.57
          admin@10.110.88.57's password: ******
4460
4470
          ssh admin@10.110.88.58
4480
          admin@10.110.88.58's password: ******
4490
4500
          wheel グループのユーザのみが su コマンドを使えるように設定します。
      \bigcirc
4510
4520
4530 a, s
          sudo sed -i -e '/ #auth. *required. *pam wheel. so use uid $ / s/#//' /etc/pam. d/su
4540 a, s
          echo "SU_WHEEL_ONLY yes" | sudo tee -a /etc/login.defs
4550
          root アカウントでのパスワード認証による ssh 接続を禁止します。
4560
4570
          sudo sed -i -e 's/#PermitRootLogin .*$/PermitRootLogin without-password/' /etc/ssh/sshd config
4580 a, s
4590 a, s
          sudo systemctl restart sshd
4600
          参照・監視用一般ユーザを作成します。
4610
     \bigcirc
4620
4630 a, s
          sudo groupadd -g 1001 monitor
4640 a, s
          sudo useradd -g monitor -u 1001 monitor
          echo 'password' | sudo passwd --stdin monitor
4650 a, s
          Changing password for user monitor.
4660
4670
          passwd: all authentication tokens updated successfully.
4680
4690 a, s
          id monitor
          uid=1001 (monitor) gid=1001 (monitor) groups=1001 (monitor)
4700
4710
          NIC のデバイス名をバス情報に基づいて固定します。
4720
      \bigcirc
4730
          sudo cp /dev/null /etc/udev/rules.d/70-persistent-net.rules
4740 a, s
4750 a, s
          NUM=0
4760 a.s
          while:
4770 a, s
          do
```

```
ip addr show eth$NUM > /dev/null 2>&1 | break
4780 a, s
            BUS=$(ethtool -i eth$NUM | grep bus-info | awk '{print $2}')
4790 a, s
            cat << EOF | sudo tee -a /etc/udev/rules.d/70-persistent-net.rules
4800 a, s
          SUBSYSTEM=="net", ACTION=="add", DRIVERS=="?*", KERNELS=="$BUS", ATTR{type}=="1", NAME="eth$NUM"
4810 a, s
4820 a, s
            NUM=$ ((NUM+1))
4830 a, s
4840 a, s
           done
          SUBSYSTEM=="net", ACTION=="add", DRIVERS=="?*", KERNELS=="0000:04:00.0", ATTR{type}=="1", NAME="eth0"
4850
           SUBSYSTEM=="net", ACTION=="add", DRIVERS=="?*", KERNELS=="0000:0b:00.0", ATTR{type}=="1", NAME="eth1"
4860
          SUBSYSTEM=="net", ACTION=="add", DRIVERS=="?*", KERNELS=="0000:13:00.0", ATTR{type}=="1", NAME="eth2"
4870
           SUBSYSTEM=="net", ACTION=="add", DRIVERS=="?*", KERNELS=="0000:1b:00.0", ATTR{type}=="1", NAME="eth3"
4880
4890
               ※ このファイルを編集して、NIC デバイス名を入れ替えても構いません。
4900
               ※ KERNELS=="〈バス情報〉" を ATTR {address} == "〈MAC アドレス〉" に入れ替えても構いません。
4910
4920
          OS 起動時のカーネルパラメータを変更します。
4930
4940
          sudo sed -i -e '/^GRUB_CMDLINE_LINUX=/ s/ *biosdevname=[^ "]*//' /etc/default/grub
4950 a.s
          sudo sed -i -e '/^GRUB_CMDLINE_LINUX=/ s/ *net\frac{*}. ifnames=[^ "]*//' /etc/default/grub
4960 a, s
          sudo sed -i -e '/^GRUB_CMDLINE_LINUX=/ s/rhgb quiet/ipv6.disable=1 sysrq_always_enabled=1 log_buf_len=16777216/' /etc/default/grub
4970 a, s
          echo 'kernel. sysrq = 1' | sudo tee -a /etc/sysctl. d/99-sysctl. conf
4980 a, s
          sudo grub2-mkconfig -o /boot/grub2/grub.cfg
4990 a, s
           Generating grub configuration file ...
5000
5010
           Found linux image: /boot/vmlinuz-4.1.12-61.1.18.el7uek.x86 64
           Found initrd image: /boot/initramfs-4.1.12-61.1.18.el7uek.x86_64.img
5020
5030
           Found linux image: /boot/vmlinuz-3.10.0-514.el7.x86 64
5040
           Found initrd image: /boot/initramfs-3.10.0-514.el7.x86 64.img
           Found linux image: /boot/vmlinuz-0-rescue-06dccd866dbd479b8a41b818455151b2
5050
           Found initrd image: /boot/initramfs-0-rescue-06dccd866dbd479b8a41b818455151b2.img
5060
5070
           done
5080
               「net.ifnames=0」「biosdevname=0」があると、前項の udev 設定が機能しません。
5090
           ※ IPv6 を無効化しています。
5100
5110
          NIC を設定します。
5120
      \bigcirc
5130
          BONDO_BONDING_OPTS="resend_igmp=1 updelay=0 use_carrier=1 miimon=100 downdelay=0 xmit_hash_policy=0"
5140 a, s
          BONDO BONDING_OPTS="$BONDO_BONDING_OPTS primary_reselect=0 fail_over_mac=0 arp_validate=0"
5150 a, s
          BONDO_BONDING_OPTS="$BONDO_BONDING_OPTS mode= active-backup primary=eth0"
5160 a, s
                                                                                                   ※ LAG(LACP) の場合は「mode=802.3ad」
          BONDO BONDING OPTS="$BONDO BONDING OPTS lacp rate=0 arp interval=0 ad select=0"
5170 a.s
5180 a, s
```

```
BOND1_BONDING_OPTS="resend_igmp=1 updelay=0 use_carrier=1 miimon=100 downdelay=0 xmit_hash_policy=0"
5190 a, s
           BOND1_BONDING_OPTS="$BOND1_BONDING_OPTS primary_reselect=0 fail_over_mac=0 arp_validate=0"
5200 a, s
                                                                                                          ※ LAG(LACP) の場合は「mode=802.3ad」
           BOND1_BONDING_OPTS="$BOND1_BONDING_OPTS mode= active-backup primary=eth1"
5210 a, s
           BONDI BONDING OPTS="$BONDI BONDING OPTS lacp rate=0 arp interval=0 ad select=0"
5220 a, s
5230 a, s
                        sudo tee /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-bond0
5240 a, s
           cat << EOF
           DEVICE=bond0
5250 a, s
           NAME=bond0
5260 a, s
5270 a, s
           TYPE=Bond
           UUID=$ (uuidgen)
5280 a, s
           BONDING_OPTS="$BONDO_BONDING_OPTS"
5290 a, s
           BONDING_MASTER=yes
5300 a, s
5310 a, s
           ONBOOT=ves
5320 a, s
           BOOTPROTO=none
5330 a, s
           DEFROUTE=yes
5340 a, s
           PEERDNS=no
5350 a, s
           PEERROUTES=no
5360 a, s
           IPV4_FAILURE_FATAL=yes
5370 a, s
           IPV6INIT=no
5380 a, s
           IPV6_AUTOCONF=no
5390 a, s
           IPV6 DEFROUTE=no
5400 a, s
           IPV6 PEERDNS=no
           IPV6 PEERROUTES=no
5410 a, s
           IPV6_FAILURE_FATAL=no
5420 a, s
5430 a, s
           EOF
5440 a, s
                        sudo tee /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-bond1
5450 a, s
           cat << EOF
           DEVICE=bond1
5460 a, s
           NAME=bond1
5470 a, s
5480 a, s
           TYPE=Bond
5490 a, s
           UUID=$ (uuidgen)
5500 a, s
           BONDING OPTS="$BOND1 BONDING OPTS"
5510 a, s
           BONDING_MASTER=yes
5520 a, s
           ONBOOT=ves
5530 a, s
           BOOTPROTO=none
5540 a, s
           DEFROUTE=no
5550 a, s
           PEERDNS=no
5560 a, s
           PEERROUTES=no
5570 a, s
           IPV4_FAILURE_FATAL=yes
           IPV6INIT=no
5580 a.s
           IPV6_AUTOCONF=no
5590 a, s
```

```
IPV6_DEFROUTE=no
5600 a, s
5610 a, s
           IPV6_PEERDNS=no
5620 a, s
           IPV6_PEERROUTES=no
5630 a, s
           IPV6_FAILURE_FATAL=no
5640 a, s
5650 a, s
                         sudo tee /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth0
5660 a, s
           cat << EOF
           DEVICE=eth0
5670 a, s
5680 a, s
           NAME=eth0
5690 a, s
           TYPE=Ethernet
           UUID=$ (uuidgen)
5700 a, s
           MASTER=bond0
5710 a, s
5720 a, s
           SLAVE=yes
5730 a, s
           ONBOOT=yes
           MTU=9000
5740 a, s
5750 a, s
           EOF
5760 a, s
5770 a, s
            cat << EOF
                         sudo tee /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth2
5780 a, s
           DEVICE=eth2
5790 a, s
           NAME=eth2
5800 a, s
           TYPE=Ethernet
           UUID=$ (uuidgen)
5810 a, s
5820 a, s
           MASTER=bond0
5830 a, s
           SLAVE=yes
5840 a, s
           ONBOOT=yes
5850 a, s
           MTU=9000
5860 a, s
           EOF
5870 a, s
           cat << EOF
                         sudo tee /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth1
5880 a, s
5890 a, s
           DEVICE=eth1
5900 a, s
           NAME=eth1
5910 a, s
           TYPE=Ethernet
5920 a, s
           UUID=$ (uuidgen)
           MASTER=bond1
5930 a, s
5940 a, s
           SLAVE=yes
5950 a, s
           ONBOOT=yes
           MTU=9000
5960 a, s
5970 a, s
           EOF
5980 a, s
                         sudo tee /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth3
5990 a, s
           cat << EOF
6000 a, s
           DEVICE=eth3
```

```
6010 a, s
           NAME=eth3
6020 a, s
           TYPE=Ethernet
6030 a, s
           UUID=$ (uuidgen)
6040 a, s
           MASTER=bond1
6050 a, s
           SLAVE=yes
6060 a, s
           ONBOOT=yes
6070 a, s
           MTU=9000
6080 a, s
           EOF
6090 a, s
6100
           # for Active
           cat << EOF | sudo tee -a /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-bond0
6110
6120
           IPADDR=10. 110. 88. 57
6130
          PREFIX=26
6140
           GATEWAY=10. 110. 88. 1
6150
           DNS1=10. 0. 80. 11
           DNS2=10. 0. 80. 12
6160
6170
           DOMAIN=example.com
6180
           MTU=9000
       a
6190
           EOF
       а
6200
       a
           cat << EOF | sudo tee -a /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-bond1
6210
6220
           IPADDR=192, 168, 1, 2
6230
           PREFIX=24
           MTU=9000
6240
6250
           EOF
       а
6260
        а
           # for Stand-by
6270
6280
          cat << EOF | sudo tee -a /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-bond0
6290
           IPADDR=10. 110. 88. 58
6300
           PREFIX=26
6310
           GATEWAY=10. 110. 88. 1
6320
           DNS1=10. 0. 80. 11
6330
           DNS2=10. 0. 80. 12
           DOMAIN=example.com
6340
           MTU=9000
6350
        S
           EOF
6360
       S
6370
       S
                        sudo tee -a /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-bond1
6380
           cat << EOF
6390
           IPADDR=192. 168. 1. 3
           PREFIX=24
6400
           MTU=9000
6410
```

```
6420
          EOF
       S
6430
          NIC オフロード機能を無効化します。
6440
      \bigcirc
6450
6460 a, s
                         sudo tee /etc/NetworkManager/dispatcher.d/00-ethertool
           cat << 'EOF'
          #!/bin/sh
6470 a, s
          if [ "$2" == "up" ]; then
6480 a, s
            if ["${1:0:3}" = "eth"]; then
6490 a, s
6500 a, s
              ethtool -K $1 ¥
6510 a, s
                rx off ¥
6520 a, s
                tx off ¥
6530 a, s
                sg off ¥
6540 a, s
                tso off ¥
6550 a, s
                ufo off ¥
6560 a, s
                gso off ¥
6570 a, s
                gro off ¥
6580 a, s
                lro off ¥
6590 a, s
                rxvlan off ¥
6600 a, s
                txvlan off ¥
6610 a, s
                ntuple off ¥
                rxhash off ¥
6620 a, s
                highdma off ¥
6630 a, s
                rx-vlan-filter off ¥
6640 a, s
6650 a, s
                tx-gso-robust off ¥
                tx-fcoe-segmentation off ¥
6660 a, s
                fcoe-mtu off ¥
6670 a, s
                tx-nocache-copy off ¥
6680 a, s
6690 a, s
                loopback off ¥
                rx-fcs off ¥
6700 a, s
6710 a, s
                rx-all off
              #ethtool -K $1 vlan-challenged off tx-lockless off netns-local off
6720 a, s
6730 a, s
              ethtool -G $1 rx 4096 tx 4096 rx-jumbo 2048
6740 a, s
            fi
           fi
6750 a, s
           EOF
6760 a, s
           sudo chmod 755 /etc/NetworkManager/dispatcher.d/00-ethertool
6770 a, s
6780
                    「VMXNET 3」「e1000e」「igb」「ixgbe」でのみ動作確認しました。
6790
               ※ NIC のリンク速度、duplex モードを設定したい場合はこのスクリプトに組み込みます。
6800
6810
          hosts を設定します。
6820
```

```
6830
                          cat << 'EOF'
6840 a, s
                                                              sudo tee /etc/hosts
6850 a, s
                          127. 0. 0. 1
                                                                localhost localhost. localdomain localhost4 localhost4. localdomain4
                                                                localhost localhost. localdomain localhost6 localhost6. localdomain6
6860 a, s
                          ::1
6870 a, s
                          10, 110, 88, 57
                                                                iscsitgt01a.example.com iscsitgt01a
                          10. 110. 88. 58
                                                                iscsitgt01s.example.com iscsitgt01s
6880 a, s
6890 a, s
                          10. 110. 88. 59
                                                                iscsitgt01. example. com iscsitgt01
                          192. 168. 1. 2
                                                                iscsitgt01a-ic.example.com iscsitgt01a-ic
6900 a, s
6910 a, s
                          192. 168. 1. 3
                                                                iscsitgt01s-ic.example.com iscsitgt01s-ic
6920 a, s
                          EOF
6930
                          hostname を設定します。
6940
6950
                          sudo hostnamectl set-hostname iscsitgt01a.example.com
6960
6970
6980
                          sudo hostnamectl set-hostname iscsitgt01s.example.com
6990
               \bigcirc
                          不要なログ出力を抑止します。
7000
7010
7020 a, s
                                                        | sudo tee /etc/rsyslog.d/ignore-systemd-session-slice.conf
7030 a, s
                          if $programmame = "systemd" and ($msg contains "Created slice user" or $msg contains "Removed slice user" or $msg contains "Starting User" or $msg contains "Starting
7040 a, s
                          EOF
7050 a, s
                          cat << 'EOF' | sudo tee /etc/rsyslog. d/ignore-chronyd-selected-source. conf
7060 a, s
                          if $programname == "chronyd" and $msg contains "Selected source" then stop
7070 a, s
7080 a, s
                          EOF
7090 a, s
7100 a, s
                          sudo systemctl restart rsyslog
7110
                          yum リポジトリを設定します。
7120
7130
                                                         sudo tee /etc/yum.repos.d/media.repo
7140 a.s
                          cat << 'EOF'
7150 a, s
                          [media]
7160 a, s
                          name=media
                          baseurl=file:///mnt
7170 a, s
                          gpgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-oracle
7180 a, s
                          gpgcheck=1
7190 a, s
7200 a, s
                          enabled=0
7210 a, s
7220 a.s
                          [media-mysq1]
                          name=media-mysql
7230 a, s
```

```
baseurl=file:///mnt/addons/Mysql
7240 a, s
7250 a, s
          gpgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-oracle
          gpgcheck=1
7260 a, s
7270 a, s
           enabled=0
7280 a, s
           [media-ha]
7290 a, s
          name=media-ha
7300 a, s
          baseurl=file:///mnt/addons/HighAvailability
7310 a, s
7320 a, s
          gpgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-oracle
          gpgcheck=1
7330 a, s
7340 a, s
           enabled=0
7350 a, s
          [media-rs]
7360 a, s
7370 a, s
          name=media-rs
          baseurl=file:///mnt/addons/ResilientStorage
7380 a, s
          gpgkey=file:///etc/pki/rpm-gpg/RPM-GPG-KEY-oracle
7390 a, s
7400 a, s
          gpgcheck=1
          enabled=0
7410 a, s
          EOF
7420 a, s
7430
               ※ インストール・メディアを利用可能にします。
7440
7450
          sudo sed -i -e 's/^/#/' /etc/vum.repos.d/public-vum-ol7.repo
7460 a, s
7470
               ※ インターネット接続していないとエラーとなるリポジトリを無効化します。
7480
7490
          以下のインストーラを DVD ドライブにセットします。
7500
      \bigcirc
7510
7520 a, s
          # V834394-01. iso (Oracle Linux 7.3)
7530
          インストーラをマウントします。
7540
      \bigcirc
7550
7560 a, s
           sudo mount /dev/cdrom /mnt
7570
           mount: /dev/sr0 is write-protected, mounting read-only
7580
           どのような環境でも共通して導入しておいた方がよいと思われる標準パッケージをインストールします。
7590
      \bigcirc
7600
          sudo yum -y --disablerepo=\frac{\pmathbf{Y}}{*} --enablerepo=media, media-mysql install \frac{\pmathbf{Y}}{*}
7610 a, s
7620 a, s
            @development ¥
            @base ¥
7630 a.s
7640 a, s
            OpenIPMI ¥
```

```
7650 a, s
             aide ¥
7660 a, s
             crash ¥
7670 a, s
             dos2unix ¥
7680 a, s
             dropwatch ¥
7690 a, s
             dstat ¥
7700 a, s
             expect ¥
7710 a, s
             filebench ¥
7720 a, s
             freeipmi-bmc-watchdog ¥
7730 a, s
             freeipmi-ipmidetectd ¥
7740 a, s
             ftp ¥
7750 a, s
             fuse ¥
7760 a, s
             fuse-devel ¥
7770 a, s
             haproxy ¥
7780 a, s
             hdparm ¥
7790 a, s
             iotop ¥
7800 a, s
             ipmitool ¥
             iptables-services ¥
7810 a, s
7820 a, s
             iptraf-ng ¥
7830 a, s
             iptstate ¥
7840 a, s
             ipvsadm ¥
7850 a, s
             iscsi-initiator-utils ¥
7860 a, s
             keepalived ¥
7870 a, s
             kernel-uek-devel ¥
7880 a, s
             kernel-uek-doc ¥
             latrace ¥
7890 a, s
             1ftp ¥
7900 a, s
7910 a, s
             libuuid-devel ¥
7920 a, s
             lm_sensors ¥
7930 a, s
             logwatch ¥
             1rzsz ¥
7940 a, s
7950 a, s
             1trace ¥
7960 a, s
             net-snmp-utils ¥
7970 a, s
             nmap ¥
             openss1-devel ¥
7980 a, s
7990 a, s
             oprofile ¥
8000 a, s
             pax ¥
8010 a, s
             perf ¥
8020 a, s
             prelink ¥
8030 a, s
             screen ¥
8040 a, s
             sg3_utils ¥
8050 a, s
             snapper ¥
```

```
telnet ¥
8060 a, s
8070 a, s
            tmpwatch ¥
8080 a, s
            trace-cmd ¥
8090 a, s
            tree ¥
            x86info
8100 a, s
8110
           インターネットと接続可能な端末で以下のコマンドを実行する等して、必要なパッケージを収集します。
8120
8130
8140
           curl -0 https://oss.oracle.com/ol7/debuginfo/kernel-uek-debuginfo-4.1.12-61.1.18.el7uek.x86_64.rpm
8150
           curl -0 https://oss.oracle.com/ol7/debuginfo/kernel-uek-debuginfo-common-4.1.12-61.1.18.el7uek.x86_64.rpm
8160
           収集したパッケージをホームディレクトリにコピーし、確認します。
8170
      \bigcirc
8180
8190 a, s
           scp xxxx@yyy:kernel-uek-debuginfo-4.1.12-61.1.18.el7uek.x86_64.rpm.
           scp xxxx@yyy:kernel-uek-debuginfo-common-4.1.12-61.1.18.el7uek.x86_64.rpm.
8200 a, s
8210
8220 a, s
           ls -l *.rpm
8230
           -rw-rw-r-- 1 admin admin 382756108 Dec 15 12:06 kernel-uek-debuginfo-4.1.12-61.1.18.el7uek.x86 64.rpm
8240
           -rw-rw-r-- 1 admin admin 52360420 Dec 15 12:08 kernel-uek-debuginfo-common-4.1.12-61.1.18.e17uek.x86 64.rpm
8250
8260 a, s
           file *.rpm
8270
           kernel-uek-debuginfo-4. 1. 12-61. 1. 18. e17uek. x86 64. rpm:
                                                                    RPM v3.0 bin i386/x86 64 kernel-uek-debuginfo-4.1.12-61.1.18.el7uek
8280
           kernel-uek-debuginfo-common-4.1.12-61.1.18.el7uek.x86_64.rpm: RPM v3.0 bin i386/x86_64 kernel-uek-debuginfo-common-4.1.12-61.1.18.el7uek
8290
           カーネルのデバッグ情報をインストールします。
8300
      \bigcirc
8310
           sudo yum -y --disablerepo=\frac{\pmathbf{Y}}{\pmathbf{Y}} --enablerepo=media localinstall kernel-uek-debuginfo-\pmathbf{Y}. rpm
8320 a, s
           sudo mkdir /opt/packages/
8330 a, s
           sudo mv kernel-uek-debuginfo-*.rpm /opt/packages/
8340 a, s
8350
8360
      \bigcirc
           インストーラをアンマウントします。
8370
8380 a, s
           sudo umount /mnt
8390
           インストーラをDVDドライブから取り外します。
8400
8410
8420 a, s
           # Eject DVD
8430
          NTP を設定します。
8440
8450
8460 a.s
           cat << 'EOF' | sudo tee /etc/chrony.conf
```

```
server 10.0.77.54 iburst
8470 a, s
           # server ***. ***. *** iburst
8480 a, s
8490 a, s
           # server ***. ***. *** iburst
8500 a, s
           # server ***. ***. *** iburst
8510 a, s
8520 a, s
           # Use public servers from the pool.ntp.org project.
           # Please consider joining the pool (http://www.pool.ntp.org/join.html).
8530 a, s
8540 a, s
8550 a, s
           # Ignore stratum in source selection.
8560 a, s
           stratumweight 0
8570 a, s
8580 a, s
           # Record the rate at which the system clock gains/losses time.
           driftfile /var/lib/chrony/drift
8590 a, s
8600 a, s
           # Enable kernel RTC synchronization.
8610 a, s
8620 a, s
           rtcsync
8630 a, s
8640 a, s
           # In first three updates step the system clock instead of slew
8650 a, s
           # if the adjustment is larger than 10 seconds.
8660 a, s
           makestep 10 3
8670 a, s
8680 a, s
           # Allow NTP client access from local network.
           #allow 192.168/16
8690 a, s
8700 a, s
8710 a, s
           # Listen for commands only on localhost.
8720 a, s
           bindcmdaddress 127.0.0.1
8730 a, s
           #bindcmdaddress ::1
8740 a, s
8750 a, s
           # Serve time even if not synchronized to any NTP server.
8760 a, s
           #local stratum 10
8770 a, s
8780 a, s
           keyfile /etc/chrony.keys
8790 a, s
8800 a, s
           # Specify the key used as password for chronyc.
           commandkey 1
8810 a, s
8820 a, s
           # Generate command key if missing.
8830 a, s
8840 a, s
           generatecommandkey
8850 a, s
8860 a, s
           # Disable logging of client accesses.
           noclientlog
8870 a, s
```

```
8880 a, s
8890 a, s
          # Send a message to syslog if a clock adjustment is larger than 0.5 seconds.
8900 a, s
          logchange 0.5
8910 a, s
          logdir /var/log/chrony
8920 a, s
8930 a, s
          #log measurements statistics tracking
8940 a, s
          EOF
8950 a, s
8960 a, s
          cat << 'EOF'
                        sudo tee /etc/sysconfig/chronyd
          OPTIONS="-4"
8970 a, s
8980 a, s
          EOF
8990
          不要なサービスを無効化します。
9000
9010
9020 a, s
          sudo systemctl disable dmraid-activation. service
          sudo systemctl disable firewalld. service
9030 a, s
          sudo systemctl disable mdmonitor. service
9040 a, s
9050 a, s
          sudo systemctl disable postfix. service
9060
          ※ 仮想環境の場合は、「lm_sensors. service」も無効化します。
9070
          ※ 仮想環境の場合は、「smartd.service」も無効化します。RAID コントローラが対応していない場合も無効化します。
9080
9090
          必要なサービスを有効化します。
9100
      \bigcirc
9110
          sudo systemctl enable psacct. service
9120 a, s
9130
          iSCSI イニシエータ関連サービスの自動起動を無効化します。
9140
     \bigcirc
9150
9160 a, s
          sudo systemctl disable iscsi. service
9170
          Removed symlink /etc/systemd/system/sysinit.target.wants/iscsi.service.
9180
9190 a, s
          sudo systemctl disable iscsid. socket
9200
          Removed symlink /etc/systemd/system/sockets.target.wants/iscsid.socket.
9210
9220 a, s
          sudo systemctl disable iscsiuio. socket
9230
          Removed symlink /etc/systemd/system/sockets.target.wants/iscsiuio.socket.
9240
          IPv6 無効化に伴う不具合を解消するための設定変更を行います。
9250
      \bigcirc
9260
          sudo sed -i -e 's/^#AddressFamily .*$/AddressFamily inet/' /etc/ssh/sshd_config
9270 a.s
          sudo sed -i -e 's/înet_interfaces .*$/inet_interfaces = 127.0.0.1/' /etc/postfix/main.cf
9280 a.s
```

```
sudo sed -i -e 's/înet protocols .*$/inet protocols = ipv4/' /etc/postfix/main.cf
9290 a, s
9300
                      sudo sed -i -e 's/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6\udp6\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\udp6/\u
9310 a, s
9320
9330
                      再起動します。
             \bigcirc
9340
9350 a, s
                      sudo reboot
9360
                      管理者用一般ユーザにて、ssh でログインします。
9370
9380
9390
                      ssh admin@10.110.88.57
9400
                      admin@10.110.88.57's password: *******
9410
9420
                      ssh admin@10.110.88.58
                      admin@10.110.88.58's password: ******
9430
9440
9450
                      カーネル起動パラメータを確認します。
9460
9470 a, s
                      cat /proc/cmdline
                      BOOT IMAGE=/vmlinuz-4.1.12-61.1.18.el7uek.x86 64 root=UUID=657f59aa-f627-4096-9970-9238b234ef00 ro crashkernel=auto selinux=0 ipv6.disable=1
9480
9490
                                          「crashkernel」の値は、搭載メモリサイズに応じて自動的に固定値へ変更される場合があります。
9500
9510
                      ネットワーク設定を確認します。
9520
9530
9540 a, s
                      ip addr show
9550
                      1: lo: <LOOPBACK, UP, LOWER UP> mtu 65536 gdisc nogueue state UNKNOWN
                              link/loopback 00:00:00:00:00:00 brd 00:00:00:00:00
9560
9570
                               inet 127.0.0.1/8 scope host lo
9580
                      2: eth0: <BROADCAST, MULTICAST, SLAVE, UP, LOWER UP> mtu 9000 qdisc mg master bond0 state UP glen 1000
                              link/ether 00:0c:29:08:b8:5f brd ff:ff:ff:ff:ff
9590
9600
                       3: eth1: <BROADCAST, MULTICAST, SLAVE, UP, LOWER UP> mtu 9000 qdisc mg master bond1 state UP glen 1000
9610
                               link/ether 00:0c:29:08:b8:41 brd ff:ff:ff:ff:ff
                      4: eth2: <BROADCAST, MULTICAST, SLAVE, UP, LOWER UP> mtu 9000 qdisc mg master bond0 state UP glen 1000
9620
                               link/ether 00:0c:29:08:b8:5f brd ff:ff:ff:ff:ff
9630
9640
                       5: eth3: <BROADCAST, MULTICAST, SLAVE, UP, LOWER UP> mtu 9000 qdisc mg master bond1 state UP glen 1000
9650
                               link/ether 00:0c:29:08:b8:41 brd ff:ff:ff:ff:ff
                      6: bond0: <BROADCAST, MULTICAST, MASTER, UP, LOWER_UP> mtu 9000 qdisc noqueue state UNKNOWN
9660
9670
                               link/ether 00:0c:29:08:b8:5f brd ff:ff:ff:ff:ff
                              inet 10.110.88.57/26 brd 10.110.88.63 scope global bond0
9680
                      7: bond1: <BROADCAST, MULTICAST, MASTER, UP, LOWER UP> mtu 9000 qdisc noqueue state UNKNOWN
9690
```

```
9700
               link/ether 00:0c:29:08:b8:41 brd ff:ff:ff:ff:ff
9710
               inet 192.168.1.2/24 brd 192.168.0.255 scope global bond1
9720
                ※ IPv6 のリンクローカルアドレスが存在しないことも確認します。
9730
9740
           cat /proc/net/bonding/bond0
9750 a, s
           Ethernet Channel Bonding Driver: v3.7.1 (April 27, 2011)
9760
9770
9780
           Bonding Mode: fault-tolerance (active-backup)
9790
           Primary Slave: eth0 (primary reselect always)
           Currently Active Slave: eth0
9800
9810
           MII Status: up
           MII Polling Interval (ms): 100
9820
9830
           Up Delay (ms): 0
           Down Delay (ms): 0
9840
9850
9860
           Slave Interface: eth0
9870
           MII Status: up
           Speed: 10000 Mbps
9880
9890
           Duplex: full
           Link Failure Count: 0
9900
           Permanent HW addr: 00:0c:29:08:b8:5f
9910
9920
           Slave queue ID: 0
9930
9940
           Slave Interface: eth2
9950
           MII Status: up
9960
           Speed: 10000 Mbps
9970
           Duplex: full
           Link Failure Count: 0
9980
9990
           Permanent HW addr: 00:0c:29:08:b8:4b
10000
           Slave queue ID: 0
10010
           cat /proc/net/bonding/bond1
10020 a, s
           Ethernet Channel Bonding Driver: v3.7.1 (April 27, 2011)
10030
10040
10050
           Bonding Mode: fault-tolerance (active-backup)
10060
           Primary Slave: eth1 (primary_reselect always)
           Currently Active Slave: eth1
10070
10080
           MII Status: up
10090
           MII Polling Interval (ms): 100
           Up Delay (ms): 0
10100
```

```
10110
           Down Delay (ms): 0
10120
10130
           Slave Interface: eth1
10140
           MII Status: up
10150
           Speed: 10000 Mbps
10160
           Duplex: full
           Link Failure Count: 0
10170
10180
           Permanent HW addr: 00:0c:29:08:b8:41
10190
           Slave queue ID: 0
10200
10210
           Slave Interface: eth3
10220
           MII Status: up
10230
           Speed: 10000 Mbps
10240
           Duplex: full
10250
           Link Failure Count: 0
10260
           Permanent HW addr: 00:0c:29:08:b8:55
10270
           Slave queue ID: 0
10280
10290
                ※ ボンディング設定時は、このコマンドで個々の NIC の MAC アドレスを確認できます。
10300
                ※ LAG(LACP) の場合、以下のように表示されます。
10310
10320
                    cat /proc/net/bonding/bond1
10330
                    Ethernet Channel Bonding Driver: v3.7.1 (April 27, 2011)
10340
10350
                    Bonding Mode: IEEE 802.3ad Dynamic link aggregation
10360
                    Transmit Hash Policy: layer2 (0)
10370
                    MII Status: up
                    MII Polling Interval (ms): 100
10380
                    Up Delay (ms): 0
10390
10400
                    Down Delay (ms): 0
10410
10420
                    802.3ad info
10430
                    LACP rate: slow
10440
                    Min links: 0
                    Aggregator selection policy (ad_select): stable
10450
                    Active Aggregator Info:
10460
10470
                            Aggregator ID: 1
10480
                            Number of ports: 1
10490
                            Actor Key: 13
10500
                            Partner Key: 1
10510
                            Partner Mac Address: 00:00:00:00:00:00
```

```
10520
10530
                      Slave Interface: eth1
10540
                     MII Status: up
10550
                     Speed: 10000 Mbps
10560
                     Duplex: full
                     Link Failure Count: 0
10570
                     Permanent HW addr: 00:0c:29:8b:ff:e8
10580
10590
                     Slave queue ID: 0
10600
                      Aggregator ID: 1
10610
                      Actor Churn State: none
10620
                     Partner Churn State: churned
10630
                      Actor Churned Count: 0
                     Partner Churned Count: 1
10640
10650
                      details actor lacp pdu:
                          system priority: 0
10660
10670
                          port key: 13
10680
                          port priority: 255
10690
                          port number: 1
10700
                          port state: 205
10710
                     details partner lacp pdu:
10720
                          system priority: 65535
10730
                          oper key: 1
10740
                          port priority: 255
10750
                          port number: 1
10760
                          port state: 3
10770
10780
                     Slave Interface: eth3
10790
                     MII Status: up
10800
                     Speed: 10000 Mbps
10810
                     Duplex: full
                     Link Failure Count: 0
10820
10830
                      Permanent HW addr: 00:0c:29:8b:ff:fc
10840
                     Slave queue ID: 0
                     Aggregator ID: 2
10850
10860
                      Actor Churn State: churned
10870
                     Partner Churn State: churned
10880
                      Actor Churned Count: 1
10890
                     Partner Churned Count: 1
                     details actor lacp pdu:
10900
10910
                          system priority: 0
10920
                          port key: 13
```

```
10930
                         port priority: 255
10940
                         port number: 2
10950
                         port state: 197
10960
                     details partner lacp pdu:
10970
                         system priority: 65535
10980
                         oper key: 1
10990
                         port priority: 255
11000
                         port number: 1
11010
                         port state: 3
11020
11030
           ip route show
11040
            default via 10.110.88.1 dev bond0 proto static metric 300
11050
            10.110.88.0/26 dev bond0 proto kernel scope link src 10.110.88.57 metric 300
11060
            192.168.1.0/24 dev bond1 proto kernel scope link src 192.168.0.2 metric 300
11070
11080
           ip route show
11090
            default via 10.110.88.1 dev bond0 proto static metric 300
11100
            10.110.88.0/26 dev bond0 proto kernel scope link src 10.110.88.58 metric 300
11110
            192. 168. 1. 0/24 dev bond1 proto kernel scope link src 192. 168. 0. 3 metric 300
11120
            cat /etc/resolv.conf
11130 a, s
11140
            # Generated by NetworkManager
11150
            search example.com
11160
            nameserver 10, 0, 80, 11
11170
            nameserver 10, 0, 80, 12
11180
           hostname 設定を確認します。
11190
       \bigcirc
11200
11210
           hostnamectl status
11220
               Static hostname: iscsitgt01a.example.com
11230
                     Icon name: computer-vm
11240
                       Chassis: vm
11250
                    Machine ID: d7806eba789047baa165a57149c83843
11260
                       Boot ID: b5b36a3403dd403aad4656d2f7f9e7aa
11270
                Virtualization: vmware
11280
              Operating System: Oracle Linux Server 7.3
11290
                   CPE OS Name: cpe:/o:oracle:linux:7:2:server
11300
                        Kernel: Linux 4.1.12-61.1.18.el7uek.x86 64
11310
                  Architecture: x86-64
11320
11330
           hostnamectl status
```

```
11340
               Static hostname: iscsitgt01s.example.com
11350
                     Icon name: computer-vm
11360
                       Chassis: vm
11370
                    Machine ID: b325c1c5d682439a91a65f7cfc317b20
11380
                       Boot ID: a419d4d1ef00452f93da10a227365aca
11390
                Virtualization: vmware
11400
              Operating System: Oracle Linux Server 7.3
                   CPE OS Name: cpe:/o:oracle:linux:7:2:server
11410
11420
                        Kernel: Linux 4.1.12-61.1.18.el7uek.x86 64
                  Architecture: x86-64
11430
11440
           NIC のオフロード設定を確認します。
11450
11460
            ethtool -k eth0
11470 a, s
11480
            Features for eth0:
            rx-checksumming: off
11490
11500
            tx-checksumming: off
11510
                    tx-checksum-ipv4: off [fixed]
11520
                    tx-checksum-ip-generic: off
11530
                    tx-checksum-ipv6: off [fixed]
11540
                    tx-checksum-fcoe-crc: off [fixed]
11550
                    tx-checksum-sctp: off [fixed]
11560
            scatter-gather: off
11570
                    tx-scatter-gather: off
                    tx-scatter-gather-fraglist: off [fixed]
11580
11590
            tcp-segmentation-offload: off
11600
                    tx-tcp-segmentation: off
                    tx-tcp-ecn-segmentation: off [fixed]
11610
11620
                    tx-tcp6-segmentation: off
11630
            udp-fragmentation-offload: off [fixed]
11640
            generic-segmentation-offload: off
11650
            generic-receive-offload: off
11660
            large-receive-offload: off
11670
            rx-vlan-offload: off
11680
            tx-vlan-offload: off
11690
            ntuple-filters: off [fixed]
            receive-hashing: off
11700
11710
            highdma: off
11720
            rx-vlan-filter: on [fixed]
11730
            vlan-challenged: off [fixed]
11740
            tx-lockless: off [fixed]
```

```
11750
            netns-local: off [fixed]
11760
            tx-gso-robust: off [fixed]
            tx-fcoe-segmentation: off [fixed]
11770
11780
            tx-gre-segmentation: off [fixed]
11790
            tx-ipip-segmentation: off [fixed]
            tx-sit-segmentation: off [fixed]
11800
11810
            tx-udp tnl-segmentation: off [fixed]
11820
            fcoe-mtu: off [fixed]
11830
            tx-nocache-copy: off
11840
            loopback: off [fixed]
            rx-fcs: off [fixed]
11850
11860
            rx-all: off [fixed]
11870
            tx-vlan-stag-hw-insert: off [fixed]
11880
            rx-vlan-stag-hw-parse: off [fixed]
            rx-vlan-stag-filter: off [fixed]
11890
            12-fwd-offload: off [fixed]
11900
11910
            busy-poll: off [fixed]
11920
            hw-switch-offload: off [fixed]
11930
            ethtool -k eth1
11940 a, s
11950 a, s
            ethtool -k eth2
11960 a, s
            ethtool -k eth3
11970
11980 a, s
            ethtool -g eth0
11990
            Ring parameters for eth0:
12000
            Pre-set maximums:
12010
            RX:
                            4096
12020
            RX Mini:
                            0
            RX Jumbo:
12030
                            2048
12040
            TX:
                            4096
12050
            Current hardware settings:
12060
            RX:
                            4032
12070
            RX Mini:
                            0
            RX Jumbo:
12080
                            2048
12090
                            4096
            TX:
12100
                ※ 搭載メモリサイズに応じて結果が異なります。
12110
12120
12130 a, s
            ethtool -g eth1
12140 a.s
            ethtool -g eth2
12150 a, s
            ethtool -g eth3
```

```
12160
            NTP の状態を確認します。
12170
       \bigcirc
12180
12190 a, s
            systemctl status chronvd. service -1
12200
             chronvd. service - NTP client/server
               Loaded: loaded (/usr/lib/systemd/system/chronyd.service; enabled; vendor preset: enabled)
12210
12220
                Active: active (running) since Fri 2016-11-25 15:23:28 JST; 17min ago
12230
              Process: 601 ExecStartPost=/usr/libexec/chrony-helper update-daemon (code=exited, status=0/SUCCESS)
12240
              Process: 576 ExecStart=/usr/sbin/chronyd $OPTIONS (code=exited, status=0/SUCCESS)
12250
             Main PID: 583 (chronyd)
12260
                CGroup: /system.slice/chronyd.service
12270
                         └583 /usr/sbin/chronvd -4
12280
12290
            Nov 25 15:23:28 iscsitgt01a.example.com systemd[1]: Starting NTP client/server...
            Nov 25 15:23:28 iscsitgt01a. example. com chronyd[584]: chronyd version 2.1.1 starting (+CMDMON +NTP +REFCLOCK +RTC +PRIVDROP +DEBUG +ASYNCDNS +IPV6 +SECHASH)
12300
            Nov 25 15:23:28 iscsitgt01a.example.com chronyd[584]: Generated key 1
12310
            Nov 25 15:23:28 iscsitgt01a.example.com systemd[1]: Started NTP client/server.
12320
            Nov 25 15:23:35 iscsitgt01a. example. com chronvd[584]: Selected source 10.0.77.54
12330
12340
12350 a, s
            chronyc sources
12360
            210 \text{ Number of sources} = 1
12370
            MS Name/IP address
                                         Stratum Poll Reach LastRx Last sample
12380
             * 10. 0. 77. 54
                                                               217
                                                                     -177us[ -161us] +/- 4360us
12390
                                                1 10
                                                       377
12400
            timedatectl status
12410 a, s
12420
                   Local time: Fri 2016-11-25 15:43:54 JST
              Universal time: Fri 2016-11-25 06:43:54 UTC
12430
12440
                     RTC time: Fri 2016-11-25 06:43:54
12450
                    Time zone: Asia/Tokyo (JST, +0900)
12460
                  NTP enabled: yes
12470
            NTP synchronized: ves
12480
             RTC in local TZ: no
12490
                   DST active: n/a
12500
             自動起動するサービスを確認します。
12510
       \bigcirc
12520
            systemctl list-unit-files | grep enabled | LANG=C sort
12530 a, s
12540
            NetworkManager-dispatcher.service
                                                            enabled
12550
            NetworkManager.service
                                                            enabled
12560
            abrt-ccpp. service
                                                            enabled
```

12570	abrt-oops. service	enabled		
12580	abrt-vmcore.service	enabled		
12590	abrt-xorg. service	enabled		
12600	abrtd. service	enabled		
12610	atd. service	enabled		
12620	auditd. service	enabled		
12630	autovt@. service	enabled		
12640	chronyd. service	enabled		
12650	crond. service	enabled		
12660	dbus-org. freedesktop. NetworkManager. service	enabled		
12670	dbus-org. freedesktop. nm-dispatcher. service	enabled		
12680	default.target	enabled		
12690	dm-event. socket	enabled		
12700	getty@. service	enabled		
12710	irqbalance. service	enabled		
12720	kdump.service	enabled		
12730	libstoragemgmt.service	enabled		
12740	lm_sensors.service	enabled	*	仮想環境の場合、不要
12750	lvm2-lvmetad.socket	enabled	*	LVM を利用しない場合、1vmetad を利用しない場合、不要
12760	lvm2-lvmpolld.socket	enabled	<b>※</b>	LVM を利用しない場合、1vmpolld を利用しない場合、不要
12770	lvm2-monitor.service	enabled	*	LVM を利用しない場合、不要
12780	microcode. service	enabled		
12790	multi-user.target	enabled		
12800	psacct. service	enabled		
12810	remote-fs.target	enabled		
12820	rngd. service	enabled		
12830	rpcbind. socket	enabled	<b>※</b>	nfs を利用しない場合、不要
12840	rsyslog. service	enabled		
12850	runlevel2. target	enabled		
12860	runlevel3. target	enabled		
12870	runlevel4. target	enabled		
12880	smartd.service	enabled	*	仮想環境、RAID コントローラ未対応の場合、不要
12890	sshd. service	enabled		
12900	sysstat.service	enabled		
12910	systemd-readahead-collect.service	enabled		
12920	systemd-readahead-drop.service	enabled		
12930	systemd-readahead-replay.service	enabled		
12940	tuned. service	enabled		
12950	vmtoolsd. service	enabled	<b>※</b>	ESXi で動かす場合のみ必要
12960				

12970 ○ 設定ファイルをバックアップします。

```
12980
12990 a, s sudo cp -a /etc{,^}
13000
13010
```

```
【iSCSI Target クラスタのインストールと初期設定】
13020
       \bigcirc
13030
           以下のインストーラを DVD ドライブにセットします。
13040
13050
           # V834394-01. iso (Oracle Linux 7.3)
13060 a, s
13070
           インストーラをマウントします。
13080
13090
13100 a, s
           sudo mount /dev/cdrom /mnt
13110
           mount: /dev/sr0 is write-protected, mounting read-only
13120
           当該 OS で必要となる標準パッケージをインストールします。
13130
      \bigcirc
13140
           sudo vum -v --disablerepo=\frac{\pmathbf{Y}}{*} --enablerepo=media.media-mvsql.media-ha install \frac{\pmathbf{Y}}{*}
13150 a, s
13160 a, s
            fence-agents-ipmilan ¥
13170 a, s
            omping ¥
13180 a, s
            pcs ¥
13190 a, s
            rubygem-abrt ¥
13200 a, s
            targetcli
13210
13220
           インターネットと接続可能な端末で以下のコマンドを実行する等して、必要なパッケージを収集します。
13230
13240
          curl -0 http://elrepo.org/linux/elrepo/el7/x86_64/RPMS/drbd84-utils- 8.9.6-1.el7.elrepo.x86_64.rpm
13250
           収集したパッケージをホームディレクトリにコピーし、確認します。
13260
       \bigcirc
13270
           scp xxxx@yyy:drbd84-utils-8.9.6-1.el7.elrepo.x86_64.rpm .
13280 a, s
13290
13300 a, s
           1s -1 *.rpm
13310
           -rw-rw-r-- 1 admin admin 410308 Nov 25 16:10 drbd84-utils-8.9.6-1.el7.elrepo.x86 64.rpm
13320
13330 a, s
           file *.rom
13340
           drbd84-utils-8.9.6-1.el7.elrepo.x86 64.rpm:
                                                                   RPM v3.0 bin i386/x86 64 drbd84-utils-8.9.6-1.el7.elrepo
13350
           drbd 管理ツールをインストールします。Oracle 社サポート外のパッケージです。
13360
13370
13380 a, s
           sudo yum -y --disablerepo=\text{* --enablerepo=media localinstall drbd84-utils-*.rpm
           sudo mv drbd84-utils-*.rpm /opt/packages/
13390 a, s
           sudo chmod 644 /usr/lib/systemd/system/drbd.service
13400 a, s
13410
      ○ インストーラをアンマウントします。
13420
```

```
13430
13440 a, s
            sudo umount /mnt
13450
           インストーラをDVDドライブから外します。
13460
13470
13480 a, s
           # Eject DVD
13490
           追加インストールしたパッケージの設定をバックアップします。
13500
13510
13520 a.s
           sudo cp -a /etc{, ~}/bash_completion.d/drbdadm
           sudo cp -a /etc{, ~}/corosync
13530 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/dbus-1/system.d/corosync-signals.conf
13540 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/drbd.conf
13550 a, s
13560 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/drbd.d
           sudo cp -a /etc\{, ^{\sim}\}/ha.d
13570 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/libreport/events.d/ruby_event.conf
13580 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/logrotate.d/corosync
13590 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/logrotate.d/pacemaker
13600 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/logrotate.d/pcsd
13610 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/pam. d/pcsd
13620 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/sysconfig/corosync
13630 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/sysconfig/corosync-notifyd
13640 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/sysconfig/crm_mon
13650 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/sysconfig/pacemaker
13660 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/sysconfig/pcsd
13670 a, s
           sudo cp -a /etc{,~}/target
13680 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/xen
13690 a, s
           sudo cp -a /etc/passwd
                                    /etc~/passwd_$(date +%Y%m%d_%H%M%S)
13700 a, s
           sudo cp -a /etc/passwd- /etc~/passwd-_$(date +%Y%m%d_%H%M%S)
13710 a, s
                                     /etc~/shadow_$(date +%Y%m%d_%H%M%S)
13720 a, s
            sudo cp -a /etc/shadow
           sudo cp -a /etc/shadow-
                                    /etc~/shadow- $(date +%Y%m%d_%H%M%S)
13730 a, s
13740 a, s
            sudo cp -a /etc/group
                                     /etc~/group $(date +%Y%m%d %H%M%S)
                                    /etc~/group-_$(date +%Y%m%d_%H%M%S)
13750 a, s
            sudo cp -a /etc/group-
           sudo cp -a /etc/gshadow /etc~/gshadow $(date +%Y%m%d %H%M%S)
13760 a, s
           sudo cp -a /etc/gshadow- /etc~/gshadow- $(date +%Y%m%d %H%M%S)
13770 a, s
13780 a, s
           カーネルパラメータを設定します。
13790
13800
                        sudo tee /etc/sysctl.d/tgt.conf
13810 a, s
            cat << 'EOF'
13820 a.s
           net. core. netdev_max_backlog = 250000
13830 a. s
           net. core. optmem_max = 16777216
```

```
13840 a, s
            net.core.rmem default = 16777216
            net. core. rmem_max = 16777216
13850 a, s
            net.core.wmem_default = 16777216
13860 a, s
13870 a, s
            net. core. wmem \max = 16777216
            net.ipv4.tcp_mem = 39363 209944 314904
13880 a, s
13890 a, s
            net.ipv4.tcp_rmem = 8192 87380 16777216
            net. ipv4. tcp_wmem = 8192 65536 16777216
13900 a, s
13910 a, s
            net. ipv4. tcp_no_metrics_save = 1
13920 a, s
            net. ipv4. tcp_sack = 0
13930 a, s
            net. ipv4. tcp timestamps = 0
13940 a, s
            EOF
13950
            再起動します。
13960
       \bigcirc
13970
            sudo reboot
13980 a, s
13990
            管理者用一般ユーザにて、ssh でログインします。
14000
14010
14020
            ssh admin@10, 110, 88, 57
            admin@10.110.88.57's password: ******
14030
14040
14050
            ssh admin@10.110.88.58
            admin@10.110.88.58's password: ******
14060
14070
            カーネルパラメータを確認します。
14080
        \bigcirc
14090
            sysct1 -a 2> /dev/nul1 | egrep 'net\( \). core\( \). *mem | net\( \). core\( \). *mem | net\( \). ipv4\( \). tcp_no_|net\( \). ipv4\( \). tcp_sa | net\( \). ipv4\( \). tcp_sa | net\( \). ipv4\( \).
14100 a, s
            net.core.netdev max backlog = 250000
14110
14120
            net. core. optmem \max = 16777216
14130
            net.core.rmem default = 16777216
14140
            net.core.rmem \max = 16777216
14150
            net.core.wmem default = 16777216
14160
            net.core.wmem \max = 16777216
14170
            net. ipv4. tcp mem = 39363
                                               209944 314904
14180
            net. ipv4. tcp no metrics save = 1
14190
            net. ipv4. tcp rmem = 8192
                                               87380
                                                        16777216
14200
            net. ipv4. tcp sack = 0
14210
            net.ipv4.tcp_timestamps = 0
14220
            net. ipv4. tcp_{wmem} = 8192
                                               65536
                                                        16777216
14230
            LVM の設定を変更します。
14240
```

```
14250
            sudo sed -i -e 's/obtain_device_list_from_udev =. *$/obtain_device_list_from_udev = 0/' /etc/lvm/lvm.conf
14260 a, s
            sudo sed -i -e 's/use_blkid_wiping =.*$/use_blkid_wiping = 0/' /etc/lvm/lvm.conf
14270 a, s
            sudo sed -i -e 's/use_lvmetad = .*$/use_lvmetad = 0/' /etc/lvm/lvm.conf
14280 a, s
            sudo sed -i -e 's/use_1vmpolld =. *$/use_1vmpolld = 0/' /etc/1vm/1vm.conf
14290 a, s
            sudo sed -i -e 's/write_cache_state = .*$/write_cache_state = 0/' /etc/lvm/lvm.conf
14300 a, s
            sudo sed -i -e 's/readahead = .**/readahead = "none"/' /etc/lvm/lvm.conf
14310 a, s
            sudo patch --ignore-whitespace /etc/lvm/lvm.conf << 'EOF'
14320 a, s
14330 a, s
            diff -upr /etc/lvm/lvm.conf /etc/lvm/lvm.conf.new
                                   2015-11-21 12:01:29, 000000000 +0900
14340 a, s
            --- /etc/1vm/1vm.conf
14350 a, s
            +++ /etc/lvm/lvm.conf.new
                                              2016-09-21 07:52:14.164259555 +0900
            @@ -139,6 +139,7 @@ devices {
14360 a, s
14370 a, s
14380 a, s
                    # This configuration option has an automatic default value.
                    # filter = ["a|.*/|"]
14390 a, s
            +filter = ["r|vg.*|", "a|sd.*|", "a|drbd.*|", "r|.*|"]
14400 a, s
14410 a, s
14420 a, s
                    # Configuration option devices/global_filter.
                    # Limit the block devices that are used by LVM system components.
14430 a, s
14440 a, s
            EOF
14450 a, s
            sudo systemctl stop lvm2-lvmetad. socket
14460 a, s
            sudo systemctl stop lvm2-lvmpolld.socket
            sudo systemctl disable lvm2-lvmetad. socket
14470 a, s
            sudo systemctl disable lvm2-lvmpolld.socket
14480 a, s
            sudo rm -f /etc/lvm/cache/.cache
14490 a, s
            sudo cp -a /etc/lvm/lvm.conf /etc~/lvm/lvm.conf $(date +%Y%m%d %H%M%S)
14500 a, s
14510
14520
            LVM の設定変更を初期化 RAM ディスクに反映します。
14530
14540 a, s
            for i in /boot/initramfs-*
14550 a, s
14560 a. s
              KVER=$(echo $i | sed -n 's%/boot/initramfs-\footnote{\text{Y}}(.*\footnote{\text{Y}}).img%\footnote{\text{Y}}1%p')
              if echo $KVER | grep -q -v rescue; then
14570 a, s
                if echo $KVER | grep -q -v kdump; then
14580 a, s
                  sudo dracut --force /boot/initramfs-$KVER.img $KVER;
14590 a, s
14600 a, s
                fi
14610 a, s
              fi
14620 a, s
            done
14630
            LVM 物理ボリュームを作成します。
14640
14650
```

```
sudo pycreate /dev/sdc
14660 a, s
             Physical volume "/dev/sdc" successfully created
14670
14680
14690 a, s
           sudo pycreate /dev/sdd
14700
             Physical volume "/dev/sdd" successfully created
14710
14720 a, s
           sudo pvcreate /dev/sde
             Physical volume "/dev/sde" successfully created
14730
14740
14750 a, s
           sudo pvcreate /dev/sdf
             Physical volume "/dev/sdf" successfully created
14760
14770
           LVM ボリュームグループを作成します。
14780
14790
           sudo vgcreate -s 4M vg0 /dev/sdc /dev/sdd /dev/sde /dev/sdf
14800 a, s
             Volume group "vg0" successfully created
14810
14820
           LVM 論理ボリュームを作成します。
14830
14840
           sudo lvcreate --name lv-drbd0 --extents 90%FREE vg0
14850 a, s
             Logical volume "lv-drbd0" created.
14860
14870
14880
           LVM の状態を確認します。
       \bigcirc
14890
14900 a, s
           sudo pvs
14910
             PV
                       VG
                           Fmt Attr PSize PFree
             /dev/sdc vg0 1vm2 a-- 100.00g
14920
                      vg0 1vm2 a-- 100.00g
14930
             /dev/sdd
             /dev/sde vg0 1vm2 a-- 100.00g
14940
                                                 0
14950
             /dev/sdf vg0 lvm2 a-- 100.00g 40.00g
14960
14970 a, s
           sudo vgs
14980
             VG #PV #LV #SN Attr VSize
                                           VFree
14990
                    4 1 0 wz--n- 399.98g 40.00g
15000
15010 a, s
           sudo lvs
15020
             LV
                      VG
                          Attr
                                     LSize
                                             Pool Origin Data% Meta% Move Log Cpy%Sync Convert
15030
             1v-drbd0 vg0 -wi-a---- 359.98g
15040
           DRBD の設定ファイルを作成します。
15050
15060
```

```
cat /etc/drbd.conf
15070 a, s
15080
              # You can find an example in /usr/share/doc/drbd.../drbd.conf.example
15090
              include "drbd. d/global common. conf";
15100
              include "drbd. d/*. res";
15110
15120
                               sudo tee /etc/drbd.d/global_common.conf
15130 a, s
              cat << 'EOF'
              global {
15140 a, s
15150 a, s
                usage-count no;
15160 a, s
15170 a, s
              common {
15180 a, s
                handlers {
                pri-on-incon-degr "/usr/lib/drbd/notify-pri-on-incon-degr, sh; /usr/lib/drbd/notify-emergency-reboot.sh; echo 1 > /proc/sys/kernel/sysrq; echo b > /proc/sys/retrigger; reboot -f";
15190 a, s
                local-io-error "/usr/lib/drbd/notify-io-error.sh; /usr/lib/drbd/notify-emergency-shutdown.sh; echo 1 > /proc/sys/kernel/sysrq; echo o > /proc/sysrq-trigger; halt -f";
15200 a, s
                  fence-peer "/usr/lib/drbd/crm-fence-peer.sh";
15210 a, s
                  before-resync-target "/usr/lib/drbd/snapshot-resync-target-lvm.sh -p 4";
15220 a, s
                  after-resync-target "/usr/lib/drbd/unsnapshot-resync-target-lym.sh; /usr/lib/drbd/crm-unfence-peer.sh";
15230 a, s
15240 a, s
15250 a, s
                startup {
15260 a, s
              #wfc# wfc-timeout 10;
              #wfc# degr-wfc-timeout 10;
15270 a, s
              #wfc# outdated-wfc-timeout 10;
15280 a, s
15290 a, s
15300 a, s
                disk {
15310 a, s
                  on-io-error detach;
                  fencing resource-only;
15320 a, s
15330 a, s
                  al-extents 6433;
15340 a, s
                  c-plan-ahead 20;
                  c-delay-target 100;
15350 a, s
15360 a, s
                  c-fill-target 0;
15370 a, s
                  c-max-rate 100M;
15380 a, s
                  c-min-rate 1M;
15390 a, s
15400 a, s
                net {
15410 a, s
                  protocol C;
15420 a, s
                  max-buffers 128k;
15430 a, s
                  sndbuf-size 0;
15440 a, s
                  rcvbuf-size 0;
15450 a, s
                  cram-hmac-alg shal;
                  shared-secret "password";
15460 a. s
15470 a. s
                  congestion-fill 100M;
```

```
15480 a, s
                                         congestion-extents 2000;
15490 a, s
                                          csums-alg md5;
15500 a, s
                                         verify-alg md5;
15510 a, s
                                          use-rle ves;
15520 a, s
15530 a, s
15540 a, s
                               EOF
                               sudo cp -a /etc/drbd. d/global common. conf /etc~/drbd. d/global common. conf $(date +\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}{\pi}\frac{\pi}
15550 a, s
15560 a, s
15570 a, s
                               cat << 'EOF'
                                                                      sudo tee /etc/drbd. d/r0. res
15580 a, s
                               resource r0 {
15590 a, s
                                    volume 0 {
15600 a, s
                                         device /dev/drbd0;
                                         disk /dev/vg0/1v-drbd0;
15610 a, s
                                         meta-disk internal;
15620 a, s
15630 a, s
                                    on iscsitgt01a.example.com {
15640 a, s
15650 a, s
                                         address 192.168.1.2:7788;
15660 a, s
15670 a, s
                                    on iscsitgt01s.example.com {
15680 a, s
                                         address 192.168.1.3:7788;
15690 a, s
15700 a, s
15710 a, s
                               EOF
15720
                               DRBD リソースを初期化します。
15730
                  \bigcirc
15740
15750 a, s
                               sudo drbdadm create-md r0
                               initializing activity log
15760
15770
                               NOT initializing bitmap
15780
                               Writing meta data...
15790
                               New drbd meta data block successfully created.
15800
                               targetcli から exit する際に自動的に設定を save する挙動を無効化します。
15810
15820
15830 a, s
                               sudo targetcli set global auto_save_on_exit=false
                               Warning: Could not load preferences file /root/. targetcli/prefs. bin.
15840
                               Parameter auto_save_on_exit is now 'false'.
15850
15860
                               targetcli から target を追加する際に自動的に portal が作成される挙動を無効化します。
15870
15880
```

```
sudo targetcli set global auto_add_default_portal=false
15890 a, s
           Parameter auto_add_default_portal is now 'false'.
15900
15910
           targetcli コマンドのデフォルト設定を確認します。
15920
15930
           sudo targetcli get global
15940 a, s
           GLOBAL CONFIG GROUP
15950
15960
            _____
15970
           auto add default portal=false
15980
           If true, adds a portal listening on all IPs to new targets.
15990
16000
16010
           auto add mapped luns=true
16020
           If true, automatically create node ACLs mapped LUNs after creating a new target LUN or a new node ACL
16030
16040
16050
           auto cd after create=false
16060
           If true, changes current path to newly created objects.
16070
16080
16090
           auto enable tpgt=true
16100
16110
           If true, automatically enables TPGTs upon creation.
16120
16130
           auto_save_on_exit=false
16140
           If true, saves configuration on exit.
16150
16160
           color command=cyan
16170
16180
16190
           Color to use for command completions.
16200
16210
           color default=none
16220
16230
           Default text display color.
16240
16250
           color_keyword=cyan
16260
           Color to use for keyword completions.
16270
16280
           color mode=true
16290
```

```
16300
            Console color display mode.
16310
16320
16330
            color_parameter=magenta
16340
16350
            Color to use for parameter completions.
16360
16370
            color_path=magenta
16380
16390
            Color to use for path completions
16400
16410
            export_backstore_name_as_model=true
16420
            If true, the backstore name is used for the scsi inquiry model name.
16430
16440
16450
            logfile=/root/. targetcli/log. txt
16460
            Logfile to use.
16470
16480
16490
            loglevel_console=info
16500
16510
            Log level for messages going to the console.
16520
16530
            loglevel_file=debug
16540
            Log level for messages going to the log file.
16550
16560
16570
            prompt_length=30
16580
            Max length of the shell prompt path, 0 for infinite.
16590
16600
16610
            tree_max_depth=0
16620
            Maximum depth of displayed node tree.
16630
16640
            tree_round_nodes=true
16650
16660
            Tree node display style.
16670
16680
16690
            tree_show_root=true
16700
```

```
16710
            Whether or not to display tree root.
16720
16730
            tree_status_mode=true
16740
16750
            Whether or not to display status in tree.
16760
            不要なログ出力を抑止します。
16770
16780
16790 a, s
            cat << 'EOF' | sudo tee /etc/rsyslog. d/ignore-lio.conf
            if $programname == "kernel" and $msg contains "MODE SENSE: unimplemented page/subpage:" then stop
16800 a, s
16810 a, s
            EOF
            sudo systemctl restart rsyslog
16820 a, s
16830
16840
            LIO のリソース・エージェントを作成します。
16850
                             sudo tee /usr/lib/ocf/resource.d/heartbeat/LI0
16860 a, s
            cat << 'EOF LIO'
16870 a, s
            #!/bin/bash
16880 a, s
16890 a, s
                  LIO OCF RA. manages iSCSI target LIO.
16900 a, s
                (c) 2009-2010 Florian Haas, Dejan Muhamedagic,
16910 a, s
                              and Linux-HA contributors
16920 a, s
16930 a, s
                   modified by Katsuaki Hamada (hamada@pc-office.net), 10 Dec 2016
16940 a, s
16950 a, s
            # This program is free software; you can redistribute it and/or modify
16960 a, s
16970 a, s
            # it under the terms of version 2 of the GNU General Public License as
16980 a, s
            # published by the Free Software Foundation.
16990 a, s
17000 a, s
            # This program is distributed in the hope that it would be useful, but
17010 a, s
            # WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of
17020 a, s
            # MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.
17030 a, s
            # Further, this software is distributed without any warranty that it is
17040 a, s
            # free of the rightful claim of any third person regarding infringement
17050 a, s
            # or the like. Any license provided herein, whether implied or
17060 a, s
17070 a, s
            # otherwise, applies only to this software file. Patent licenses, if
            # any, provided herein do not apply to combinations of this program with
17080 a, s
17090 a, s
            # other software, or any other product whatsoever.
17100 a.s
17110 a.s
            # You should have received a copy of the GNU General Public License
```

```
17120 a, s
            # along with this program; if not, write the Free Software Foundation,
            # Inc., 59 Temple Place - Suite 330, Boston MA 02111-1307, USA.
17130 a, s
17140 a, s
17150 a, s
17160 a, s
17170 a, s
            # Initialization:
            : ${OCF_FUNCTIONS_DIR=${OCF_ROOT}/lib/heartbeat}
17180 a, s
            . ${OCF_FUNCTIONS_DIR}/ocf-shellfuncs
17190 a, s
17200 a, s
17210 a, s
            # Lockfile, used for selecting a target ID
17220 a, s
            LOCKFILE=${HA RSCTMP}/target.lock
17230 a, s
17240 a, s
            meta data() {
17250 a, s
                    cat <<END
17260 a, s
            <?xml version="1.0"?>
17270 a, s
            <!DOCTYPE resource-agent SYSTEM "ra-api-1.dtd">
17280 a, s
            <resource-agent name="LIO" version="1.0">
17290 a, s
            <version>0.9
17300 a, s
17310 a, s
17320 a, s
            <longdesc lang="en">
17330 a, s
            Manages iSCSI target LIO. An iSCSI target is a collection of SCSI Logical
            Units (LUs) exported via a daemon that speaks the iSCSI protocol.
17340 a, s
17350 a, s
            ⟨shortdesc lang="en"⟩iSCSI target export agent⟨/shortdesc⟩
17360 a, s
17370 a, s
17380 a, s
            parameters>
            cparameter name="ign" required="0" unique="1">
17390 a, s
            <longdesc lang="en">
17400 a, s
            The target iSCSI Qualified Name (IQN). Should follow the conventional
17410 a, s
            ign. yyyy-mm. <reversed domain name&gt; [:identifier] syntax.
17420 a, s
17430 a, s
            <shortdesc lang="en">iSCSI target IQN</shortdesc>
17440 a, s
            <content type="string" />
17450 a, s
            </parameter>
17460 a, s
            </parameters>
17470 a, s
17480 a, s
17490 a, s
            <actions>
            <action name="start" timeout="10" />
17500 a, s
            <action name="stop" timeout="10" />
17510 a. s
            <action name="status" timeout="10" interval="10" depth="0" />
17520 a. s
```

```
<action name="monitor" timeout="10" interval="10" depth="0" />
17530 a, s
            <action name="meta-data" timeout="5" />
17540 a, s
            <action name="validate-all" timeout="10" />
17550 a, s
            </actions>
17560 a, s
            </resource-agent>
17570 a, s
17580 a, s
             END
17590 a, s
17600 a, s
17610 a, s
17620 a, s
            LIO_usage() {
17630 a, s
17640 a, s
               cat <<END
            usage: $0 {start | stop | status | monitor | validate-all | meta-data}
17650 a, s
17660 a, s
            Expects to have a fully populated OCF RA-compliant environment set.
17670 a, s
17680 a, s
             END
17690 a, s
17700 a, s
            LIO_start() {
17710 a, s
17720 a, s
              LIO monitor
              [ $? = $OCF SUCCESS ] && return $OCF SUCCESS
17730 a, s
17740 a, s
              /usr/bin/timeout 3 /usr/bin/targetctl restore
17750 a, s
              LIO monitor
17760 a, s
17770 a, s
17780 a, s
            LIO_stop() {
17790 a, s
              LIO monitor
              [ $? -eq $OCF_NOT_RUNNING ] && return $OCF_SUCCESS
17800 a, s
              /usr/bin/timeout 3 /usr/bin/targetctl clear
17810 a, s
17820 a, s
              rc=$?
17830 a, s
               [ $rc -eq 0 ] && return $OCF_SUCCESS
17840 a, s
               [ -e /etc/ha.d/noreboot ] && return $rc
              echo 1 > /proc/sys/kernel/sysrq
17850 a, s
17860 a, s
              echo s > /proc/sysrq-trigger
              echo u > /proc/sysrq-trigger
17870 a, s
              echo c > /proc/sysrq-trigger
17880 a, s
              /sbin/reboot -f
17890 a, s
17900 a, s
              return $rc
17910 a, s
17920 a.s
            LIO_monitor() {
17930 a. s
```

```
for i in /sys/kernel/config/target/iscsi/iqn.*
17940 a, s
17950 a, s
              do
                [ -d $i ] && [ $(cat $i/tpgt_1/enable) -eq 1 ] && return $OCF_SUCCESS
17960 a, s
17970 a, s
              done
17980 a, s
              return $OCF_NOT_RUNNING
17990 a, s
18000 a, s
18010 a, s
            LIO_validate() {
18020 a, s
              if ! ocf is probe; then
                # Do we have all required binaries?
18030 a, s
18040 a, s
                check binary targetctl
18050 a, s
              fi
18060 a, s
              return $OCF SUCCESS
18070 a, s
18080 a, s
18090 a, s
            case $1 in
                          meta_data; exit $OCF_SUCCESS;;
18100 a, s
              meta-data)
18110 a, s
              usage help) LIO_usage; exit $OCF_SUCCESS;;
18120 a, s
            esac
18130 a, s
18140 a, s
            # Everything except usage and meta-data must pass the validate test
18150 a, s
            LIO validate
18160 a, s
18170 a, s
            case $__OCF_ACTION in
18180 a, s
              start)
                               LIO_start;;
18190 a, s
                               LIO stop;;
              stop)
18200 a, s
              monitor status) LIO_monitor;;
                               ocf_log err "Reloading..."; LIO_start;;
18210 a, s
              reload)
18220 a, s
              validate-all)
18230 a, s
              *)
                              LIO_usage; exit $OCF_ERR_UNIMPLEMENTED;;
18240 a, s
            esac
18250 a, s
            rc=$?
            ocf_log debug "${OCF_RESOURCE_INSTANCE} $__OCF_ACTION: $rc"
18260 a, s
            exit $rc
18270 a, s
18280 a, s
            EOF LIO
            sudo chmod 755 /usr/lib/ocf/resource.d/heartbeat/LIO
18290 a, s
18300
            VIP に関するリソース・エージェント(IPaddr2)の名前を変更します。
18310
18320
18330 a.s
            sed -e 's/IPaddr2/VIP/g' /usr/lib/ocf/resource.d/heartbeat/IPaddr2 | sudo tee /usr/lib/ocf/resource.d/heartbeat/VIP > /dev/null
18340 a. s
            sudo chmod 755 /usr/lib/ocf/resource.d/heartbeat/VIP
```

```
18350
                ※ LVM, LIO, VIP リソース・エージェント名文字数を統一し、「sudo pcs status」等の実行結果を見やすくします。
18360
                ※ サポート問い合わせ時は、IPaddr2 を上記のコマンドで変更している点を伝えないと話が通じないものと思われます。
18370
18380
18390
           pcs の利用環境を整えます。
18400
           echo 'password' | sudo passwd --stdin hacluster
18410 a, s
18420
           Changing password for user hacluster.
18430
            passwd: all authentication tokens updated successfully.
18440
18450 a, s
           sudo cp -a /etc/shadow
                                   /etc~/shadow $(date +%Y%m%d %H%M%S)
           sudo cp -a /etc/shadow- /etc~/shadow- $(date +%Y%m%d %H%M%S)
18460 a, s
18470
18480 a, s
           sudo usermod -a -G haclient admin
18490
18500 a, s
           id admin
18510
           uid=1000 (admin) gid=1000 (admin) groups=1000 (admin), 10 (wheel), 189 (haclient)
18520
18530 a, s
           sudo usermod -a -G haclient monitor
18540
18550 a, s
           id monitor
18560
           uid=1001 (monitor) gid=1001 (monitor) groups=1001 (monitor), 189 (haclient)
18570
                                    /etc~/group_$(date +%Y%m%d_%H%M%S)
18580 a, s
           sudo cp -a /etc/group
           sudo cp -a /etc/group-
                                   /etc~/group- $(date +%Y%m%d %H%M%S)
18590 a, s
18600
18610 a, s
           sudo systemctl start pcsd
18620 a, s
           sudo systemctl enable pcsd
18630
           Created symlink from /etc/systemd/system/multi-user. target. wants/pcsd. service to /usr/lib/systemd/system/pcsd. service.
18640
           Corosync のサービス設定を変更します。
18650
       \bigcirc
18660
           sed -e 's/\dagger#Restart=on-failure.*$/Restart=on-failure/' \u2204
18670 a, s
            -e 's/^#RestartSec=.*$/RestartSec=70/' ¥
18680 a, s
            -e 's%^#ExecStartPre=/sbin/modprobe softdog soft_margin=.*$%ExecStartPre=/sbin/modprobe softdog soft_margin=6%' \tilde{\pmathbf{y}}
18690 a, s
            /usr/lib/systemd/system/corosync.service | sudo tee /etc/systemd/system/corosync.service
18700 a, s
            [Unit]
18710
18720
           Description=Corosync Cluster Engine
18730
           ConditionKernelCommandLine=!nocluster
           Requires=network-online.target
18740
18750
           After=network-online. target
```

```
18760
18770
            [Service]
18780
            ExecStart=/usr/share/corosvnc/corosvnc start
18790
           ExecStop=/usr/share/corosync/corosync stop
18800
           Type=forking
18810
18820
            # The following config is for corosync with enabled watchdog service.
18830
18840
               When corosync watchdog service is being enabled and using with
18850
              pacemaker. service, and if you want to exert the watchdog when a
           # corosync process is terminated abnormally,
18860
18870
            # uncomment the line of the following Restart= and RestartSec=.
18880
            Restart=on-failure
18890
            # Specify a period longer than soft margin as RestartSec.
            RestartSec=70
18900
18910
            # rewrite according to environment.
18920
            ExecStartPre=/sbin/modprobe softdog soft margin=6
18930
18940
           [Install]
18950
           WantedBy=multi-user.target
18960
                ※ カーネル内のソフトウェア watchdog 機能を有効化します。
18970
                ※ Corosvnc プロセス障害検知時間を6秒以内とします。
18980
18990
19000 a, s
           cat /etc/sysconfig/corosync
19010
           # Corosync init script configuration file
19020
19030
           # COROSYNC INIT TIMEOUT specifies number of seconds to wait for corosync
19040
            # initialization (default is one minute).
19050
           COROSYNC INIT TIMEOUT=60
19060
19070
            # COROSYNC OPTIONS specifies options passed to corosync command
19080
           # (default is no options).
           # See "man corosync" for detailed descriptions of the options.
19090
           COROSYNC_OPTIONS=""
19100
19110
19120
           Pacemaker のサービス設定を変更します。
19130
           sed -e "s%^# ExecStopPost=/bin/sh -c 'pidof crmd || killall -TERM corosync'$%ExecStopPost=/bin/sh -c 'pidof crmd || killall -TERM corosync'%" ¥
19140 a, s
            /usr/lib/systemd/system/pacemaker.service | sudo tee /etc/systemd/system/pacemaker.service
19150 a. s
19160
            [Unit]
```

```
19170
            Description=Pacemaker High Availability Cluster Manager
19180
            After=dbus.service
19190
19200
            After=basic.target
19210
            After=syslog. service
19220
            After=network. target
19230
            After=corosync. service
19240
19250
            Requires=dbus. service
19260
            Requires=basic. target
            Requires=corosync.service
19270
19280
            # if you use crm_mon, uncomment the line below.
19290
            # Wants=crm mon. service
19300
19310
            [Install]
            WantedBy=multi-user.target
19320
19330
19340
            [Service]
19350
            Type=simple
19360
            KillMode=process
19370
            NotifyAccess=main
19380
            EnvironmentFile=-/etc/sysconfig/pacemaker
            EnvironmentFile=-/etc/sysconfig/sbd
19390
19400
            SuccessExitStatus=100
19410
19420
            ExecStart=/usr/sbin/pacemakerd -f
19430
19440
            # If pacemakerd doesn't stop, its probably waiting on a cluster
            # resource. Sending -KILL will just get the node fenced
19450
19460
            SendSIGKILL=no
19470
19480
            # If we ever hit the StartLimitInterval/StartLimitBurst limit and the
19490
            # admin wants to stop the cluster while pacemakerd is not running, it
19500
            # might be a good idea to enable the ExecStopPost directive below.
19510
            # Although the node will likely end up being fenced as a result so its
19520
19530
            # not on by default
19540
            # ExecStopPost=/usr/bin/killall -TERM crmd attrd fenced cib pengine lrmd
19550
19560
19570
            # If you want Corosync to stop whenever Pacemaker is stopped,
```

```
19580
            # uncomment the next line too:
19590
           ExecStopPost=/bin/sh -c 'pidof crmd || killall -TERM corosync'
19600
19610
19620
            # Uncomment this for older versions of systemd that didn't support
19630
            # TimeoutStopSec
19640
            # TimeoutSec=30min
19650
19660
            # Pacemaker can only exit after all managed services have shut down
19670
            # A HA database could conceivably take even longer than this
19680
            TimeoutStopSec=30min
19690
            TimeoutStartSec=60s
19700
19710
            # Restart options include: no, on-success, on-failure, on-abort or always
19720
            Restart=on-failure
19730
19740
            # crm perror() writes directly to stderr, so ignore it here
19750
            # to avoid double-logging with the wrong format
19760
            StandardError=null
19770
19780
            # if you use crm mon, uncomment the line below.
           # ExecStopPost=/bin/sh -c 'systemctl status crm mon >/dev/null && systemctl stop crm mon'
19790
19800
                ※ Pacemaker サービス停止時に Corosync サービスを停止します。
19810
19820
           sudo sed -i -e 's/^# PCMK fail fast=.*$/PCMK fail fast=ves/' /etc/sysconfig/pacemaker
19830 a, s
           sudo cp -a /etc/sysconfig/pacemaker /etc~/sysconfig/pacemaker $(date +%Y%m%d %H%M%S)
19840 a, s
            cat /etc/sysconfig/pacemaker
19850 a, s
            # For non-systemd based systems, prefix export to each enabled line
19860
19870
19880
            # Turn on special handling for CMAN clusters in the init script
19890
           # Without this, fenced (and by inference, cman) cannot reliably be made to shut down
           # PCMK STACK=cman
19900
19910
19920
            #==#==# Variables that control logging
19930
19940
            # Enable debug logging globally or per-subsystem
19950
            # Multiple subsystems may me listed separated by commas
19960
            # eg. PCMK_debug=crmd, pengine
19970
           # PCMK debug=yes no crmd pengine cib stonith-ng attrd pacemakerd
19980
```

```
19990
            # Send INFO (and higher) messages to the named log file
            # Additional messages may also appear here depending on any configured debug and trace settings
20000
20010
            # By default Pacemaker will inherit the logfile specified in corosync.conf
20020
            # PCMK logfile=/var/log/pacemaker.log
20030
            # Specify an alternate syslog target for NOTICE (and higher) messages
20040
20050
            # Use 'none' to disable - not recommended
            # The default value is 'daemon'
20060
            # PCMK logfacility=none|daemon|user|local0|local1|local2|local3|local4|local5|local6|local7
20070
20080
20090
            # Send all messages up-to-and-including the configured priority to syslog
            # A value of 'info' will be far too verbose for most installations and 'debug' is almost certain to send you blind
20100
            # The default value is 'notice'
20110
20120
            # PCMK logpriority=emerg alert crit error warning notice info debug
20130
20140
            # Log all messages from a comma-separated list of functions
20150
            # PCMK trace functions=function1, function2, function3
20160
20170
            # Log all messages from a comma-separated list of files (no path)
            # Supports wildcards eg. PCMK_trace_files=prefix*.c
20180
20190
            # PCMK trace files=file.c, other.h
20200
20210
            # Log all messages matching comma-separated list of formats
            # PCMK trace formats="Sent delete %d"
20220
20230
20240
            # Log all messages from a comma-separated list of tags
20250
            # PCMK trace tags=tag1, tag2
20260
20270
            # Dump the blackbox whenever the message at function and line is printed
20280
            # eg. PCMK trace blackbox=te graph trigger: 223, unpack clone: 81
20290
            # PCMK trace blackbox=fn:line, fn2:line2,...
20300
20310
            # Enable blackbox logging globally or per-subsystem
            # The blackbox contains a rolling buffer of all logs (including info+debug+trace)
20320
20330
            # and is written after a crash, assertion failure and/or when SIGTRAP is received
20340
20350
            # The blackbox recorder can also be enabled for Pacemaker daemons at runtime by
            # sending SIGUSR1 (or SIGTRAP), and disabled by sending SIGUSR2
20360
20370
20380
            # Multiple subsystems may me listed separated by commas
            # eg. PCMK blackbox=crmd, pengine
20390
```

```
20400
            # PCMK blackbox=ves no crmd pengine cib stonith-ng attrd pacemakerd
20410
20420
            #==#==# Advanced use only
20430
20440
            # Enable this for compatibility with older corosync (prior to 2.0)
20450
            # based clusters which used the nodes uname as its uuid also
20460
            # PCMK uname is uuid=no
20470
20480
            # Specify an alternate location for RNG schemas and XSL transforms
20490
            # Mostly only useful for developer testing
           # PCMK_schema_directory=/some/path
20500
20510
20520
            # Enable this for rebooting this machine at the time of process (subsystem) failure
20530
            PCMK fail fast=ves
20540
20550
            #==#==# Pacemaker Remote
20560
            # Use a custom directory for finding the authkey.
20570
            # PCMK authkey location=/etc/pacemaker/authkey
20580
20590
            # Specify a custom port for Pacemaker Remote connections
           # PCMK remote port=3121
20600
20610
20620
            #==#==# IPC
20630
20640
            # Force use of a particular class of IPC connection
20650
            # PCMK ipc type=shared-mem socket posix sysy
20660
            # Specify an IPC buffer size in bytes
20670
20680
            # Useful when connecting to really big clusters that exceed the default 20k buffer
20690
           # PCMK ipc buffer=20480
20700
20710
            #==#==# Profiling and memory leak testing
20720
20730
            # Variables for running child daemons under valgrind and/or checking for memory problems
20740
            # G SLICE=always-malloc
20750
            # MALLOC PERTURB =221 # or 0
20760
            # MALLOC CHECK =3
                                  \# or 0, 1, 2
           # PCMK_valgrind_enabled=ves
20770
           # PCMK_valgrind_enabled=cib, crmd
20780
20790
            # PCMK callgrind enabled=yes
            # PCMK callgrind enabled=cib, crmd
20800
```

```
# VALGRIND OPTS="--leak-check=full --trace-children=no --num-callers=25 --log-file=/var/lib/pacemaker/valgrind-%p
20810
             --suppressions=/usr/share/pacemaker/tests/valgrind-pcmk.suppressions --gen-suppressions=all"
20820
20830
                ※ Pacemaker の内部プロセス障害をノード障害として扱うようにします。
20840
20850
            Pacemaker のリソース設定スクリプトを作成します。
20860
20870
            cat << 'EOF'
                          sudo tee /etc/ha.d/crm.sh
20880 a, s
20890 a, s
           #!/bin/bash
20900 a, s
            pcs property set batch-limit=30
20910 a, s
            pcs property set cluster-delay=60
           pcs property set cluster-recheck-interval=15min
20920 a, s
20930 a, s
            pcs property set crmd-finalization-timeout=30min
            pcs property set crmd-integration-timeout=3min
20940 a, s
            pcs property set crmd-transition-delay=0s
20950 a, s
20960 a, s
            pcs property set dc-deadtime=20s
            pcs property set default-action-timeout=20
20970 a, s
20980 a, s
            pcs property set election-timeout=2min
            pcs property set enable-acl=true --force
20990 a, s
            pcs property set enable-startup-probes=true
21000 a, s
21010 a, s
            pcs property set is-managed-default=true
            pcs property set load-threshold=80%
21020 a, s
            pcs property set maintenance-mode=false
21030 a, s
            pcs property set migration-limit=-1
21040 a, s
21050 a, s
            pcs property set no-quorum-policy=ignore
            pcs property set node-action-limit=0
21060 a, s
21070 a, s
            pcs property set node-health-green=0
            pcs property set node-health-red=-INFINITY
21080 a, s
            pcs property set node-health-strategy=none
21090 a, s
            pcs property set node-health-yellow=0
21100 a, s
21110 a, s
            pcs property set notification-agent=/dev/null
21120 a, s
            pcs property set pe-error-series-max=100
            pcs property set pe-input-series-max=100
21130 a, s
            pcs property set pe-warn-series-max=100
21140 a, s
            pcs property set placement-strategy=default
21150 a, s
21160 a, s
            pcs property set remove-after-stop=false
21170 a, s
            pcs property set shutdown-escalation=20min
21180 a, s
            pcs property set start-failure-is-fatal=true
            pcs property set startup-fencing=true
21190 a, s
            pcs property set stonith-action=reboot
21200 a.s
            pcs property set stonith-enabled=false
21210 a.s
```

```
21220 a, s
            pcs property set stonith-timeout=60
            pcs property set stop-all-resources=false
21230 a, s
21240 a, s
            pcs property set stop-orphan-actions=true
21250 a, s
            pcs property set stop-orphan-resources=true
            pcs property set symmetric-cluster=true
21260 a, s
21270 a, s
21280 a, s
            pcs resource defaults resource-stickiness=200 migration-threshold=2
21290 a, s
21300 a, s
            pcs acl role create write-access description="Full access" write xpath /cib
            pcs acl role create read-only description="Read access to cluster" read xpath /cib
21310 a, s
21320 a, s
21330 a, s
            pcs acl user create admin write-access
            pcs acl user create monitor read-only
21340 a, s
21350 a, s
21360 a, s
            pcs resource create p_drbd_r0 ocf:linbit:drbd ¥
21370 a, s
              params drbd resource=r0 ¥
21380 a, s
                                                   timeout=240 ¥
              op start
21390 a, s
              op monitor interval=10 role=Master timeout=20 ¥
              op monitor interval=20 role=Slave
21400 a, s
                                                  timeout=20 ¥
21410 a, s
              op notify
                                                   timeout=90 ¥
21420 a, s
                                                   timeout=100 ¥
              op stop
21430 a, s
              op promote
                                                   timeout=90 ¥
                                                   timeout=90
21440 a, s
              op demote
21450 a, s
21460 a, s
            pcs resource master ms_drbd_r0 p_drbd_r0 ¥
21470 a, s
              meta master-max=1 master-node-max=1 clone-max=2 ¥
              clone-node-max=1 notify=true target-role=Started ¥
21480 a, s
21490 a, s
              is-managed=true
21500 a, s
            pcs resource create p_lvm ocf:heartbeat:LVM ¥
21510 a, s
21520 a, s
              params volgrpname=vg1 ¥
21530 a, s
              op start
                                      timeout=30 ¥
21540 a, s
              op monitor interval=5 timeout=10 ¥
21550 a, s
                                      timeout=30
              op stop
21560 a, s
21570 a, s
            pcs resource create p lio ocf:heartbeat:LIO ¥
21580 a, s
              op start
                                      timeout=10 ¥
21590 a, s
              op monitor interval=5 timeout=5 ¥
21600 a, s
                                      timeout=10
              op stop
21610 a.s
21620 a. s
            pcs resource create p_vip ocf:heartbeat:VIP ¥
```

```
21630 a, s
              params ip=10.110.88.59 cidr_netmask=26 nic=bond0 iflabel=1 arp_interval=200 arp_count=5 \u2264
21640 a, s
              op start
                                    timeout=20 ¥
21650 a, s
              op monitor interval=5 timeout=10 ¥
21660 a, s
                                    timeout=20
              op stop
21670 a, s
21680 a, s
            pcs resource group add g_tgt p_lvm p_lio p_vip
21690 a, s
21700 a, s
            pcs constraint location add lc_tgt g_tgt iscsitgt01a.example.com 100
21710 a, s
21720 a, s
            pcs constraint colocation add g_tgt \u21a4
21730 a, s
              ms drbd r0 INFINITY with-rsc-role=Master
21740 a, s
21750 a, s
            pcs constraint order promote ms drbd r0 then start p lym
21760 a, s
           sudo chmod 755 /etc/ha.d/crm.sh
21770 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/ha. d/crm. sh
21780 a, s
21790
            ※ ここからの作業は、Active 機と Stand-by 機が連動して動作していく前提の操作となります。
21800
21810
21820
           Active 機と Stand-by 機の間の疎通を確認します。
21830
           ping -c 1 -M do -s 8972 10.110.88.57 | echo Error
21840 a, s
            PING 10.110.88.57 (10.110.88.57) 8972 (9000) bytes of data.
21850
            8980 bytes from 10.110.88.57: icmp_seq=1 ttl=64 time=0.136 ms
21860
21870
21880
            --- 10.110.88.57 ping statistics ---
           1 packets transmitted, 1 received, 0% packet loss, time 0ms
21890
            rtt min/avg/max/mdev = 0.136/0.136/0.136/0.000 ms
21900
21910
21920 a, s
            traceroute -F 10.110.88.57 8972
            traceroute to 10.110.88.57 (10.110.88.57), 30 hops max, 8972 byte packets
21930
21940
             1 iscsitgt01a. example. com (10.110.88.57) 0.303 ms 0.265 ms 0.256 ms
21950
           ping -c 1 -M do -s 8972 10.110.88.58 | echo Error
21960 a, s
           traceroute -F 10.110.88.58 8972
21970 a, s
21980
           ping -c 1 -M do -s 8972 192.168.1.2 | echo Error
21990 a, s
22000 a, s
            traceroute -F 192.168.1.2 8972
22010
           ping -c 1 -M do -s 8972 192.168.1.3 | echo Error
22020 a.s
22030 a.s
            traceroute -F 192.168.1.3 8972
```

```
22040
           Active 機で ssh 鍵を作成し、Stand-by 機にコピーします。
22050
22060
           ssh-keygen -q -f ~/.ssh/id_rsa -N ""
22070
22080
           mv -f ~/. ssh/id_rsa. pub ~/. ssh/authorized_keys
           scp -pr .ssh/ iscsitgt01s:
22090
           The authenticity of host 'iscsitgt01s (10.110.88.58)' can't be established.
22100
22110
           ECDSA key fingerprint is cf:3a:39:91:fc:c9:ac:5c:4e:16:38:72:97:88:28:b2.
22120
           Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes
           Warning: Permanently added 'iscsitgt01s, 10.110.88.58' (ECDSA) to the list of known hosts.
22130
           admin@iscsitgt01s's password: ******
22140
22150
           id_rsa
                                                             100% 1679
                                                                          1.6KB/s
                                                                                    00:00
22160
           authorized keys
                                                             100% 411
                                                                          0.4KB/s
                                                                                    00:00
22170
                                                             100% 186
                                                                          0.2KB/s
           known hosts
                                                                                    00:00
22180
           Active 機と Stand-by 機で、ssh 鍵を root アカウント用にコピーします。
22190
22200
           sudo cp -a .ssh/ /root/
22210 a, s
22220 a, s
           sudo chown -R root:root /root/.ssh
22230
22240
           Active 機と Stand-by 機でほぼ同時に DRBD サービスを起動します。
22250
22260 a, s
           sudo systemctl start drbd. service
22270
           Stand-by 機で DRBD の状態をワッチします。
22280
22290
22300
           watch cat /proc/drbd
           Every 2.0s: cat /proc/drbd
22310
                                                                 Fri Nov 25 16:35:43 2016
22320
22330
           version: 8.4.5 (api:1/proto:86-101)
22340
           srcversion: 1AEFF755B8BD61B81A0AF27
22350
            0: cs:Connected ro:Secondary/Secondary ds: Inconsistent / Inconsistent C r----
22360
               ns:0 nr:0 dw:0 dr:0 al:0 bm:0 lo:0 pe:0 ua:0 ap:0 ep:1 wo:f oos:377459420
22370
           Active 機で DRBD の初期同期を開始します。
22380
22390
22400
           sudo drbdadm primary --force all
22410
           Stand-by 機で DRBD の状態を確認します。
22420
22430
22440
           Every 2.0s: cat /proc/drbd
                                                                 Fri Nov 25 16:36:21 2016
```

```
22450
22460
           version: 8.4.5 (api:1/proto:86-101)
22470
           srcversion: 1AEFF755B8BD61B81A0AF27
            0: cs:SyncTarget ro:Secondary/Primary ds:Inconsistent/UpToDate C r----
22480
22490
               ns:0 nr:0 dw:0 dr:355856 al:0 bm:0 lo:0 pe:0 ua:0 ap:0 ep:1 wo:f oos:377103564
                   [>.....] sync'ed: 0.1% (368264/368612)M
22500
                  finish: 0:52:57 speed: 118,616 (118,616) want: 102,400 K/sec
22510
22520
           ※ この状態でも、Active 機側で作業を続行できます。今回は、初期同期の完了を待つことにします。
22530
22540
22550
           Every 2.0s: cat /proc/drbd
                                                                Fri Nov 25 17:44:37 2016
22560
22570
           version: 8.4.5 (api:1/proto:86-101)
22580
           srcversion: 1AEFF755B8BD61B81A0AF27
22590
            0: cs:Connected ro:Secondary/Primary ds: UpToDate C r----
22600
               ns:0 nr:0 dw:0 dr:377459420 al:0 bm:0 lo:0 pe:0 ua:0 ap:0 ep:1 wo:f oos:0
22610
               「自機/対向機」がともに「UpToDate/UpToDate」となっているのが正常な状態です。
22620
22630
           Active 機で DRBD デバイス上に LVM を構成します。
22640
22650
          sudo pvcreate /dev/drbd0
22660
             Physical volume "/dev/drbd0" successfully created
22670
22680
22690
           sudo vgcreate -s 4M vg1 /dev/drbd0
             Volume group "vg1" successfully created
22700
22710
22720
          sudo lvcreate --name lv-lun0000 --extents 90%VG vgl
             Logical volume "lv-lun0000" created.
22730
22740
22750
           sudo lvcreate --name lv-lun0001 --extents 2%VG vgl
22760
             Logical volume "lv-lun0001" created.
22770
22780
          sudo lvcreate --name lv-lun0002 --extents 2%VG vg1
22790
             Logical volume "lv-lun0002" created.
22800
22810
          sudo lvcreate --name lv-lun0003 --extents 2%VG vgl
             Logical volume "lv-lun0003" created.
22820
22830
22840
       a sudo pvs
22850
             PV
                           Fmt Attr PSize
                                            PFree
```

```
22860
          /dev/drbd0 vg1 1vm2 a-- 359.97g 14.40g
22870
          /dev/sdc1 vg0 lvm2 a-- 100.00g
22880
          /dev/sdd1 vg0 lvm2 a-- 100.00g
22890
          /dev/sde1 vg0 lvm2 a-- 100.00g
                                     0
22900
          /dev/sdf1 vg0 1vm2 a-- 100.00g 40.00g
22910
22920
        sudo vgs
22930
          VG
             #PV #LV #SN Attr
                          VSize
                                VFree
22940
                    0 wz--n- 399.98g 40.00g
22950
                    0 wz--n- 359.97g 14.40g
          vg1
22960
22970
        sudo 1vs
22980
         LV
                  VG
                     Attr
                             LSize
                                   Pool Origin Data% Meta% Move Log Cpy%Sync Convert
22990
                 vg0 -wi-ao--- 359.98g
          1v-drbd0
23000
         1v-1un0000 vg1 -wi-a---- 323.97g
23010
         1v-lun0001 vg1 -wi-a---- 7.20g
         1v-1un0002 vg1 -wi-a---- 7.20g
23020
23030
         1v-1un0003 vg1 -wi-a---- 7.20g
23040
        Active 機で、targetcli から状態を確認します。
23050
23060
23070
        sudo targetcli ls /
        o- / ..... [...]
23080
         23090
23100
           23110
           o- fileio ...... [Storage Objects: 0]
23120
           o- ramdisk ...... [Storage Objects: 0]
23130
23140
          o- iscsi ...... [Targets: 0]
23150
          23160
23170
        Active 機で、IQN を定義します。
23180
23190
        sudo targetcli /iscsi create ign. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000
23200
        Created target ign. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0000.
23210
        Created TPG 1.
23220
        sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1 set attribute default_cmdsn_depth = 128
23230
23240
        Parameter default_cmdsn_depth is now '128'.
23250
        sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1 set parameter MaxConnections = 1
23260
```

```
23270
         Parameter MaxConnections is now '1'.
23280
23290
         sudo targetcli /iscsi create iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001
23300
         Created target ign. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0001.
23310
         Created TPG 1.
23320
         sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0001/tpg1 set attribute default_cmdsn_depth = 128
23330
         Parameter default cmdsn depth is now '128'.
23340
23350
23360
         sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1 set parameter MaxConnections = 1
         Parameter MaxConnections is now '1'.
23370
23380
23390
         sudo targetcli /iscsi create ign. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002
23400
         Created target ign. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0002.
23410
         Created TPG 1.
23420
23430
        sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0002/tpg1 set attribute default_cmdsn_depth = 128
23440
         Parameter default cmdsn depth is now '128'.
23450
        sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1 set parameter MaxConnections = 1
23460
23470
         Parameter MaxConnections is now '1'.
23480
        sudo targetcli /iscsi create iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003
23490
         Created target iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003.
23500
23510
         Created TPG 1.
23520
         sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1 set attribute default_cmdsn_depth = 128
23530
         Parameter default cmdsn depth is now '128'.
23540
23550
         sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1 set parameter MaxConnections = 1
23560
23570
         Parameter MaxConnections is now '1'.
23580
23590
         sudo targetcli ls /
         o- / ..... [...]
23600
          23610
23620
            23630
            o- fileio ...... [Storage Objects: 0]
            23640
            o- ramdisk ...... [Storage Objects: 0]
23650
          23660
            23670
```

```
23680
23690
    23700
    23710
   o- ign. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001 ..... [TPGs: 1]
23720
   o-tpg1 ..... [no-gen-acls, no-auth]
23730
23740
    23750
23760
    23770
   23780
23790
    23800
23810
    o- iqn. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0003 ...... [TPGs: 1]
23820
   o-tpg1 ..... [no-gen-acls, no-auth]
23830
23840
    o- luns ...... [LUNs: 0]
23850
23860
    23870
23880
```

- 23890 Active 機で、ACL(アクセス許可リスト)にイニシエータ名を登録します。必要に応じて CHAP 認証情報も紐付けします。
- 23910 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator01
  23920 Created Node ACL for iqn. 2016-09. com. example:initiator01
  - a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator01 set auth userid=iscsiuser01 Parameter userid is now 'iscsiuser01'.
- sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator01 set auth password-user01'
  Parameter password is now 'password-user01'.
  - a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator01 Created Node ACL for iqn. 2016-09. com. example:initiator01
- 24030 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator01 set auth userid=iscsiuser01 24040 Parameter userid is now 'iscsiuser01'.
- 24060 a sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator01 set auth password='password-user01' 24070 Parameter password is now 'password-user01'.

sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator01 24090 Created Node ACL for iqn. 2016-09. com. example:initiator01 24100 24110 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator01 set auth userid=iscsiuser01 24120 24130 Parameter userid is now 'iscsiuser01'. 24140 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator01 set auth password-'password-user01' 24150 24160 Parameter password is now 'password-user01'. 24170 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator01 24180 24190 Created Node ACL for iqn. 2016-09. com. example:initiator01 24200 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator01 set auth userid=iscsiuser01 24210 24220 Parameter userid is now 'iscsiuser01'. 24230 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator01 set auth password-'password-user01' 24240 24250 Parameter password is now 'password-user01'. 24260 24270 24280 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator02 24290 Created Node ACL for ign. 2016-09. com. example:initiator02 24300 24310 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator02 set auth userid=iscsiuser02 Parameter userid is now 'iscsiuser02'. 24320 24330 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator02 set auth password-user02' 24340 Parameter password is now 'password-user02'. 24350 24360 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator02 24370 24380 Created Node ACL for ign. 2016-09. com. example:initiator02 24390 24400 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator02 set auth userid=iscsiuser02 Parameter userid is now 'iscsiuser02'. 24410 24420 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator02 set auth password-user02' 24430 Parameter password is now 'password-user02'. 24440 24450 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator02 24460 24470 Created Node ACL for ign. 2016-09. com. example:initiator02 24480

sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator02 set auth userid=iscsiuser02

24490

```
24500
             Parameter userid is now 'iscsiuser02'.
24510
               sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator02 set auth password-'password-user02'
24520
24530
             Parameter password is now 'password-user02'.
24540
24550
             sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator02
             Created Node ACL for ign. 2016-09. com. example:initiator02
24560
24570
               sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator02 set auth userid=iscsiuser02
24580
24590
             Parameter userid is now 'iscsiuser02'.
24600
               sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator02 set auth password-user02'
24610
24620
             Parameter password is now 'password-user02'.
24630
24640
             sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator03
24650
24660
             Created Node ACL for ign. 2016-09. com. example:initiator03
24670
24680
               sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator03 set auth userid=iscsiuser03
24690
             Parameter userid is now 'iscsiuser03'.
24700
               sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator03 set auth password-'password-user03'
24710
24720
             Parameter password is now 'password-user03'.
24730
24740
             sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator03
24750
             Created Node ACL for ign. 2016-09. com. example: initiator 03
24760
24770
               sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator03 set auth userid=iscsiuser03
24780
             Parameter userid is now 'iscsiuser03'.
24790
               sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator03 set auth password-'password-user03'
24800
24810
             Parameter password is now 'password-user03'.
24820
             sudo targetcli /iscsi/ign, 2016-09, com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls create ign, 2016-09, com, example:initiator03
24830
24840
             Created Node ACL for ign. 2016-09. com. example: initiator 03
24850
24860
               sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator03 set auth userid=iscsiuser03
             Parameter userid is now 'iscsiuser03'.
24870
24880
               sudo targetcli /iscsi/ign, 2016-09. com, example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls/ign, 2016-09. com, example:initiator03 set auth password-'password-user03'
24890
             Parameter password is now 'password-user03'.
24900
```

24910 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator03 24920 24930 Created Node ACL for ign. 2016-09. com. example:initiator03 24940 24950 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator03 set auth userid=iscsiuser03 Parameter userid is now 'iscsiuser03'. 24960 24970 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator03 set auth password-'password-user03' 24980 24990 Parameter password is now 'password-user03'. 25000 25010 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator04 25020 25030 Created Node ACL for ign. 2016-09. com. example:initiator04 25040 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator04 set auth userid=iscsiuser04 25050 Parameter userid is now 'iscsiuser04'. 25060 25070 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator04 set auth password-'password-user04' 25080 25090 Parameter password is now 'password-user04'. 25100 25110 sudo targetcli /iscsi/ign, 2016-09, com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls create ign, 2016-09, com, example:initiator04 25120 Created Node ACL for ign. 2016-09. com. example:initiator04 25130 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator04 set auth userid=iscsiuser04 25140 Parameter userid is now 'iscsiuser04'. 25150 25160 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator04 set auth password-'password-user04' 25170 25180 Parameter password is now 'password-user04'. 25190 25200 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator04 25210 Created Node ACL for ign. 2016-09. com. example: initiator 04 25220 25230 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator04 set auth userid=iscsiuser04 Parameter userid is now 'iscsiuser04'. 25240 25250 sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator04 set auth password-'password-user04' 25260 25270 Parameter password is now 'password-user04'. 25280

sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls create iqn. 2016-09. com. example:initiator04

Created Node ACL for ign. 2016-09. com. example:initiator04

25290

25300

25310

Copyright © 2016 PC Office Co., Ltd. All Rights Reserved.

```
sudo targetcli /iscsi/ign, 2016-09, com, example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls/ign, 2016-09, com, example:initiator04 set auth userid=iscsiuser04
25320
      Parameter userid is now 'iscsiuser04'.
25330
25340
      sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/acls/iqn. 2016-09. com. example:initiator04 set auth password-'password-user04'
25350
25360
      Parameter password is now 'password-user04'.
25370
25380
      sudo targetcli ls /
      o- / ..... [...]
25390
25400
       25410
25420
        25430
        o- ramdisk ...... [Storage Objects: 0]
25440
25450
       25460
        o-tpg1 ..... [no-gen-acls, no-auth]
25470
          25480
           o- ign. 2016-09. com. example: initiator01 ..... [Mapped LUNs: 0]
25490
25500
           o- ign. 2016-09. com. example: initiator 02 ............... [Mapped LUNs: 0]
           o- ign. 2016-09. com, example: initiator 03 ...... [Mapped LUNs: 0]
25510
           o- ign. 2016-09. com. example: initiator 04 ............... [Mapped LUNs: 0]
25520
          25530
25540
          25550
         25560
25570
          o- ign, 2016-09, com, example:initiator01 ..... [Mapped LUNs: 0]
25580
           o- iqn. 2016-09. com. example: initiator 02 ...... [Mapped LUNs: 0]
25590
25600
           o- ign. 2016-09. com. example: initiator 03 ................. [Mapped LUNs: 0]
           o- ian. 2016-09. com. example:initiator04 ...... [Mapped LUNs: 0]
25610
          25620
25630
          25640
         25650
          25660
25670
           o- ign. 2016-09. com. example: initiator 01 ..... [Mapped LUNs: 0]
25680
           o- iqn. 2016-09. com. example: initiator 02 ...... [Mapped LUNs: 0]
25690
           o- iqn. 2016-09. com. example:initiator03 ...... [Mapped LUNs: 0]
           o- ign. 2016-09. com. example:initiator04 ..... [Mapped LUNs: 0]
25700
          25710
          25720
```

```
25730
             o- ign. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003 ..... [TPGs: 1]
               25740
25750
                 o- ign. 2016-09. com, example: initiator01 ...... [Mapped LUNs: 0]
25760
25770
                  o- iqn. 2016-09. com. example: initiator 02 .............. [Mapped LUNs: 0]
                  o- iqn. 2016-09. com. example: initiator 03 ...... [Mapped LUNs: 0]
25780
                  o- ian. 2016-09. com. example:initiator04 ..... [Mapped LUNs: 0]
25790
25800
                 25810
                 o- portals . . . . . [Portals: 0]
25820
           25830
          Active 機で、バックエンド・デバイスを指定し、IQN に紐付けます。
25840
25850
25860
          sudo targetcli /backstores/block create name=lun0000 dev=/dev/vg1/lv-lun0000
25870
          Created block storage object lun0000 using /dev/vg1/lv-lun0000.
25880
25890
          sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0000/tpg1/luns create /backstores/block/lun0000
25900
          Created LUN 0.
25910
          Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator04
25920
          Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator03
25930
          Created LUN 0->0 mapping in node ACL ign. 2016-09. com. example:initiator02
25940
          Created LUN 0->0 mapping in node ACL ign. 2016-09. com, example: initiator 01
25950
25960
25970
          sudo targetcli /backstores/block create name=lun0001 dev=/dev/vg1/lv-lun0001
25980
          Created block storage object lun0001 using /dev/vg1/lv-lun0001.
25990
          sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0001/tpg1/luns create /backstores/block/lun0001
26000
26010
          Created LUN 0.
26020
          Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator04
26030
          Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator03
26040
          Created LUN 0->0 mapping in node ACL ign. 2016-09. com. example:initiator02
26050
          Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator01
26060
26070
26080
          sudo targetcli /backstores/block create name=lun0002 dev=/dev/vg1/lv-lun0002
26090
          Created block storage object lun0002 using /dev/vg1/lv-lun0002.
26100
26110
          sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0002/tpg1/luns create /backstores/block/lun0002
26120
          Created LUN 0.
          Created LUN 0->0 mapping in node ACL ign. 2016-09. com. example:initiator04
26130
```

```
26140
        Created LUN 0->0 mapping in node ACL ign. 2016-09. com. example: initiator03
       Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator02
26150
26160
        Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator01
26170
26180
       sudo targetcli /backstores/block create name=lun0003 dev=/dev/vg1/lv-lun0003
26190
       Created block storage object lun0003 using /dev/vgl/lv-lun0003.
26200
26210
26220
       sudo targetcli /iscsi/ign. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0003/tpg1/luns create /backstores/block/lun0003
26230
        Created LUN 0.
26240
        Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator04
26250
        Created LUN 0->0 mapping in node ACL iqn. 2016-09. com. example:initiator03
26260
        Created LUN 0->0 mapping in node ACL ign. 2016-09. com. example: initiator02
26270
        Created LUN 0->0 mapping in node ACL ign. 2016-09. com. example: initiator01
26280
26290
       sudo targetcli ls /
       26300
26310
         26320
          o- block ...... [Storage Objects: 4]
            o- lun0000 ...... [/dev/vg1/lv-lun0000 (324.0GiB) write-thru activated]
26330
            o- lun0001 ...... [/dev/vg1/lv-lun0001 (7.2GiB) write-thru activated]
26340
            o- lun0002 ...... [/dev/vg1/lv-lun0002 (7.2GiB) write-thru activated]
26350
26360
           o- lun0003 ..... [/dev/vg1/lv-lun0003 (7.2GiB) write-thru activated]
          26370
          26380
26390
          o- ramdisk ...... [Storage Objects: 0]
26400
         26410
            o- tpg1 ..... [no-gen-acls, no-auth]
26420
26430
             o- ign. 2016-09. com. example:initiator01 ...... [Mapped LUNs: 1]
26440
26450
              o-mapped_lun0 ...... [lun0 block/lun0000 (rw)]
              o- iqn. 2016-09. com. example:initiator02 ..... [Mapped LUNs: 1]
26460
               26470
              o- ign. 2016-09. com. example:initiator03 ..... [Mapped LUNs: 1]
26480
               26490
26500
              o- ign. 2016-09. com. example: initiator 04 ..... [Mapped LUNs: 1]
                o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0000 (rw)]
26510
26520
             o- luns ...... [LUNs: 4]
              o- lun0 ...... [block/lun0000 (/dev/vg1/lv-lun0000)]
26530
26540
          o- ign, 2016-09, com, example:iscsitgt01-0001 ...... [TPGs: 1]
```

```
26550
         26560
          o-ign. 2016-09.com.example:initiator01.............[Mapped LUNs: 1]
26570
            o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0001 (rw)]
26580
26590
           o- ign. 2016-09. com. example:initiator02 ..... [Mapped LUNs: 1]
            o-mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0001 (rw)]
26600
           o- ign. 2016-09. com. example:initiator03 ..... [Mapped LUNs: 1]
26610
26620
            o-mapped lun0 ...... [lun0 block/lun0001 (rw)]
           o- iqn. 2016-09. com. example:initiator04 ..... [Mapped LUNs: 1]
26630
            26640
26650
          o- luns ...... [LUNs: 1]
           o- lun0 ...... [block/lun0001 (/dev/vg1/lv-lun0001)]
26660
        26670
26680
         o- tpg1 ..... [no-gen-acls, no-auth]
26690
          o- ign. 2016-09. com, example: initiator01 ...... [Mapped LUNs: 1]
26700
            o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0002 (rw)]
26710
           o- iqn. 2016-09. com. example:initiator02 ..... [Mapped LUNs: 1]
26720
26730
            o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0002 (rw)]
           o- iqn. 2016-09. com. example:initiator03 ..... [Mapped LUNs: 1]
26740
            26750
           o- iqn. 2016-09. com. example:initiator04 ..... [Mapped LUNs: 1]
26760
26770
            26780
          o- luns ...... [LUNs: 1]
           o- lun0 ..... [block/lun0002 (/dev/vg1/lv-lun0002)]
26790
        26800
26810
         o- tpg1 ...... [no-gen-acls, no-auth]
          26820
           o- ign. 2016-09. com. example:initiator01 ..... [Mapped LUNs: 1]
26830
            o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0003 (rw)]
26840
           o- ign. 2016-09. com. example:initiator02 ...... [Mapped LUNs: 1]
26850
26860
            o-mapped_lun0 ...... [lun0 block/lun0003 (rw)]
26870
           o- iqn. 2016-09. com. example:initiator03 ..... [Mapped LUNs: 1]
            26880
           o- ign. 2016-09. com. example:initiator04 ..... [Mapped LUNs: 1]
26890
26900
            26910
          o- luns ...... [LUNs: 1]
           o- lun0 ..... [block/lun0003 (/dev/vg1/lv-lun0003)]
26920
          26930
       26940
26950
```

```
Active 機で、IQN に portal を作成します。
26960
26970
        sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0000/tpg1/portals create 10.110.88.59 3260
26980
26990
        Using default IP port 3260
27000
        Created network portal 10.110.88.59:3260.
27010
        sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0001/tpg1/portals create 10.110.88.59 3260
27020
27030
        Using default IP port 3260
27040
        Created network portal 10.110.88.59:3260.
27050
        sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0002/tpg1/portals create 10.110.88.59 3260
27060
27070
        Using default IP port 3260
27080
        Created network portal 10.110.88.59:3260.
27090
        sudo targetcli /iscsi/iqn. 2016-09. com. example:iscsitgt01-0003/tpg1/portals create 10.110.88.59 3260
27100
27110
        Using default IP port 3260
27120
        Created network portal 10.110.88.59:3260.
27130
27140
        sudo targetcli ls /
        o- / ..... [...]
27150
27160
         27170
            o- lun0000 ...... [/dev/vg1/lv-lun0000 (324.0GiB) write-thru activated]
27180
            o- lun0001 ..... [/dev/vg1/lv-lun0001 (7.2GiB) write-thru activated]
27190
            o- lun0002 ...... [/dev/vg1/lv-lun0002 (7.2GiB) write-thru activated]
27200
            o-lun0003 ..... [/dev/vg1/lv-lun0003 (7.2GiB) write-thru activated]
27210
          o- fileio ...... [Storage Objects: 0]
27220
27230
           o- ramdisk ...... [Storage Objects: 0]
27240
27250
         27260
          o- tpg1 ...... [no-gen-acls, no-auth]
27270
27280
             o- acls ...... [ACLs: 4]
              o- ign, 2016-09, com, example:initiator01 ..... [Mapped LUNs: 4]
27290
                27300
              o- ign. 2016-09. com. example: initiator 02 ...... [Mapped LUNs: 1]
27310
27320
               o- ign. 2016-09. com. example:initiator03 ..... [Mapped LUNs: 1]
27330
27340
               o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0000 (rw)]
27350
              o- ign. 2016-09. com. example:initiator04 ..... [Mapped LUNs: 1]
27360
                o- mapped lun0 ...... [lun0 block/lun0000 (rw)]
```

```
27370
          o- luns ...... [LUNs: 1]
          o-lun0 ...... [block/lun0000 (/dev/vg1/lv-lun0000)]
27380
          27390
27400
           27410
        o- tpg1 ..... [no-gen-acls, no-auth]
27420
27430
          o- ign. 2016-09. com. example:initiator01 ..... [Mapped LUNs: 1]
27440
27450
           o- mapped lun0 ...... [lun0 block/lun0001 (rw)]
           o- ign. 2016-09. com. example:initiator02 ..... [Mapped LUNs: 1]
27460
           o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0001 (rw)]
27470
           o- ign. 2016-09. com. example: initiator 03 ...... [Mapped LUNs: 1]
27480
27490
            o- mapped lun0 ...... [lun0 block/lun0001 (rw)]
27500
           o- ign. 2016-09. com. example: initiator 04 ................ Mapped LUNs: 1
            o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0001 (rw)]
27510
27520
          o- lun0 ...... [block/lun0001 (/dev/vg1/lv-lun0001)]
27530
27540
          27550
           27560
         27570
27580
          27590
           o- ign. 2016-09. com. example: initiator 01 ...... [Mapped LUNs: 1]
            o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0002 (rw)]
27600
           o- ign. 2016-09. com. example:initiator02 ..... [Mapped LUNs: 1]
27610
            o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0002 (rw)]
27620
           o- ign, 2016-09. com, example: initiator 03 ...... [Mapped LUNs: 1]
27630
            o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0002 (rw)]
27640
           o- ign. 2016-09. com, example: initiator 04 ................ [Mapped LUNs: 1]
27650
            o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0002 (rw)]
27660
27670
          o- lun0 ...... [block/lun0002 (/dev/vg1/lv-lun0002)]
27680
          27690
27700
           27710
         27720
          27730
           o- ign. 2016-09. com. example:initiator01 ..... [Mapped LUNs: 1]
27740
27750
           o-mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0003 (rw)]
           o- ign, 2016-09, com, example:initiator02 ..... [Mapped LUNs: 1]
27760
27770
            o- mapped lun0 ...... [lun0 block/lun0003 (rw)]
```

```
o- ign. 2016-09. com. example:initiator03 ...... [Mapped LUNs: 1]
27780
                 o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0003 (rw)]
27790
                 o- ign. 2016-09.com.example:initiator04 ..... [Mapped LUNs: 1]
27800
                   o- mapped_lun0 ..... [lun0 block/lun0003 (rw)]
27810
27820
                o- lun0 ...... [block/lun0003 (/dev/vg1/lv-lun0003)]
27830
                o- portals . . . . . [Portals: 1]
27840
                 27850
           o- loopback ...... [Targets: 0]
27860
27870
                 grep LISTEN. ¥*3260
27880
         ss -ant |
27890
         LISTEN
                  0
                        256
                              10.110.88.59:3260
                                                             *:*
27900
27910
         Active 機で、設定ファイルに設定を保存し、Stand-by 機にコピーします。
27920
27930
         sudo targetcli saveconfig
27940
         Last 10 configs saved in /etc/target/backup.
27950
         Configuration saved to /etc/target/saveconfig.json
27960
27970
         sudo scp -p /etc/target/saveconfig.json iscsitgt01s:/etc/target/saveconfig.json
27980
         saveconfig. json
                                               100%
                                                    11KB 11.0KB/s
27990
         Active 機で、設定ファイルを確認します。
28000
28010
         sudo cat /etc/target/saveconfig.json
28020
28030
           "fabric modules": [].
28040
           "storage objects": [
28050
28060
              "attributes": {
28070
28080
                "block size": 512,
                "emulate 3pc": 1,
28090
                "emulate caw": 1.
28100
                "emulate dpo": 0,
28110
                "emulate fua read": 0,
28120
                "emulate fua write": 1,
28130
                "emulate model alias": 1,
28140
                "emulate rest reord": 0,
28150
                "emulate_tas": 1,
28160
                "emulate tpu": 0.
28170
                "emulate tpws": 0.
28180
```

```
"emulate ua intlck ctrl": 0,
28190
                     "emulate write cache": 0,
28200
                     "enforce pr isids": 1.
28210
                     "force_pr_aptp1": 0,
28220
                     "is nonrot": 0,
28230
                     "max_unmap_block_desc_count": 1,
28240
                     "max unmap 1ba count": 8192,
28250
                     "max write same len": 65535,
28260
                     "optimal sectors": 2048,
28270
                     "pi prot format": 0,
28280
                     "pi_prot_type": 0,
28290
                     queue_depth": 128,
28300
                     "unmap granularity": 2048,
28310
                     "unmap granularity_alignment": 0
28320
28330
                   "dev": "/dev/vg1/1v-lun0003",
28340
28350
                   "name": "lun0003",
                   "plugin": "block",
28360
28370
                   "readonly": false,
28380
                   "write back": false,
28390
                  "wwn": "03880f22-4ca1-48e8-b6e5-cf303af79ade"
28400
28410
                  "attributes": {
28420
                     "block_size": 512,
28430
                     "emulate_3pc": 1,
28440
                     "emulate caw": 1.
28450
                     "emulate dpo": 0,
28460
                     "emulate fua read": 0,
28470
                     "emulate fua write": 1,
28480
                     "emulate model alias": 1,
28490
                     "emulate rest reord": 0,
28500
28510
                     "emulate tas": 1,
                     "emulate_tpu": 0,
28520
                     "emulate tpws": 0,
28530
                     "emulate ua intlck ctrl": 0,
28540
                     "emulate write cache": 0,
28550
                     "enforce_pr_isids": 1,
28560
                    "force_pr_aptp1": 0,
28570
                    "is nonrot": 0.
28580
                     "max unmap block desc count": 1,
28590
```

```
"max unmap 1ba count": 8192,
28600
                     "max write_same_len": 65535,
28610
                     "optimal_sectors": 2048,
28620
                     "pi prot format": 0,
28630
                     "pi_prot_type": 0,
28640
                     "queue_depth": 128,
28650
                     "unmap granularity": 2048,
28660
                     "unmap granularity alignment": 0
28670
28680
28690
                   "dev": "/dev/vg1/1v-1un0002",
                   "name": "lun0002",
28700
                   "plugin": "block",
28710
                   "readonly": false,
28720
                   "write back": false,
28730
                   "wwn": "9c5e3ced-aea8-46d5-89a8-c5944a1d4cd3"
28740
28750
28760
                   "attributes":
28770
28780
                     "block size": 512,
                     "emulate_3pc": 1,
28790
28800
                     "emulate caw": 1,
                     "emulate dpo": 0,
28810
                     "emulate fua read": 0,
28820
                     "emulate fua write": 1.
28830
                     "emulate_model_alias": 1,
28840
                     "emulate rest reord": 0,
28850
                     "emulate tas": 1,
28860
                     "emulate tpu": 0,
28870
                     "emulate tpws": 0,
28880
                     "emulate ua intlck ctrl": 0,
28890
                     "emulate write cache": 0,
28900
                     "enforce pr isids": 1,
28910
28920
                     "force pr aptpl": 0,
                     "is nonrot": 0,
28930
                     "max unmap block desc count": 1,
28940
                     "max unmap_lba_count": 8192,
28950
                     "max_write_same_len": 65535,
28960
                     "optimal_sectors": 2048,
28970
                     "pi_prot_format": 0,
28980
                     "pi prot type": 0,
28990
                     "queue depth": 128.
29000
```

```
"unmap granularity": 2048,
29010
                     "unmap granularity alignment": 0
29020
29030
                   "dev": "/dev/vg1/1v-1un0001",
29040
29050
                   "name": "lun0001",
                  "plugin": "block",
29060
                   "readonly": false,
29070
29080
                  "write back": false,
                  "wwn": "5a7d4ce5-206e-40f2-a22f-b143637136ab"
29090
29100
29110
                  "attributes": {
29120
                    "block_size": 512,
29130
                     "emulate_3pc": 1,
29140
                    "emulate_caw": 1,
29150
                    "emulate_dpo": 0,
29160
                    "emulate_fua_read": 0,
29170
                     "emulate fua write": 1,
29180
29190
                     "emulate model alias": 1,
29200
                     "emulate_rest_reord": 0,
29210
                     "emulate tas": 1,
                     "emulate tpu": 0,
29220
                     "emulate tpws": 0,
29230
                     "emulate ua intlck ctrl": 0,
29240
                     "emulate_write_cache": 0,
29250
                     "enforce pr isids": 1.
29260
                     "force pr aptpl": 0,
29270
                     "is nonrot": 0,
29280
                     "max unmap block desc count": 1,
29290
                     "max_unmap_lba_count": 8192,
29300
                     "max write same len": 65535,
29310
                     "optimal sectors": 2048,
29320
29330
                     "pi_prot_format": 0,
                     "pi_prot_type": 0,
29340
                     queue_depth": 128,
29350
                     "unmap_granularity": 2048,
29360
                    "unmap_granularity_alignment": 0
29370
29380
                  "dev": "/dev/vg1/1v-lun0000",
29390
                  "name": "lun0000",
29400
                  "plugin": "block",
29410
```

```
"readonly": false,
29420
                   "write back": false,
29430
                   "wwn": "117473ae-68c7-44cd-b665-f7ad42bf1bd0"
29440
29450
             ],
"targets": [
29460
29470
29480
                   "fabric": "iscsi",
29490
                   "tpgs": [
29500
29510
                       "attributes": {
29520
                          "authentication": 0,
29530
                         "cache_dynamic_acls": 0,
29540
                         "default_cmdsn_depth": 128,
29550
                         "default_erl": 0,
29560
                         "demo_mode_discovery": 1,
29570
                         "demo mode write protect": 1,
29580
                         "fabric_prot_type": 0,
29590
                         "generate_node_acls": 0,
29600
                         "login_timeout": 15,
29610
29620
                         "netif timeout": 2,
29630
                         "prod mode write protect": 0,
                         "t10_pi": 0
29640
29650
                       "enable": true,
29660
                       "luns": [
29670
29680
                           "index": 0,
29690
                           "storage_object": "/backstores/block/lun0003"
29700
29710
29720
                       ],
"node_acls": [
29730
29740
                           "attributes": {
29750
                              "dataout timeout": 3,
29760
                             "dataout_timeout_retries": 5,
29770
                             "default erl": 0,
29780
                             "nopin_response_timeout": 30,
29790
                             "nopin_timeout": 15,
29800
                             "random datain pdu offsets": 0,
29810
                              "random datain seg offsets": 0,
29820
```

```
"random_r2t_offsets": 0
29830
29840
                            "chap_password": "password-user04",
29850
                           "chap userid": "iscsiuser04".
29860
                           "mapped luns": [
29870
29880
                                "index": 0,
29890
                                "tpg_lun": 0.
29900
                                "write protect": false
29910
29920
                           ], "node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator04"
29930
29940
29950
29960
                           "attributes": {
29970
                             "dataout_timeout": 3,
29980
                             "dataout_timeout_retries": 5,
29990
                             "default erl": 0,
30000
30010
                              "nopin_response_timeout": 30,
30020
                              "nopin_timeout": 15,
30030
                              "random datain pdu offsets": 0,
                              "random datain seq offsets": 0,
30040
                              "random r2t offsets": 0
30050
30060
                            "chap_password": "password-user03",
30070
                           "chap userid": "iscsiuser03".
30080
                           "mapped luns": [
30090
30100
                                "index": 0,
30110
                                "tpg_lun": 0,
30120
                                "write protect": false
30130
30140
30150
                           "node wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator03"
30160
30170
30180
30190
                            "attributes": {
                             "dataout_timeout": 3,
30200
                             "dataout_timeout_retries": 5,
30210
30220
                             "default erl": 0,
                              "nopin response timeout": 30,
30230
```

```
"nopin_timeout": 15,
30240
                              "random_datain_pdu_offsets": 0,
30250
                              "random_datain_seq_offsets": 0,
30260
                             "random r2t offsets": 0
30270
30280
30290
                            "chap_password": "password-user02",
                           "chap userid": "iscsiuser02",
30300
30310
                           "mapped luns": [
30320
                                "index": 0,
30330
                                "tpg_lun": 0,
30340
                                "write_protect": false
30350
30360
30370
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator02"
30380
30390
30400
                           "attributes": {
30410
30420
                             "dataout timeout": 3,
30430
                             "dataout_timeout_retries": 5,
30440
                             "default erl": 0,
30450
                              "nopin_response_timeout": 30,
                              "nopin_timeout": 15,
30460
                              "random_datain_pdu_offsets": 0,
30470
                              "random_datain_seq_offsets": 0,
30480
                              "random_r2t_offsets": 0
30490
30500
                            "chap_password": "password-user01",
30510
                           "chap userid": "iscsiuser01",
30520
                           "mapped_luns": [
30530
30540
                                "index": 0,
30550
30560
                                "tpg lun": 0,
                                "write_protect": false
30570
30580
30590
                            "node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example: initiator 01"
30600
30610
30620
30630
                        parameters":
                         "AuthMethod": "CHAP, None",
30640
```

```
"DataDigest": "CRC32C, None",
30650
                         "DataPDUInOrder": "Yes",
30660
                         "DataSequenceInOrder": "Yes",
30670
                         "DefaultTime2Retain": "20",
30680
                         "DefaultTime2Wait": "2",
30690
                         "ErrorRecoveryLevel": "0",
30700
                         "FirstBurstLength": "65536",
30710
                         "HeaderDigest": "CRC32C, None",
30720
                         "IFMarkInt": "2048~65535",
30730
                         "IFMarker": "No",
30740
                         "ImmediateData": "Yes",
30750
                         "InitialR2T": "Yes",
30760
                         "MaxBurstLength": "262144",
30770
                         "MaxConnections": "1",
30780
                         "MaxOutstandingR2T": "1"
30790
                         "MaxRecvDataSegmentLength": "8192",
30800
                         "MaxXmitDataSegmentLength": "262144",
30810
                         "0FMarkInt": "2048~65535",
30820
30830
                         "OFMarker": "No",
30840
                         "TargetAlias": "LIO Target"
30850
                       },
"portals": [
30860
30870
                           "ip_address": "10.110.88.59",
30880
                           "iser": false,
30890
                           "port": 3260
30900
30910
                     ],
"tag": 1
30920
30930
30940
30950
                    wwn": "ign. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0003"
30960
30970
30980
                   "fabric": "iscsi",
30990
                   "tpgs": [
31000
31010
                       "attributes": {
31020
                         "authentication": 0,
31030
                         "cache dynamic acls": 0,
31040
                         "default cmdsn depth": 128.
31050
```

```
"default erl": 0,
31060
                         "demo_mode_discovery": 1,
31070
                         "demo_mode_write_protect": 1,
31080
                         "fabric_prot_type": 0,
31090
                         "generate_node_acls": 0,
31100
                         "login timeout": 15,
31110
                         "netif timeout": 2,
31120
                         "prod mode write protect": 0,
31130
                         "t10 pi": 0
31140
31150
                        "enable": true,
31160
                       "luns": [
31170
31180
                           "index": 0,
31190
                           "storage_object": "/backstores/block/lun0002"
31200
31210
                      ],
"node_acls": [
31220
31230
31240
                           "attributes": {
31250
31260
                             "dataout timeout": 3,
                             "dataout timeout retries": 5,
31270
                             "default erl": 0,
31280
                             "nopin_response_timeout": 30,
31290
                             "nopin_timeout": 15,
31300
                             "random datain pdu offsets": 0,
31310
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
31320
                             "random r2t offsets": 0
31330
31340
                           "chap password": "password-user04",
31350
                           "chap userid": "iscsiuser04",
31360
                           "mapped luns": [
31370
31380
                               "index": 0,
31390
                               "tpg lun": 0,
31400
                               "write protect": false
31410
31420
31430
                           "node wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator04"
31440
31450
31460
```

```
31470
                           "attributes": {
                             "dataout_timeout": 3,
31480
                             "dataout_timeout_retries": 5,
31490
                             "default erl": 0,
31500
31510
                             "nopin_response_timeout": 30,
31520
                             "nopin timeout": 15,
31530
                             "random datain pdu offsets": 0,
                             "random datain seq offsets": 0,
31540
                             "random r2t offsets": 0
31550
31560
                            chap_password": "password-user03",
31570
                           "chap_userid": "iscsiuser03",
31580
                           "mapped luns": [
31590
31600
                               "index": 0,
31610
                               "tpg_lun": 0,
31620
31630
                               "write protect": false
31640
31650
                           "node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator03"
31660
31670
31680
31690
                           "attributes": {
                             "dataout_timeout": 3,
31700
                             "dataout_timeout_retries": 5,
31710
                             "default erl": 0,
31720
                             "nopin response timeout": 30,
31730
                             "nopin timeout": 15,
31740
                             "random datain pdu offsets": 0,
31750
                             "random datain seg offsets": 0,
31760
                             "random r2t offsets": 0
31770
31780
31790
                            "chap_password": "password-user02",
                           "chap userid": "iscsiuser02",
31800
                           "mapped_luns": [
31810
31820
31830
                                "index": 0,
                               "tpg_lun": 0,
31840
                               "write protect": false
31850
31860
                           ],
31870
```

```
"node wwn": "ign. 2016-09. com. example: initiator 02"
31880
31890
31900
                           "attributes": {
31910
31920
                             "dataout timeout": 3,
                             "dataout timeout retries": 5,
31930
                             "default erl": 0,
31940
31950
                             "nopin response timeout": 30,
                             "nopin timeout": 15,
31960
31970
                             "random datain pdu offsets": 0,
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
31980
                             "random r2t offsets": 0
31990
32000
                            chap_password": "password-user01",
32010
                           "chap_userid": "iscsiuser01",
32020
                           "mapped luns": [
32030
32040
                                "index": 0,
32050
32060
                                "tpg lun": 0,
32070
                               "write protect": false
32080
32090
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator01"
32100
32110
32120
                        "parameters": {
32130
                         "AuthMethod": "CHAP, None",
32140
32150
                         "DataDigest": "CRC32C, None",
                         "DataPDUInOrder": "Yes",
32160
                         "DataSequenceInOrder": "Yes",
32170
32180
                         "DefaultTime2Retain": "20",
                         "DefaultTime2Wait": "2",
32190
32200
                         "ErrorRecoveryLevel": "0",
                         "FirstBurstLength": "65536",
32210
                         "HeaderDigest": "CRC32C, None",
32220
                         "IFMarkInt": "2048~65535",
32230
                         "IFMarker": "No",
32240
                         "ImmediateData": "Yes",
32250
                         "InitialR2T": "Yes",
32260
32270
                         "MaxBurstLength": "262144",
                         "MaxConnections": "1".
32280
```

```
"MaxOutstandingR2T": "1",
32290
                         "MaxRecvDataSegmentLength": "8192",
32300
                         "MaxXmitDataSegmentLength": "262144",
32310
                         "0FMarkInt": "2048~65535",
32320
                         "OFMarker": "No",
32330
32340
                         "TargetAlias": "LIO Target"
32350
                       },
"portals": [
32360
32370
                            "ip_address": "10.110.88.59",
32380
                           "iser": false,
32390
                           "port": 3260
32400
32410
32420
                      ],
"tag": 1
32430
32440
32450
                   "wwn": "ign, 2016-09, com, example: iscsitgt01-0002"
32460
32470
32480
32490
                   "fabric": "iscsi",
                   "tpgs": [
32500
32510
                       "attributes": {
32520
                         "authentication": 0,
32530
                         "cache dynamic acls": 0,
32540
                         "default cmdsn depth": 128,
32550
                         "default erl": 0,
32560
32570
                         "demo mode discovery": 1,
                         "demo mode write protect": 1,
32580
                         "fabric prot type": 0,
32590
                         "generate_node_acls": 0,
32600
                         "login_timeout": 15,
32610
                         "netif timeout": 2,
32620
                         "prod mode write protect": 0,
32630
                         "t10 pi": 0
32640
32650
                       "enable": true,
32660
                       "luns": [
32670
32680
                           "index": 0,
32690
```

```
"storage_object": "/backstores/block/lun0001"
32700
32710
                      ],
"node_acls": [
32720
32730
32740
32750
                           "attributes": {
                             "dataout timeout": 3,
32760
32770
                             "dataout timeout retries": 5,
                             "default erl": 0,
32780
32790
                             "nopin response timeout": 30,
                             "nopin_timeout": 15,
32800
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
32810
                             "random datain seg offsets": 0,
32820
                             "random_r2t offsets": 0
32830
32840
                            chap_password": "password-user04",
32850
32860
                           "chap userid": "iscsiuser04",
                           "mapped_luns": [
32870
32880
32890
                                "index": 0,
32900
                               "tpg lun": 0,
                               "write_protect": false
32910
32920
32930
                           "node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator04"
32940
32950
32960
                           "attributes": {
32970
32980
                             "dataout timeout": 3,
                             "dataout timeout retries": 5,
32990
                             "default erl": 0,
33000
                             "nopin_response_timeout": 30,
33010
33020
                             "nopin timeout": 15,
                             "random datain pdu offsets": 0,
33030
                             "random datain seg offsets": 0,
33040
                             "random r2t offsets": 0
33050
33060
                            "chap_password": "password-user03",
33070
                           "chap_userid": "iscsiuser03",
33080
                           "mapped luns": [
33090
33100
```

```
"index": 0,
33110
                                "tpg_lun": 0,
33120
                               "write_protect": false
33130
33140
33150
33160
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator03"
33170
33180
                           "attributes": {
33190
33200
                             "dataout timeout": 3,
                             "dataout_timeout_retries": 5,
33210
                             "default_erl": 0,
33220
                             "nopin_response_timeout": 30,
33230
                             "nopin timeout": 15,
33240
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
33250
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
33260
                             "random r2t offsets": 0
33270
33280
33290
                            "chap_password": "password-user02",
33300
                           "chap_userid": "iscsiuser02",
33310
                           "mapped luns": [
33320
                                "index": 0,
33330
                                "tpg_lun": 0,
33340
                               "write_protect": false
33350
33360
33370
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator02"
33380
33390
33400
                            "attributes": {
33410
                             "dataout timeout": 3,
33420
33430
                             "dataout_timeout_retries": 5,
                             "default erl": 0,
33440
                             "nopin response timeout": 30,
33450
                             "nopin_timeout": 15,
33460
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
33470
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
33480
                             "random r2t offsets": 0
33490
33500
                            "chap password": "password-user01",
33510
```

```
"chap_userid": "iscsiuser01",
33520
                           "mapped luns": [
33530
33540
                                "index": 0,
33550
33560
                                "tpg lun": 0,
33570
                                "write protect": false
33580
33590
33600
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator01"
33610
33620
                        parameters":
33630
                         "AuthMethod": "CHAP, None",
33640
                         "DataDigest": "CRC32C, None",
33650
                         "DataPDUInOrder": "Yes",
33660
                         "DataSequenceInOrder": "Yes",
33670
                         "DefaultTime2Retain": "20",
33680
                         "DefaultTime2Wait": "2",
33690
33700
                         "ErrorRecoveryLevel": "0"
33710
                         "FirstBurstLength": "65536",
33720
                         "HeaderDigest": "CRC32C, None",
                         "IFMarkInt": "2048~65535",
33730
                         "IFMarker": "No",
33740
                         "ImmediateData": "Yes",
33750
                         "InitialR2T": "Yes",
33760
                         "MaxBurstLength": "262144",
33770
                         "MaxConnections": "1",
33780
                         "MaxOutstandingR2T": "1",
33790
                         "MaxRecvDataSegmentLength": "8192",
33800
                         "MaxXmitDataSegmentLength": "262144",
33810
                         "0FMarkInt": "2048~65535".
33820
                         "OFMarker": "No",
33830
33840
                         "TargetAlias": "LIO Target"
33850
                       },
"portals": [
33860
33870
                            "ip_address": "10.110.88.59",
33880
                           "iser": false,
33890
                           "port": 3260
33900
33910
33920
                       ],
```

```
"tag": 1
33930
33940
33950
                   "wwn": "ign, 2016-09, com, example: iscsitgt01-0001"
33960
33970
33980
33990
                   "fabric": "iscsi",
                   "tpgs": [
34000
34010
                       "attributes":
34020
                         "authentication": 0,
34030
                         "cache_dynamic_acls": 0,
34040
                         "default cmdsn depth": 128,
34050
                         "default erl": 0,
34060
                         "demo_mode_discovery": 1,
34070
                         "demo_mode_write_protect": 1,
34080
                         "fabric prot type": 0,
34090
                         "generate_node_acls": 0,
34100
                         "login timeout": 15,
34110
34120
                         "netif timeout": 2,
34130
                         "prod mode write protect": 0,
                         "t10 pi": 0
34140
                      },
"enable": true,
". 「
34150
34160
                       "luns": [
34170
34180
                           "index": 0,
34190
                           "storage_object": "/backstores/block/lun0000"
34200
34210
34220
                      ],
"node_acls": [
34230
34240
34250
                            "attributes": {
                             "dataout timeout": 3,
34260
                             "dataout_timeout_retries": 5,
34270
                             "default erl": 0,
34280
                             "nopin_response_timeout": 30,
34290
                             "nopin_timeout": 15,
34300
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
34310
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
34320
                              "random r2t offsets": 0
34330
```

```
34340
                            "chap_password": "password-user04",
34350
                           "chap_userid": "iscsiuser04",
34360
                           "mapped luns": [
34370
34380
34390
                               "index": 0,
                               "tpg lun": 0,
34400
                               "write protect": false
34410
34420
34430
                            "node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator04"
34440
34450
34460
34470
                            "attributes": {
                             "dataout_timeout": 3,
34480
                             "dataout_timeout_retries": 5,
34490
                             "default erl": 0,
34500
34510
                             "nopin_response_timeout": 30,
34520
                             "nopin_timeout": 15,
34530
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
34540
                             "random datain seg offsets": 0,
                             "random r2t offsets": 0
34550
34560
                            "chap_password": "password-user03",
34570
                           "chap_userid": "iscsiuser03",
34580
                           "mapped luns": [
34590
34600
34610
                                "index": 0,
                                "tpg lun": 0,
34620
                               "write_protect": false
34630
34640
34650
                           "node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator03"
34660
34670
34680
                           "attributes": {
34690
                             "dataout_timeout": 3,
34700
                             "dataout_timeout_retries": 5,
34710
                             "default_erl": 0,
34720
                             "nopin_response_timeout": 30,
34730
                             "nopin timeout": 15,
34740
```

```
"random_datain_pdu_offsets": 0,
34750
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
34760
                             "random r2t offsets": 0
34770
34780
                            "chap_password": "password-user02",
34790
34800
                           "chap userid": "iscsiuser02",
                           "mapped luns": [
34810
34820
                                "index": 0,
34830
34840
                                "tpg lun": 0,
                                "write_protect": false
34850
34860
34870
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator02"
34880
34890
34900
                           "attributes": {
34910
34920
                             "dataout timeout": 3,
34930
                             "dataout_timeout_retries": 5,
                             "default erl": 0,
34940
34950
                             "nopin response timeout": 30,
                             "nopin timeout": 15,
34960
                             "random datain pdu offsets": 0,
34970
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
34980
                             "random_r2t_offsets": 0
34990
35000
                            "chap_password": "password-user01",
35010
                           "chap_userid": "iscsiuser01",
35020
                           "mapped luns": [
35030
35040
                                "index": 0,
35050
                                "tpg lun": 0,
35060
                               "write_protect": false
35070
35080
35090
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator01"
35100
35110
35120
                        parameters": {
35130
                         "AuthMethod": "CHAP, None",
35140
                         "DataDigest": "CRC32C, None",
35150
```

```
"DataPDUInOrder": "Yes",
35160
                         "DataSequenceInOrder": "Yes",
35170
                         "DefaultTime2Retain": "20",
35180
                         "DefaultTime2Wait": "2",
35190
                         "ErrorRecoveryLevel": "0",
35200
                         "FirstBurstLength": "65536",
35210
                         "HeaderDigest": "CRC32C, None",
35220
                         "IFMarkInt": "2048~65535",
35230
                         "IFMarker": "No",
35240
35250
                         "ImmediateData": "Yes",
                         "InitialR2T": "Yes",
35260
                         "MaxBurstLength": "262144",
35270
                         "MaxConnections": "1",
35280
                         "MaxOutstandingR2T": "1"
35290
                         "MaxRecvDataSegmentLength": "8192",
35300
                         "MaxXmitDataSegmentLength": "262144",
35310
                         "0FMarkInt": "2048~65535",
35320
35330
                         "OFMarker": "No",
35340
                         "TargetAlias": "LIO Target"
35350
                       },
"portals": [
35360
35370
                           "ip_address": "10.110.88.59",
35380
                           "iser": false,
35390
                           "port": 3260
35400
35410
35420
                       "tag": 1
35430
35440
35450
                          "ign. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0000"
35460
35470
35480
35490
35500
              "fabric_modules": [],
35510
              "storage objects":
35520
35530
                   "attributes":
35540
35550
                     "block_size": 512,
                     "emulate 3pc": 1,
35560
```

```
"emulate caw": 1,
35570
                     "emulate dpo": 0,
35580
                     "emulate fua read": 0,
35590
                     "emulate fua write": 1.
35600
                     "emulate model alias": 1.
35610
                     "emulate rest reord": 0,
35620
                     "emulate tas": 1,
35630
                     "emulate tpu": 0,
35640
                     "emulate tpws": 0,
35650
                     "emulate_ua_intlck_ctrl": 0,
35660
                     "emulate_write_cache": 0,
35670
                     "enforce_pr_isids": 1,
35680
                     "force pr aptpl": 0,
35690
                     "is nonrot": 0,
35700
                     "max unmap_block_desc_count": 1,
35710
                     "max_unmap_lba_count": 8192,
35720
35730
                     "max write same len": 65535,
                     "optimal sectors": 2048,
35740
                     "pi_prot_format": 0,
35750
35760
                     "pi_prot_type": 0,
35770
                      'queue depth": 128,
35780
                     "unmap granularity": 2048,
                     "unmap granularity alignment": 0
35790
35800
                   "dev": "/dev/vg1/1v-1un0003",
35810
                   "name": "lun0003",
35820
                   "plugin": "block",
35830
                   "readonly": false,
35840
                   "write back": false,
35850
35860
                   "wwn": "1ade2d3a-db39-4880-8e80-59d51ca87c60"
35870
35880
35890
                   "attributes": {
                     "block size": 512,
35900
                     "emulate 3pc": 1.
35910
                     "emulate caw": 1.
35920
                     "emulate dpo": 0,
35930
                     "emulate_fua_read": 0,
35940
                     "emulate_fua_write": 1,
35950
                     "emulate model alias": 1,
35960
                     "emulate rest reord": 0.
35970
```

```
"emulate tas": 1,
35980
                     "emulate tpu": 0,
35990
                     "emulate_tpws": 0,
36000
                     "emulate ua intlck ctrl": 0,
36010
                     "emulate write cache": 0,
36020
                     "enforce pr isids": 1,
36030
                     "force pr aptpl": 0,
36040
                     "is nonrot": 0,
36050
                     "max_unmap_block_desc_count": 1,
36060
                     "max unmap 1ba count": 8192,
36070
                     "max write_same_len": 65535,
36080
                     "optimal sectors": 2048,
36090
                     "pi prot format": 0,
36100
                     "pi prot_type": 0,
36110
                      queue_depth": 128,
36120
                     "unmap_granularity": 2048,
36130
                     "unmap granularity alignment": 0
36140
36150
                   "dev": "/dev/vg1/1v-lun0002",
36160
                   "name": "lun0002",
36170
36180
                   "plugin": "block",
                   "readonly": false,
36190
                   "write back": false,
36200
                   "wwn": "50907dc1-06ff-4e27-877a-b68ffe949fd7"
36210
36220
36230
36240
                   "attributes": {
                     "block_size": 512,
36250
                     "emulate 3pc": 1,
36260
                     "emulate caw": 1,
36270
                     "emulate dpo": 0,
36280
                     "emulate_fua_read": 0.
36290
36300
                     "emulate fua write": 1,
                     "emulate model alias": 1.
36310
                     "emulate rest reord": 0,
36320
                     "emulate tas": 1,
36330
                     "emulate_tpu": 0,
36340
                     "emulate_tpws": 0,
36350
                     "emulate_ua_intlck_ctrl": 0,
36360
                     "emulate write cache": 0.
36370
                     "enforce_pr_isids": 1,
36380
```

```
"force pr aptp1": 0,
36390
                     "is nonrot": 0,
36400
                     "max_unmap_block_desc_count": 1,
36410
                     "max unmap 1ba count": 8192,
36420
                     "max_write_same_len": 65535,
36430
                     "optimal sectors": 2048,
36440
                     "pi_prot_format": 0,
36450
                     "pi_prot_type": 0,
36460
                      queue depth": 128,
36470
                     "unmap granularity": 2048,
36480
                     "unmap granularity alignment": 0
36490
36500
                   "dev": "/dev/vg1/1v-lun0001",
36510
                   "name": "lun0001",
36520
36530
                   "plugin": "block",
                   "readonly": false,
36540
36550
                   "write back": false,
36560
                   "wwn": "9a5889d7-4176-4e58-874e-46a15f47dc58"
36570
36580
                   "attributes": {
36590
36600
                     "block size": 512,
                     "emulate 3pc": 1,
36610
                     "emulate caw": 1.
36620
                     "emulate_dpo": 0,
36630
                     "emulate fua read": 0,
36640
                     "emulate fua write": 1,
36650
                     "emulate model alias": 1.
36660
                     "emulate_rest_reord": 0,
36670
                     "emulate tas": 1,
36680
                     "emulate_tpu": 0,
36690
                     "emulate_tpws": 0,
36700
                     "emulate_ua_intlck_ctrl": 0,
36710
                     "emulate_write_cache": 0,
36720
                     "enforce pr isids": 1.
36730
                     "force_pr_aptpl": 0,
36740
                     "is nonrot": 0,
36750
                     "max_unmap_block_desc_count": 1,
36760
                     "max_unmap_lba_count": 8192,
36770
                     "max_write_same_len": 65535,
36780
                     "optimal sectors": 2048.
36790
```

```
"pi_prot_format": 0,
36800
                     "pi_prot_type": 0,
36810
                      "queue_depth": 128,
36820
                     "unmap_granularity": 2048,
36830
                     "unmap granularity alignment": 0
36840
36850
36860
                   "dev": "/dev/vg1/1v-lun0000",
                   "name": "lun0000",
36870
                   "plugin": "block",
36880
                   "readonly": false,
36890
                   "write back": false,
36900
                   "wwn": "b77302c8-9db8-4889-8353-b0493cababe5"
36910
36920
             ],
"targets": [
36930
36940
36950
                   "fabric": "iscsi",
36960
                   "tpgs": [
36970
36980
                       "attributes": {
36990
37000
                         "authentication": 0,
                         "cache dynamic acls": 0,
37010
                         "default_cmdsn_depth": 128,
37020
                         "default erl": 0,
37030
                         "demo_mode_discovery": 1,
37040
                         "demo_mode_write_protect": 1,
37050
                         "fabric_prot_type": 0,
37060
                         "generate_node_acls": 0,
37070
                         "login_timeout": 15,
37080
                         "netif timeout": 2,
37090
37100
                         "prod mode write protect": 0,
                         "t10 pi": 0
37110
37120
                       "enable": true,
37130
                       "luns": [
37140
37150
                           "index": 0,
37160
                           "storage_object": "/backstores/block/lun0003"
37170
37180
                       ],
"node_acls": [
37190
37200
```

```
37210
                           "attributes": {
37220
                             "dataout_timeout": 3,
37230
                             "dataout_timeout_retries": 5,
37240
                             "default erl": 0,
37250
                             "nopin_response_timeout": 30,
37260
                             "nopin timeout": 15,
37270
37280
                             "random datain pdu offsets": 0,
                             "random datain seq offsets": 0,
37290
                             "random r2t offsets": 0
37300
37310
                            "chap_password": "password-user04",
37320
                           "chap userid": "iscsiuser04".
37330
                           "mapped luns": [
37340
37350
                                "index": 0,
37360
37370
                               "tpg lun": 0,
                               "write protect": false
37380
37390
37400
                           ],
"node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator04"
37410
37420
37430
                           "attributes": {
37440
                             "dataout_timeout": 3,
37450
                             "dataout timeout retries": 5,
37460
37470
                             "default_erl": 0,
                             "nopin_response_timeout": 30,
37480
                             "nopin timeout": 15,
37490
                             "random datain pdu offsets": 0,
37500
37510
                             "random datain seg offsets": 0,
                             "random_r2t_offsets": 0
37520
37530
                           "mapped_luns": [
37540
37550
                               "index": 0,
37560
37570
                               "tpg_lun": 0,
                               "write_protect": false
37580
37590
37600
                            "node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator03"
37610
```

```
37620
37630
                           "attributes": {
37640
                             "dataout_timeout": 3,
37650
                             "dataout_timeout_retries": 5,
37660
                             "default erl": 0,
37670
                             "nopin response timeout": 30,
37680
                             "nopin timeout": 15,
37690
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
37700
                             "random datain seq offsets": 0,
37710
                             "random r2t offsets": 0
37720
37730
                            chap password": "password-user02",
37740
                           "chap_userid": "iscsiuser02",
37750
                           "mapped luns": [
37760
37770
                               "index": 0,
37780
                               "tpg lun": 0,
37790
37800
                               "write protect": false
37810
37820
                           "node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator02"
37830
37840
37850
37860
                           ″attributes″:{
                             "dataout timeout": 3,
37870
                             "dataout_timeout_retries": 5,
37880
                             "default_erl": 0,
37890
                             "nopin_response_timeout": 30,
37900
                             "nopin timeout": 15,
37910
37920
                             "random datain pdu offsets": 0,
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
37930
                             "random_r2t_offsets": 0
37940
37950
                            chap_password": "password-user01",
37960
                           "chap_userid": "iscsiuser01",
37970
37980
                           "mapped luns": [
37990
                               "index": 0,
38000
                               "tpg lun": 0,
38010
                               "write protect": false
38020
```

```
38030
38040
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator01"
38050
38060
38070
                       "parameters":
38080
                         "AuthMethod": "CHAP, None",
38090
                         "DataDigest": "CRC32C, None",
38100
                         "DataPDUInOrder": "Yes",
38110
38120
                         "DataSequenceInOrder": "Yes",
                         "DefaultTime2Retain": "20",
38130
                         "DefaultTime2Wait": "2",
38140
                         "ErrorRecoveryLevel": "0",
38150
                         "FirstBurstLength": "65536",
38160
                         "HeaderDigest": "CRC32C, None",
38170
                         "IFMarkInt": "2048~65535",
38180
38190
                         "IFMarker": "No",
                         "ImmediateData": "Yes",
38200
38210
                         "InitialR2T": "Yes",
38220
                         "MaxBurstLength": "262144",
38230
                         "MaxConnections": "1".
                         "MaxOutstandingR2T": "1",
38240
                         "MaxRecvDataSegmentLength": "8192",
38250
                         "MaxXmitDataSegmentLength": "262144",
38260
                         "0FMarkInt": "2048~65535",
38270
                         "OFMarker": "No",
38280
                         "TargetAlias": "LIO Target"
38290
38300
38310
                       "portals": [
38320
                            "ip address": "10.110.88.59",
38330
                           "iser": false,
38340
38350
                           "port": 3260
38360
38370
38380
38390
38400
                          "ign. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0003
38410
38420
38430
```

```
"fabric": "iscsi",
38440
                   "tpgs": [
38450
38460
                       "attributes": {
38470
38480
                         "authentication": 0,
                         "cache dynamic acls": 0,
38490
                         "default cmdsn depth": 128,
38500
                         "default erl": 0,
38510
38520
                         "demo mode discovery": 1,
                         "demo mode write protect": 1,
38530
                         "fabric_prot_type": 0,
38540
                         "generate_node_acls": 0,
38550
                         "login timeout": 15,
38560
                         "netif timeout": 2,
38570
                         "prod_mode_write_protect": 0,
38580
                         "t10 pi": 0
38590
38600
                       "enable": true,
38610
38620
                       "luns": [
38630
                           "index": 0,
38640
38650
                           "storage object": "/backstores/block/lun0002"
38660
                       ],
"node_acls": [
38670
38680
38690
                           "attributes": {
38700
                             "dataout_timeout": 3,
38710
                             "dataout timeout retries": 5,
38720
                             "default erl": 0,
38730
38740
                             "nopin response timeout": 30,
                             "nopin timeout": 15,
38750
38760
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
                             "random datain seg offsets": 0,
38770
                             "random r2t offsets": 0
38780
38790
                            chap_password": "password-user04",
38800
                           "chap_userid": "iscsiuser04",
38810
                           "mapped_luns": [
38820
38830
                                "index": 0,
38840
```

```
"tpg_lun": 0,
38850
                                "write_protect": false
38860
38870
38880
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator04"
38890
38900
38910
                           "attributes": {
38920
                             "dataout timeout": 3,
38930
38940
                             "dataout timeout retries": 5,
                             "default_erl": 0,
38950
                             "nopin_response_timeout": 30,
38960
                             "nopin_timeout": 15,
38970
                             "random datain pdu offsets": 0,
38980
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
38990
                             "random r2t offsets": 0
39000
39010
                           "mapped_luns": [
39020
39030
39040
                                "index": 0,
39050
                                "tpg lun": 0,
                               "write protect": false
39060
39070
39080
                           "node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example: initiator 03"
39090
39100
39110
                           "attributes": {
39120
                              "dataout timeout": 3,
39130
                             "dataout timeout retries": 5,
39140
39150
                             "default erl": 0,
                             "nopin_response_timeout": 30,
39160
39170
                              "nopin timeout": 15,
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
39180
                             "random datain seg offsets": 0,
39190
                             "random r2t offsets": 0
39200
39210
                            "chap_password": "password-user02",
39220
                           "chap_userid": "iscsiuser02",
39230
                           "mapped_luns": [
39240
39250
```

```
"index": 0,
39260
                                "tpg_lun": 0,
39270
                                "write_protect": false
39280
39290
39300
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator02"
39310
39320
39330
                           "attributes": {
39340
39350
                              "dataout timeout": 3,
                             "dataout_timeout_retries": 5,
39360
                             "default_erl": 0,
39370
                             "nopin response timeout": 30,
39380
                              "nopin timeout": 15,
39390
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
39400
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
39410
                             "random r2t offsets": 0
39420
39430
39440
                            "chap_password": "password-user01",
39450
                           "chap_userid": "iscsiuser01",
39460
                           "mapped luns": [
39470
39480
                                "index": 0,
                                "tpg_lun": 0,
39490
                                "write_protect": false
39500
39510
39520
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator01"
39530
39540
39550
                        'parameters": {
39560
                         "AuthMethod": "CHAP, None",
39570
39580
                         "DataDigest": "CRC32C, None",
                         "DataPDUInOrder": "Yes",
39590
                         "DataSequenceInOrder": "Yes",
39600
                         "DefaultTime2Retain": "20",
39610
                         "DefaultTime2Wait": "2",
39620
                         "ErrorRecoveryLevel": "0",
39630
                         "FirstBurstLength": "65536",
39640
                         "HeaderDigest": "CRC32C, None",
39650
                         "IFMarkInt": "2048~65535",
39660
```

```
"IFMarker": "No",
39670
                         "ImmediateData": "Yes",
39680
                         "InitialR2T": "Yes",
39690
                         "MaxBurstLength": "262144",
39700
                         "MaxConnections": "1",
39710
                         "MaxOutstandingR2T": "1",
39720
39730
                         "MaxRecvDataSegmentLength": "8192",
                         "MaxXmitDataSegmentLength": "262144",
39740
                         "0FMarkInt": "2048~65535",
39750
                         "OFMarker": "No",
39760
                         "TargetAlias": "LIO Target"
39770
39780
                       "portals": [
39790
39800
                           "ip_address": "10.110.88.59",
39810
                           "iser": false,
39820
                           "port": 3260
39830
39840
39850
                       ],
"tag": 1
39860
39870
39880
                          "ign. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0002"
39890
39900
39910
                   "fabric": "iscsi",
39920
                   "tpgs": [
39930
39940
                       "attributes":
39950
                         "authentication": 0,
39960
                         "cache dynamic acls": 0,
39970
                         "default_cmdsn_depth": 128,
39980
39990
                         "default erl": 0,
                         "demo mode discovery": 1,
40000
                         "demo mode write protect": 1.
40010
                         "fabric_prot_type": 0,
40020
                         "generate node acls": 0,
40030
                         "login_timeout": 15,
40040
                         "netif timeout": 2,
40050
                         "prod mode write protect": 0,
40060
                         "t10 pi": 0
40070
```

```
40080
                        "enable": true,
40090
                       "luns": [
40100
40110
                           "index": 0,
40120
                           "storage_object": "/backstores/block/lun0001"
40130
40140
40150
                       ],
"node_acls": [
40160
40170
                           "attributes": {
40180
                             "dataout_timeout": 3,
40190
                             "dataout timeout retries": 5,
40200
                             "default erl": 0,
40210
                             "nopin_response_timeout": 30,
40220
                             "nopin_timeout": 15,
40230
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
40240
                             "random datain seg offsets": 0,
40250
40260
                             "random r2t offsets": 0
40270
40280
                            "chap password": "password-user04",
                           "chap userid": "iscsiuser04",
40290
                           "mapped luns": [
40300
40310
                                "index": 0,
40320
                                "tpg_lun": 0,
40330
                               "write protect": false
40340
40350
40360
                           "node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator04"
40370
40380
40390
40400
                           "attributes": {
                             "dataout timeout": 3,
40410
                             "dataout_timeout_retries": 5,
40420
                             "default erl": 0,
40430
                             "nopin_response_timeout": 30,
40440
                             "nopin_timeout": 15,
40450
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
40460
                             "random_datain_seq_offsets": 0,
40470
                             "random r2t offsets": 0
40480
```

```
40490
                            "chap_password": "password-user03",
40500
                           "chap_userid": "iscsiuser03",
40510
                           "mapped luns": [
40520
40530
                               "index": 0,
40540
                               "tpg lun": 0,
40550
                               "write protect": false
40560
40570
40580
                            "node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator03"
40590
40600
40610
40620
                            "attributes": {
                             "dataout_timeout": 3,
40630
                             "dataout_timeout_retries": 5,
40640
                             "default erl": 0,
40650
40660
                             "nopin_response_timeout": 30,
40670
                             "nopin timeout": 15,
40680
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
40690
                             "random datain seg offsets": 0,
                             "random r2t offsets": 0
40700
40710
                            "chap_password": "password-user02",
40720
                           "chap_userid": "iscsiuser02",
40730
                           "mapped luns": [
40740
40750
40760
                                "index": 0,
                                "tpg lun": 0,
40770
                               "write protect": false
40780
40790
40800
40810
                           "node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator02"
40820
40830
                           "attributes": {
40840
                             "dataout timeout": 3,
40850
                             "dataout_timeout_retries": 5,
40860
                             "default_erl": 0,
40870
                             "nopin_response_timeout": 30,
40880
                             "nopin timeout": 15,
40890
```

```
"random_datain_pdu_offsets": 0,
40900
                              "random_datain_seq_offsets": 0,
40910
                              "random r2t offsets": 0
40920
40930
                            "chap password": "password-user01".
40940
                           "chap userid": "iscsiuser01",
40950
                           "mapped luns": [
40960
40970
                                "index": 0,
40980
40990
                                "tpg lun": 0,
                                "write_protect": false
41000
41010
41020
                            "node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator01"
41030
41040
                      ],
"parameters": {
"Method"
41050
41060
                         "AuthMethod": "CHAP, None",
41070
41080
                         "DataDigest": "CRC32C, None",
                         "DataPDUInOrder": "Yes",
41090
                         "DataSequenceInOrder": "Yes",
41100
                         "DefaultTime2Retain": "20",
41110
                         "DefaultTime2Wait": "2",
41120
                         "ErrorRecovervLevel": "0",
41130
                         "FirstBurstLength": "65536",
41140
                         "HeaderDigest": "CRC32C, None",
41150
                         "IFMarkInt": "2048~65535",
41160
                         "IFMarker": "No".
41170
                         "ImmediateData": "Yes",
41180
                         "InitialR2T": "Yes",
41190
                         "MaxBurstLength": "262144",
41200
                         "MaxConnections": "1",
41210
                         "MaxOutstandingR2T": "1",
41220
                         "MaxRecvDataSegmentLength": "8192",
41230
                         "MaxXmitDataSegmentLength": "262144",
41240
                         "0FMarkInt": "2048~65535",
41250
                         "OFMarker": "No",
41260
                         "TargetAlias": "LIO Target"
41270
41280
                       "portals": [
41290
41300
```

```
"ip_address": "10.110.88.59",
41310
                            "iser": false,
41320
                           "port": 3260
41330
41340
                     ],
"tag": 1
41350
41360
41370
41380
                          "ign. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0001"
41390
41400
41410
                   "fabric": "iscsi",
41420
                   "tpgs": [
41430
41440
                       "attributes":
41450
                         "authentication": 0,
41460
                         "cache_dynamic_acls": 0,
41470
                         "default_cmdsn_depth": 128,
41480
41490
                         "default erl": 0,
                         "demo_mode_discovery": 1,
41500
41510
                         "demo mode write protect": 1,
                         "fabric prot type": 0,
41520
                         "generate_node_acls": 0,
41530
                         "login_timeout": 15,
41540
                         "netif_timeout": 2,
41550
                         "prod mode write protect": 0,
41560
                         "t10 pi": 0
41570
41580
                       "enable": true,
41590
                       "luns": [
41600
41610
                           "index": 0,
41620
41630
                           "storage object": "/backstores/block/lun0000"
41640
                      ],
"node_acls": [
41650
41660
41670
                           "attributes": {
41680
                             "dataout_timeout": 3,
41690
                             "dataout_timeout_retries": 5,
41700
                             "default erl": 0,
41710
```

```
"nopin_response_timeout": 30,
41720
                             "nopin_timeout": 15,
41730
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
41740
                             "random datain seg offsets": 0,
41750
                             "random r2t offsets": 0
41760
41770
                            "chap password": "password-user04",
41780
                           "chap userid": "iscsiuser04",
41790
                           "mapped_luns": [
41800
41810
                               "index": 0,
41820
                               "tpg_lun": 0,
41830
                               "write protect": false
41840
41850
                           ], "node_wwn": "iqn. 2016-09. com. example:initiator04"
41860
41870
41880
41890
41900
                           "attributes": {
                             "dataout timeout": 3,
41910
41920
                             "dataout timeout retries": 5,
41930
                             "default erl": 0,
                             "nopin_response_timeout": 30,
41940
                             "nopin_timeout": 15,
41950
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
41960
                             "random datain seg offsets": 0,
41970
                             "random r2t offsets": 0
41980
41990
                            "chap password": "password-user03",
42000
                           "chap userid": "iscsiuser03",
42010
42020
                           "mapped luns": [
42030
42040
                                "index": 0,
                               "tpg lun": 0,
42050
                               "write protect": false
42060
42070
42080
                           "node wwn": "iqn. 2016-09. com. example: initiator 03"
42090
42100
42110
                           "attributes": {
42120
```

```
"dataout_timeout": 3,
42130
                             "dataout_timeout_retries": 5,
42140
                             "default_erl": 0,
42150
                             "nopin_response_timeout": 30,
42160
                             "nopin_timeout": 15,
42170
                             "random datain pdu offsets": 0,
42180
                             "random datain seg offsets": 0,
42190
                             "random r2t offsets": 0
42200
42210
42220
                            chap_password": "password-user02",
                           "chap_userid": "iscsiuser02",
42230
                           "mapped luns": [
42240
42250
                               "index": 0,
42260
42270
                               "tpg_lun": 0,
                               "write protect": false
42280
42290
42300
                            "node_wwn": "ign. 2016-09. com. example:initiator02"
42310
42320
42330
                           "attributes": {
42340
                             "dataout_timeout": 3,
42350
                             "dataout_timeout_retries": 5,
42360
                             "default_erl": 0,
42370
                             "nopin response timeout": 30,
42380
                             "nopin timeout": 15,
42390
42400
                             "random_datain_pdu_offsets": 0,
                             "random datain seg offsets": 0,
42410
                             "random r2t offsets": 0
42420
42430
                            "chap_password": "password-user01",
42440
42450
                           "chap_userid": "iscsiuser01",
                           "mapped_luns": [
42460
42470
                               "index": 0,
42480
                               "tpg_lun": 0,
42490
                               "write_protect": false
42500
42510
42520
                           "node wwn": "ign. 2016-09. com. example: initiator 01"
42530
```

```
42540
42550
                       "parameters": {
42560
                         "AuthMethod": "CHAP, None",
42570
                         "DataDigest": "CRC32C, None",
42580
42590
                         "DataPDUInOrder": "Yes",
                         "DataSequenceInOrder": "Yes",
42600
                         "DefaultTime2Retain": "20",
42610
                         "DefaultTime2Wait": "2",
42620
42630
                         "ErrorRecoveryLevel": "0",
                         "FirstBurstLength": "65536",
42640
                         "HeaderDigest": "CRC32C, None",
42650
                         "IFMarkInt": "2048~65535",
42660
                         "IFMarker": "No",
42670
                         "ImmediateData": "Yes",
42680
                         "InitialR2T": "Yes",
42690
42700
                         "MaxBurstLength": "262144",
42710
                         "MaxConnections": "1",
42720
                         "MaxOutstandingR2T": "1"
42730
                         "MaxRecvDataSegmentLength": "8192",
42740
                         "MaxXmitDataSegmentLength": "262144",
42750
                         "0FMarkInt": "2048~65535",
                         "OFMarker": "No",
42760
                         "TargetAlias": "LIO Target"
42770
42780
                      },
"portals": [
42790
42800
                           "ip_address": "10.110.88.59",
42810
                           "iser": false,
42820
                           "port": 3260
42830
42840
42850
                      "tag": 1
42860
42870
42880
                          "ign. 2016-09. com. example: iscsitgt01-0000"
42890
42900
42910
42920
42930
            Active 機で、LIO の設定をクリアします。
42940
```

```
42950
42960
       sudo targetctl clear
42970
42980
       sudo targetcli ls /
       42990
         43000
          43010
43020
          o- fileio ...... [Storage Objects: 0]
43030
          o- pscsi ...... [Storage Objects: 0]
          o- ramdisk ...... [Storage Objects: 0]
43040
43050
         43060
         43070
       Active 機で、DRBD 上の LVM ボリュームグループを非活性化します。
43080
43090
43100
       sudo vgchange -a n vg1
43110
         0 logical volume(s) in volume group "vg1" now active
43120
43130
       sudo 1vs
43140
         LV
               VG
                         LSize
                              Pool Origin Data% Meta% Move Log Cpy%Sync Convert
                  Attr
43150
         1v-drbd0 vg0 -wi-ao--- 359.98g
43160
         1v-1un0 vg1 -wi---- 323.97g
43170
         1v-1un1 vg1 -wi---- 7.20g
43180
         1v-1un2 vg1 -wi---- 7.20g
43190
         1v-1un3 vg1 -wi---- 7.20g
43200
       Active 機で、DRBD リソースを secondary 化(デモート) します。
43210
43220
43230
       sudo drbdadm secondary all
43240
       Stand-by 機で、DRBD の状態を確認し、「Ctrl + C」を押下してワッチを停止します。
43250
43260
43270
       Every 2.0s: cat /proc/drbd
                                               Fri Nov 25 22:23:08 2016
43280
43290
       version: 8.4.5 (api:1/proto:86-101)
43300
       srcversion: 1AEFF755B8BD61B81A0AF27
        0: cs:Connected ro:Secondary/Secondary ds:UpToDate/UpToDate C r----
43310
43320
          ns:0 nr:228 dw:228 dr:377459420 al:0 bm:0 lo:0 pe:0 ua:0 ap:0 ep:1 wo:f oos:0
43330
       Active 機と Stand-by 機で、drbd.service を停止します。
43340
43350
```

```
sudo systemctl stop drbd. service
43360 a, s
43370
43380 a, s
            cat /proc/drbd
            cat: /proc/drbd: No such file or directory
43390
43400
            Active 機で、Corosync の認証を設定し、起動します。
43410
43420
43430
           sudo pcs cluster auth iscsitgt01a. example. com iscsitgt01s. example. com 10.110.88.57 10.110.88.58 ¥
            192.168.1.2 192.168.1.3 -u hacluster -p 'password' --force
43440
43450
            iscsitgt01s.example.com: Authorized
43460
            iscsitgt01a.example.com: Authorized
43470
            10.110.88.58: Authorized
43480
            192.168.1.2: Authorized
43490
            192.168.1.3: Authorized
43500
            10, 110, 88, 57: Authorized
43510
43520
           sudo cat /var/lib/pcsd/tokens
43530
43540
              "format version": 2,
              "data_version": 4.
43550
              "tokens":
43560
                "10. 110. 88. 57": "77189e9e-3be0-40ce-b81e-3e5e6525e885",
43570
                "10. 110. 88. 58": "9e3f4ae9-b15e-49c9-b6ee-eb8c1b91783a",
43580
                "192. 168. 1. 2": "53da862f-ad22-445b-8887-add50d385736",
43590
                "192.168.1.3": "4f78d9c6-34a4-4486-8ba1-e69f0d4e1257",
43600
                "iscsitgt01a.example.com": "002cd1c0-2ab2-4a4c-a1a7-4bf14b61b822".
43610
                "iscsitgt01s. example. com": "1a9981a9-04e6-461b-b904-c5df8b4c9815"
43620
43630
43640
43650
43660
            sudo pcs cluster setup --name iscsitgt01 10.110.88.57,192.168.1.2 10.110.88.58,192.168.1.3 ¥
            --transport=udp --rrpmode=passive -u hacluster -p 'password' --force
43670
43680
            Shutting down pacemaker/corosync services...
43690
            Redirecting to /bin/systemctl stop pacemaker.service
43700
            Redirecting to /bin/systemctl stop corosync.service
43710
            Killing any remaining services...
43720
            Removing all cluster configuration files...
43730
            10. 110. 88. 57: Succeeded
43740
            10. 110. 88. 58: Succeeded
43750
            Synchronizing pcsd certificates on nodes 10.110.88.57. 10.110.88.58...
43760
            10.110.88.57: Success
```

```
43770
            10.110.88.58: Success
43780
            Restaring pcsd on the nodes in order to reload the certificates...
43790
43800
            10.110.88.57: Success
43810
            10.110.88.58: Success
43820
43830
           cat /etc/corosync/corosync.conf
43840
            totem {
43850
                version: 2
43860
                secauth: off
                cluster_name: iscsitgt01
43870
43880
                transport: udp
                rrp_mode: passive
43890
43900
43910
43920
            nodelist {
43930
                node
43940
                    ring0_addr: 10.110.88.57
43950
                    ring1_addr: 192.168.1.2
43960
                    nodeid: 1
43970
43980
43990
                node
44000
                    ring0_addr: 10.110.88.58
                    ring1_addr: 192.168.1.3
44010
44020
                    nodeid: 2
44030
44040
44050
44060
            quorum
44070
                provider: corosync_votequorum
44080
                two node: 1
44090
44100
            logging {
44110
                to_logfile: yes
44120
44130
                logfile: /var/log/cluster/corosync.log
44140
                to_syslog: yes
44150
44160
           sudo pcs cluster start --all
44170
```

```
44180
           10.110.88.57: Starting Cluster...
44190
           10.110.88.58: Starting Cluster...
44200
44210
          sudo pes status corosvne
44220
           Membership information
44230
44240
              Nodeid
                          Votes Name
44250
                              1 10.110.88.57 (local)
                   1
44260
                   2
                             1 10. 110. 88. 58
44270
44280
          sudo pcs status
44290
           Cluster name: iscsitgt01
44300
           WARNING: no stonith devices and stonith-enabled is not false
44310
           WARNING: corosync and pacemaker node names do not match (IPs used in setup?)
44320
           Stack: corosync
           Current DC: iscsitgt01a. example. com (version 1.1.15-11.el7-e174ec8) - partition with quorum
44330
44340
           Last updated: Fri Nov 25 22:26:31 2016
                                              Last change: Fri Nov 25 22:26:26 2016 by hacluster via crmd on iscsitgt01a, example, com
44350
44360
           2 nodes and 0 resources configured
44370
44380
           Online: [ iscsitgt01a. example. com iscsitgt01s. example. com ]
44390
44400
           No resources
44410
44420
           Daemon Status:
44430
             corosync: active/disabled
44440
             pacemaker: active/disabled
             pcsd: active/enabled
44450
44460
                    「Current DC」が表示されるまで、何回か実行します。20秒以上かかるものと思われます。
44470
                    「Current DC」については、どちらが選ばれていてもあまり意味のある情報ではないので気にしないでください。
44480
                    「WARNING」について、前者は後で対応します。後者は pcs のバグ (RRP mode 未対応) なので無視してください。
44490
44500
           Active 機と Stand-by 機で、Corosync の状態とプロセスを確認します。
44510
44520
44530
          sudo corosync-cfgtool -s
44540
           Printing ring status.
44550
           Local node ID 1
44560
           RING ID 0
44570
                          = 10, 110, 88, 57
                  id
44580
                  status = ring 0 active with no faults
```

```
RING ID 1
44590
44600
                    id
                            = 192, 168, 1, 2
44610
                    status = ring 1 active with no faults
44620
44630
           sudo corosync-cfgtool -s
44640
            Printing ring status.
44650
            Local node ID 2
44660
            RING ID 0
44670
                    id
                            = 10. 110. 88. 58
44680
                    status = ring 0 active with no faults
44690
            RING ID 1
44700
                    id
                            = 192, 168, 1, 3
44710
                    status = ring 1 active with no faults
44720
                    egrep '[c]orosync|[p]acemaker'
44730 a, s
            ps -ef
44740
                      27483
                                 1 0 22:26 ?
                                                     00:00:02 corosync
            root
44750
                      27499
                                 1 0 22:26 ?
                                                     00:00:00 /usr/sbin/pacemakerd -f
            root
44760
            haclust+
                     27500
                            27499 0 22:26 ?
                                                     00:00:00 /usr/libexec/pacemaker/cib
44770
                             27499
                                    0 22:26 ?
                                                     00:00:00 /usr/libexec/pacemaker/stonithd
            root
                      27501
44780
            root
                      27502
                             27499
                                    0 22:26 ?
                                                     00:00:00 /usr/libexec/pacemaker/lrmd
                                                     00:00:00 /usr/libexec/pacemaker/attrd
44790
            haclust+
                     27503
                             27499
                                    0 22:26 ?
44800
                     27504
                             27499
                                    0 22:26 ?
                                                     00:00:00 /usr/libexec/pacemaker/pengine
            haclust+
44810
            haclust+ 27505
                            27499 0 22:26 ?
                                                     00:00:00 /usr/libexec/pacemaker/crmd
44820
           Active 機で、クラスタにリソースを登録します。
44830
44840
           sudo /etc/ha. d/crm. sh
44850
            Adding ms drbd r0 p lvm (kind: Mandatory) (Options: first-action=promote then-action=start)
44860
44870
           Active 機で、状態を確認します。
44880
44890
44900
           sudo pcs status
44910
            Cluster name: iscsitgt01
44920
            WARNING: corosync and pacemaker node names do not match (IPs used in setup?)
44930
            Stack: corosync
44940
            Current DC: iscsitgt01a.example.com (version 1.1.15-11.el7-e174ec8) - partition with quorum
            Last updated: Fri Nov 25 22:31:49 2016
                                                        Last change: Fri Nov 25 22:31:30 2016 by root via cibadmin on iscsitgt01s. example.com
44950
44960
44970
            2 nodes and 5 resources configured
44980
44990
            Online: [ iscsitgt01a. example. com iscsitgt01s. example. com ]
```

```
45000
45010
           Full list of resources:
45020
45030
             Master/Slave Set: ms drbd r0 [p drbd r0]
45040
                 p drbd r0 (ocf::linbit:drbd):
                                                    FAILED iscsitgt01a. example. com (unmanaged)
                 p_drbd_r0 (ocf::linbit:drbd):
                                                    FAILED iscsitgt01s. example. com (unmanaged)
45050
45060
             Resource Group: g tgt
45070
                            (ocf::heartbeat:LVM):
                 p 1vm
                                                    Stopped
45080
                 p lio
                            (ocf::heartbeat:LIO):
                                                    Stopped
45090
                            (ocf::heartbeat:VIP):
                 p vip
                                                    Stopped
45100
45110
           Failed Actions:
           * p_drbd_r0_stop_0 on iscsitgt01a. example. com 'not configured' (6): call=6, status=complete, exitreason='none',
45120
               last-rc-change='Sat Oct 29 18:33:24 2016', queued=0ms, exec=24ms
45130
           * p_lvm_start_0 on iscsitgt01a.example.com 'unknown error' (1): call=11, status=complete, exitreason='Volume group
45140
             [vg1] does not exist or contains error! Volume group "vg1" not found',
45150
               last-rc-change='Sat Oct 29 18:33:24 2016', queued=0ms, exec=101ms
45160
           * p_drbd_r0_stop_0 on iscsitgt01s, example, com 'not configured' (6): call=6, status=complete, exitreason='none',
45170
45180
               last-rc-change='Sat Oct 29 18:33:24 2016', queued=0ms, exec=23ms
           * p_lvm_start_0 on iscsitgt01s.example.com 'unknown error' (1): call=15, status=complete, exitreason='Volume group
45190
             [vg1] does not exist or contains error! Volume group "vg1" not found',
45200
45210
               last-rc-change='Tue Oct 29 18:33:24 2016', queued=0ms, exec=190ms
45220
45230
           Daemon Status:
45240
              corosync: active/disabled
45250
              pacemaker: active/disabled
45260
              pcsd: active/enabled
45270
           Active 機で、リソースのエラー情報をクリアします。
45280
45290
45300
           sudo pcs resource cleanup
45310
            Waiting for 1 replies from the CRMd. OK
45320
           Active 機で、状態を確認します。
45330
45340
45350
           sudo pcs status
45360
           Cluster name: iscsitgt01
45370
            WARNING: corosync and pacemaker node names do not match (IPs used in setup?)
45380
            Stack: corosync
           Current DC: iscsitgt01a.example.com (version 1.1.15-11.el7-e174ec8) - partition with quorum
45390
45400
           Last updated: Fri Nov 25 22:35:07 2016
                                                       Last change: Fri Nov 25 22:31:30 2016 by hacluster via crmd on iscsitgt01s.example.com
```

```
45410
            2 nodes and 5 resources configured
45420
45430
45440
            Online: [ iscsitgt01a. example. com iscsitgt01s. example. com ]
45450
45460
            Full list of resources:
45470
45480
             Master/Slave Set: ms drbd r0 [p drbd r0]
45490
                 Masters: [ iscsitgt01a.example.com ]
45500
                 Slaves: [ iscsitgt01s.example.com ]
45510
             Resource Group: g_tgt
45520
                 p 1vm
                             (ocf::heartbeat:LVM):
                                                     Started iscsitgt01a. example. com
45530
                 p lio
                             (ocf::heartbeat:LIO):
                                                     Started iscsitgt01a. example. com
45540
                             (ocf::heartbeat:VIP):
                                                     Started iscsitgt01a. example. com
                 p vip
45550
45560
            Daemon Status:
45570
              corosync: active/disabled
45580
              pacemaker: active/disabled
45590
              pcsd: active/enabled
45600
           Active 機と Stand-by 機で、設定情報を保存します。
45610
45620
            sudo pcs config | sudo tee /etc/ha.d/crm.conf
45630 a, s
45640
            Cluster Name: iscsitgt01
45650
            Corosync Nodes:
45660
             10. 110. 88. 57 10. 110. 88. 58
45670
            Pacemaker Nodes:
45680
             iscsitgt01a. example. com iscsitgt01s. example. com
45690
45700
            Resources:
45710
             Master: ms drbd r0
45720
              Meta Attrs: master-node-max=1 clone-max=2 clone-node-max=1 master-max=1 notify=true target-role=Started is-managed=true
45730
              Resource: p_drbd_r0 (class=ocf provider=linbit type=drbd)
45740
               Attributes: drbd resource=r0
45750
               Operations: start interval=0s timeout=240 (p drbd r0-start-interval-0s)
45760
                           monitor interval=10 role=Master timeout=20 (p drbd r0-monitor-interval-10)
45770
                           monitor interval=20 role=Slave timeout=20 (p drbd r0-monitor-interval-20)
45780
                           notify interval=0s timeout=90 (p_drbd_r0-notify-interval-0s)
45790
                           stop interval=0s timeout=100 (p_drbd_r0-stop-interval-0s)
45800
                           promote interval=0s timeout=90 (p drbd r0-promote-interval-0s)
                           demote interval=0s timeout=90 (p drbd r0-demote-interval-0s)
45810
```

```
45820
             Group: g tgt
45830
              Resource: p lvm (class=ocf provider=heartbeat type=LVM)
45840
               Attributes: volgrpname=vg1
45850
               Operations: start interval=0s timeout=30 (p lvm-start-interval-0s)
45860
                           monitor interval=5 timeout=10 (p lvm-monitor-interval-5)
45870
                           stop interval=0s timeout=30 (p lvm-stop-interval-0s)
45880
              Resource: p lio (class=ocf provider=heartbeat type=LIO)
45890
               Operations: start interval=0s timeout=10 (p lio-start-interval-0s)
45900
                           monitor interval=5 timeout=5 (p lio-monitor-interval-5)
45910
                           stop interval=0s timeout=10 (p lio-stop-interval-0s)
45920
              Resource: p vip (class=ocf provider=heartbeat type=VIP)
45930
               Attributes: ip=10.110.88.59 cidr_netmask=26 nic=bond0 iflabel=1 arp_interval=200 arp_count=5
45940
               Operations: start interval=0s timeout=20 (p vip-start-interval-0s)
45950
                           monitor interval=5 timeout=10 (p vip-monitor-interval-5)
45960
                           stop interval=0s timeout=20 (p vip-stop-interval-0s)
45970
45980
            Stonith Devices:
45990
            Fencing Levels:
46000
46010
            Location Constraints:
46020
              Resource: g tgt
46030
                Enabled on: iscsitgt01a.example.com (score:100) (id:1c tgt)
46040
            Ordering Constraints:
46050
              promote ms_drbd_r0 then start p_lvm (kind:Mandatory) (id:order-ms_drbd_r0-p_lvm-mandatory)
46060
            Colocation Constraints:
              g tgt with ms drbd r0 (score:INFINITY) (with-rsc-role:Master) (id:colocation-g tgt-ms drbd r0-INFINITY)
46070
46080
            Ticket Constraints:
46090
46100
            Alerts:
46110
             No alerts defined
46120
46130
            Resources Defaults:
46140
             resource-stickiness: 200
46150
             migration-threshold: 2
46160
            Operations Defaults:
46170
             No defaults set
46180
46190
            Cluster Properties:
46200
             batch-limit: 30
46210
             cluster-delay: 60
46220
             cluster-infrastructure: corosync
```

```
46230
             cluster-name: iscsitgt01
46240
             cluster-recheck-interval: 15min
46250
             crmd-finalization-timeout: 30min
             crmd-integration-timeout: 3min
46260
46270
             crmd-transition-delay: 0s
46280
             dc-deadtime: 20s
46290
             dc-version: 1.1.15-11.e17-e174ec8
46300
             default-action-timeout: 20
46310
             election-timeout: 2min
46320
             enable-acl: true
46330
             enable-startup-probes: true
46340
             have-watchdog: false
46350
             is-managed-default: true
46360
             load-threshold: 80%
46370
             maintenance-mode: false
46380
             migration-limit: -1
46390
             no-quorum-policy: ignore
46400
             node-action-limit: 0
46410
             node-health-green: 0
             node-health-red: -INFINITY
46420
46430
             node-health-strategy: none
46440
             node-health-yellow: 0
46450
             notification-agent: /dev/null
46460
             pe-error-series-max: 100
             pe-input-series-max: 100
46470
46480
             pe-warn-series-max: 100
46490
             placement-strategy: default
46500
             remove-after-stop: false
46510
             shutdown-escalation: 20min
46520
             start-failure-is-fatal: true
46530
             startup-fencing: true
46540
             stonith-action: reboot
46550
             stonith-enabled: false
             stonith-timeout: 60
46560
46570
             stop-all-resources: false
46580
             stop-orphan-actions: true
46590
             stop-orphan-resources: true
46600
             symmetric-cluster: true
46610
46620
            Quorum:
46630
              Options:
```

```
46640
           sudo cp -a /etc{, ~}/ha. d/crm. conf
46650 a, s
46660
           Active 機で、スイッチオーバ (手動フェイルオーバ) させます。
46670
46680
46690
           sudo pcs resource move g_tgt
46700
            Warning: Creating location constraint cli-ban-g tgt-on-iscsitgt01a.example.com with a score of -INFINITY for resource g tgt on
46710
            node iscsitgt01a. example. com.
46720
            This will prevent g tgt from running on iscsitgt01a, example, com until the constraint is removed. This will be the case even if
46730
             iscsitgt01a.example.com is the last node in the cluster.
46740
           Active 機で、状態を確認します。
46750
46760
46770
           sudo pcs status
46780
           Cluster name: iscsitgt01
46790
            WARNING: corosync and pacemaker node names do not match (IPs used in setup?)
46800
           Stack: corosync
           Current DC: iscsitgt01a.example.com (version 1.1.15-11.el7-e174ec8) - partition with quorum
46810
46820
           Last updated: Fri Nov 25 22:45:12 2016
                                                       Last change: Fri Nov 25 22:44:04 2016 by root via crm resource on iscsitgt01a.example.com
46830
46840
           2 nodes and 5 resources configured
46850
46860
           Online: [ iscsitgt01a, example, com iscsitgt01s, example, com ]
46870
46880
           Full list of resources:
46890
46900
             Master/Slave Set: ms drbd r0 [p drbd r0]
                Masters: [ iscsitgt01s.example.com
46910
46920
                 Slaves: [ iscsitgt01a.example.com ]
46930
             Resource Group: g_tgt
46940
                 p lvm
                            (ocf::heartbeat:LVM):
                                                    Started iscsitgt01s.example.com
46950
                p lio
                            (ocf::heartbeat:LIO):
                                                   Started iscsitgt01s.example.com
46960
                            (ocf::heartbeat:VIP):
                                                   Started iscsitgt01s. example. com
                 p_vip
46970
46980
            Daemon Status:
46990
             corosync: active/disabled
47000
             pacemaker: active/disabled
47010
             pcsd: active/enabled
47020
                    「p vip」のノードが変わるまで、何回か実行します。
47030
47040
```

```
Active 機で、設定変更を確認します。
47050
47060
           diff <(grep -v last-lrm-refresh /etc/ha.d/crm.conf) <(sudo pcs config | grep -v last-lrm-refresh)
47070
47080
           40a41
47090
           >
                 Disabled on: iscsitgt01a, example, com (score:-INFINITY) (role: Started) (id:cli-ban-g tgt-on-iscsitgt01a, example, com)
47100
           Active 機で、設定変更を元に戻します。
47110
47120
47130
           sudo pcs resource clear g tgt
47140
           diff <(grep -v last-lrm-refresh /etc/ha.d/crm.conf) <(sudo pcs config | grep -v last-lrm-refresh)
47150
           Active 機でリソースが起動した状態でない場合のみ、スイッチバック(フェイルバック)させます。
47160
47170
47180
           sudo pcs resource move g_tgt; sleep 5; sudo pcs resource clear g_tgt
           Warning: Creating location constraint cli-ban-g_tgt-on-iscsitgt01s.example.com with a score of -INFINITY for resource g_tgt on
47190
47200
            node iscsitgt01s.example.com.
47210
           This will prevent g tgt from running on iscsitgt01s.example.com until the constraint is removed. This will be the case even if
47220
            iscsitgt01s.example.com is the last node in the cluster.
47230
           Active 機で、状態を確認します。
47240
47250
47260
           sudo pcs status
47270
           Cluster name: iscsitgt01
47280
           WARNING: corosync and pacemaker node names do not match (IPs used in setup?)
47290
           Stack: corosync
47300
           Current DC: iscsitgt01a.example.com (version 1.1.15-11.el7-e174ec8) - partition with quorum
           Last updated: Fri Nov 25 22:48:03 2016
                                                      Last change: Fri Nov 25 22:47:34 2016 by root via crm_resource on iscsitgt01a.example.com
47310
47320
47330
           2 nodes and 5 resources configured
47340
47350
           Online: [ iscsitgt01a. example. com iscsitgt01s. example. com ]
47360
47370
           Full list of resources:
47380
47390
            Master/Slave Set: ms drbd r0 [p drbd r0]
47400
                Masters: [ iscsitgt01a.example.com ]
47410
                Slaves: [ iscsitgt01s.example.com ]
47420
            Resource Group: g_tgt
47430
                           (ocf::heartbeat:LVM):
                p 1vm
                                                   Started iscsitgt01a. example. com
47440
                           (ocf::heartbeat:LIO):
                p lio
                                                   Started iscsitgt01a, example, com
47450
                p_vip
                            (ocf::heartbeat:VIP):
                                                   Started iscsitgt01a. example. com
```

```
47460
47470
            Daemon Status:
47480
              corosync: active/disabled
47490
              pacemaker: active/disabled
47500
              pcsd: active/enabled
47510
           Active 機で、設定変更を確認します。
47520
47530
47540
           diff <(grep -v last-lrm-refresh /etc/ha.d/crm.conf) <(sudo pcs config | grep -v last-lrm-refresh)
47550
           Active 機と Stand-by 機で、状態を記録します。
47560
       \bigcirc
47570
           sudo pcs status | sudo tee /etc/ha.d/crm.status
47580 a, s
47590
            Cluster name: iscsitgt01
            WARNING: corosync and pacemaker node names do not match (IPs used in setup?)
47600
47610
            Stack: corosync
47620
           Current DC: iscsitgt01a.example.com (version 1.1.15-11.el7-e174ec8) - partition with quorum
47630
            Last updated: Fri Nov 25 22:49:57 2016
                                                        Last change: Fri Nov 25 22:47:34 2016 by root via crm resource on iscsitgt01a.example.com
47640
47650
            2 nodes and 5 resources configured
47660
47670
            Online: [ iscsitgt01a. example. com iscsitgt01s. example. com ]
47680
47690
            Full list of resources:
47700
47710
             Master/Slave Set: ms drbd r0 [p drbd r0]
47720
                 Masters: [ iscsitgt01a.example.com ]
47730
                 Slaves: [ iscsitgt01s.example.com ]
47740
             Resource Group: g tgt
47750
                            (ocf::heartbeat:LVM):
                 p 1vm
                                                    Started iscsitgt01a. example. com
47760
                            (ocf::heartbeat:LIO):
                 p lio
                                                    Started iscsitgt01a. example. com
47770
                            (ocf::heartbeat:VIP):
                                                    Started iscsitgt01a. example. com
                 p_vip
47780
47790
            Daemon Status:
47800
              corosync: active/disabled
47810
              pacemaker: active/disabled
47820
              pcsd: active/enabled
47830
           sudo cp -a /etc{, ~}/ha. d/crm. status
47840 a, s
47850
           Active 機で、クラスタを停止します。
47860
```

```
47870
47880
           sudo pcs cluster stop --all
47890
           10.110.88.57: Stopping Cluster (pacemaker)...
47900
           10.110.88.58: Stopping Cluster (pacemaker)...
47910
           10.110.88.58: Stopping Cluster (corosync)...
47920
           10.110.88.57: Stopping Cluster (corosync)...
47930
           Active 機と Stand-by 機で、再起動します。
47940
47950
47960 a, s
           sudo reboot
47970
           Active 機と Stand-by 機へ、管理者用一般ユーザにて、ssh でログインします。
47980
47990
           ssh admin@10.110.88.57
48000
           admin@10.110.88.57's password: ******
48010
48020
48030
           ssh admin@10.110.88.58
48040
           admin@10.110.88.58's password: ******
48050
           Active 機で、クラスタを起動します。
48060
48070
           sudo pcs cluster start --all
48080
48090
           10.110.88.57: Starting Cluster...
48100
           10.110.88.58: Starting Cluster...
48110
           Active 機で、状態を確認します。
48120
48130
48140
           sudo pcs status
48150
           Cluster name: iscsitgt01
48160
           WARNING: corosync and pacemaker node names do not match (IPs used in setup?)
48170
           Stack: corosync
48180
           Current DC: iscsitgt01s.example.com (version 1.1.15-11.el7-e174ec8) - partition with quorum
           Last updated: Fri Nov 25 23:06:32 2016
                                                      Last change: Fri Nov 25 23:06:30 2016 by root via crm resource on iscsitgt01s. example.com
48190
48200
48210
           2 nodes and 5 resources configured
48220
48230
           Online: [ iscsitgt01a. example. com iscsitgt01s. example. com ]
48240
48250
           Full list of resources:
48260
48270
            Master/Slave Set: ms_drbd_r0 [p_drbd_r0]
```

```
48280
                 Masters: [ iscsitgt01a.example.com ]
48290
                 Slaves: [ iscsitgt01s.example.com ]
             Resource Group: g_tgt
48300
                            (ocf::heartbeat:LVM):
48310
                 p_1vm
                                                    Started iscsitgt01a.example.com
48320
                 p_lio
                            (ocf::heartbeat:LIO):
                                                    Started iscsitgt01a.example.com
48330
                 p_vip
                            (ocf::heartbeat:VIP):
                                                    Started iscsitgt01a. example. com
48340
48350
            Daemon Status:
48360
             corosync: active/disabled
48370
              pacemaker: active/disabled
48380
             pcsd: active/enabled
48390
```

```
【Munin のインストールと初期設定】
48400
        \bigcirc
48410
             以下のインストーラを DVD ドライブにセットします。
48420
48430
48440 a, s
             # V834394-01. iso (Oracle Linux 7.3)
48450
             インストーラをマウントします。
48460
48470
48480 a, s
             sudo mount /dev/cdrom /mnt
             mount: /dev/sr0 is write-protected, mounting read-only
48490
48500
             インターネットと接続可能な端末で以下のコマンドを実行する等して、必要なパッケージを収集します。
48510
48520
48530
             curl -0 http://yum.oracle.com/repo/0racleLinux/0L7/optional/latest/x86 64/getPackage/perl-Crypt-DES-2.05-20.e17.x86 64.rpm
             curl -0 http://yum.oracle.com/repo/OracleLinux/OL7/optional/latest/x86_64/getPackage/perl-File-Copy-Recursive-0.38-14.e17.noarch.rpm
48540
             curl -0 http://yum.oracle.com/repo/0racleLinux/0L7/optional/latest/x86_64/getPackage/perl-Taint-Runtime-0.03-19.e17.x86_64.rpm
48550
             curl -0 http://yum.oracle.com/repo/0racleLinux/0L7/optional/latest/x86_64/getPackage/perl-XML-DOM-1.44-19.e17.noarch.rpm
48560
         0
             curl -0 http://vum.oracle.com/repo/0racleLinux/0L7/optional/latest/x86 64/getPackage/perl-XML-RegExp-0.04-2.el7.noarch.rpm
48570
48580
             curl -0 http://yum.oracle.com/repo/0racleLinux/0L7/optional/latest/x86_64/getPackage/rrdtool-perl-1.4.8-9.el7.x86_64.rpm
         О
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/m/munin-2.0.25-11.el7.noarch.rpm
48590
         О
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/m/munin-common-2.0.25-11.el7.noarch.rpm
48600
         О
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/m/munin-node-2.0.25-11.el7.noarch.rpm
48610
         О
48620
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-Cache-Cache-1.06-12.el7.noarch.rpm
         О
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-Email-Date-Format-1.002-15.el7.noarch.rpm
48630
         0
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-HTML-Template-2.95-1.el7.noarch.rpm
48640
         0
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86 64/p/perl-IO-Multiplex-1.13-6.el7.noarch.rpm
48650
         0
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-IPC-ShareLite-0.17-12.el7.x86_64.rpm
48660
         0
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-Log-Dispatch-2.41-1.el7.1.noarch.rpm
48670
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-Log-Dispatch-FileRotate-1.19-13.e17.noarch.rpm
48680
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-Log-Log4perl-1.42-2.el7.noarch.rpm
48690
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-MIME-Lite-3.030-1.el7.noarch.rpm
48700
         0
48710
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-MIME-Types-1.38-2.el7.noarch.rpm
         0
48720
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-Mail-Sender-0.8.23-1.el7.noarch.rpm
         О
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86_64/p/perl-Mail-Sendmail-0.79-21.el7.noarch.rpm
48730
         0
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86 64/p/perl-Net-CIDR-0.18-1.el7.noarch.rpm
48740
         0
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86 64/p/perl-Net-SNMP-6.0.1-7.el7.noarch.rpm
48750
         0
48760
             curl -0 https://dl.fedoraproject.org/pub/epel/7/x86 64/p/perl-Net-Server-2.007-2.el7.noarch.rpm
48770
             収集したパッケージをホームディレクトリにコピーし、確認します。
48780
48790
48800 a.s
             scp xxxx@vvv:per1-Crvpt-DES-2.05-20.e17.x86 64.rpm.
```

```
48810 a, s
            scp xxxx@vvv:perl-File-Copv-Recursive-0.38-14.el7.noarch.rpm.
           scp xxxx@yyy:perl-Taint-Runtime-0.03-19.e17.x86_64.rpm .
48820 a, s
           scp xxxx@yyy:perl-XML-DOM-1.44-19.e17.noarch.rpm.
48830 a, s
           scp xxxx@vvv:perl-XML-RegExp-0.04-2.e17.noarch.rpm.
48840 a, s
48850 a, s
           scp xxxx@yyy:rrdtool-perl-1.4.8-9.el7.x86_64.rpm.
           scp xxxx@yyy:munin-2.0.25-11.el7.noarch.rpm.
48860 a.s
           scp xxxx@yyy:munin-common-2.0.25-11.e17.noarch.rpm .
48870 a, s
48880 a, s
           scp xxxx@yyy:munin-node-2.0.25-11.e17.noarch.rpm.
48890 a, s
            scp xxxx@vyy:perl-Cache-Cache-1.06-12.el7.noarch.rpm.
48900 a, s
            scp xxxx@vyv:perl-Email-Date-Format-1.002-15.el7.noarch.rpm.
48910 a, s
            scp xxxx@vvv:perl-HTML-Template-2.95-1.el7.noarch.rpm.
48920 a, s
            scp xxxx@yyy:perl-IO-Multiplex-1.13-6.el7.noarch.rpm .
48930 a, s
            scp xxxx@vvv:perl-IPC-ShareLite-0.17-12.e17.x86 64.rpm.
48940 a, s
            scp xxxx@vvv:perl-Log-Dispatch-2.41-1.el7.1.noarch.rpm.
           scp xxxx@yyy:perl-Log-Dispatch-FileRotate-1.19-13.el7.noarch.rpm.
48950 a, s
48960 a, s
            scp xxxx@yyy:perl-Log-Log4perl-1.42-2.el7.noarch.rpm.
48970 a, s
           scp xxxx@yyy:perl-MIME-Lite-3.030-1.el7.noarch.rpm .
48980 a.s
           scp xxxx@yyy:perl-MIME-Types-1.38-2.el7.noarch.rpm.
           scp xxxx@yyy:perl-Mail-Sender-0.8.23-1.el7.noarch.rpm .
48990 a.s
           scp xxxx@yyy:perl-Mail-Sendmail-0.79-21.el7.noarch.rpm .
49000 a, s
           scp xxxx@yvy:perl-Net-CIDR-0.18-1.el7.noarch.rpm.
49010 a, s
49020 a, s
           scp xxxx@vvv:perl-Net-SNMP-6.0.1-7.e17.noarch.rpm.
49030 a, s
           scp xxxx@vvv:perl-Net-Server-2.007-2.e17.noarch.rpm.
49040
49050 a, s
           1s -1 *.rpm
49060
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 204328 Nov 25 23:11 munin-2.0.25-11.el7.noarch.rpm
49070
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 93672 Nov 25 23:12 munin-common-2.0.25-11.el7.noarch.rpm
49080
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 408204 Nov 25 23:12 munin-node-2.0.25-11.el7.noarch.rpm
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 93340 Nov 25 23:12 perl-Cache-Cache-1.06-12.el7.noarch.rpm
49090
49100
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 19920 Nov 25 23:11 perl-Crypt-DES-2.05-20.e17.x86 64.rpm
49110
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 17524 Nov 25 23:12 perl-Email-Date-Format-1.002-15.el7.noarch.rpm
49120
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 23164 Nov 25 23:11 perl-File-Copy-Recursive-0.38-14.el7.noarch.rpm
49130
            -rw-rw-r-- 1 admin admin
                                     77780 Nov 25 23:12 perl-HTML-Template-2.95-1.el7.noarch.rpm
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 25616 Nov 25 23:12 perl-IO-Multiplex-1.13-6.el7.noarch.rpm
49140
49150
            -rw-rw-r-- 1 admin admin
                                      31004 Nov 25 23:12 perl-IPC-ShareLite-0.17-12.el7.x86 64.rpm
49160
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 84300 Nov 25 23:12 perl-Log-Dispatch-2.41-1.el7.1.noarch.rpm
49170
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 25232 Nov 25 23:12 perl-Log-Dispatch-FileRotate-1.19-13.el7.noarch.rpm
49180
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 433560 Nov 25 23:12 perl-Log-Log4perl-1.42-2.el7. noarch.rpm
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 60212 Nov 25 23:12 perl-Mail-Sender-0.8.23-1.el7.noarch.rpm
49190
49200
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 29540 Nov 25 23:12 perl-Mail-Sendmail-0.79-21.el7.noarch.rpm
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 98316 Nov 25 23:12 perl-MIME-Lite-3.030-1.el7.noarch.rpm
49210
```

```
49220
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 39184 Nov 25 23:12 perl-MIME-Types-1.38-2.el7.noarch.rpm
49230
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 19640 Nov 25 23:12 perl-Net-CIDR-0.18-1.el7.noarch.rpm
49240
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 213136 Nov 25 23:12 perl-Net-Server-2.007-2.el7.noarch.rpm
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 105348 Nov 25 23:12 perl-Net-SNMP-6.0.1-7.el7.noarch.rpm
49250
49260
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 22496 Nov 25 23:11 perl-Taint-Runtime-0.03-19.el7.x86 64.rpm
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 141504 Nov 25 23:11 perl-XML-DOM-1.44-19.e17.noarch.rpm
49270
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 10628 Nov 25 23:11 perl-XML-RegExp-0.04-2.e17.noarch.rpm
49280
            -rw-rw-r-- 1 admin admin 42864 Nov 25 23:11 rrdtool-perl-1.4.8-9.el7.x86 64.rpm
49290
49300
49310 a.s
            file *.rpm
49320
            munin-2. 0. 25-11. e17. noarch. rpm:
                                                                   RPM v3.0 bin noarch munin-2.0.25-11.el7
49330
            munin-common-2. 0. 25-11. e17. noarch. rpm:
                                                                   RPM v3.0 bin noarch munin-common-2.0.25-11.e17
49340
            munin-node-2. 0. 25-11. e17. noarch. rpm:
                                                                   RPM v3.0 bin noarch munin-node-2.0.25-11.e17
49350
            perl-Cache-Cache-1.06-12.e17.noarch.rpm:
                                                                   RPM v3.0 bin noarch perl-Cache-Cache-1.06-12.e17
49360
            per1-Crvpt-DES-2.05-20.e17.x86 64.rpm:
                                                                   RPM v3.0 bin i386/x86 64 perl-Crypt-DES-2.05-20.e17
                                                                  RPM v3.0 bin noarch perl-Email-Date-Format-1.002-15.el7
49370
            perl-Email-Date-Format-1.002-15.el7.noarch.rpm:
49380
            perl-File-Copy-Recursive-0.38-14.e17.noarch.rpm:
                                                                   RPM v3.0 bin noarch perl-File-Copy-Recursive-0.38-14.e17
49390
            perl-HTML-Template-2.95-1.el7.noarch.rpm:
                                                                  RPM v3.0 bin noarch perl-HTML-Template-2.95-1.e17
49400
            perl-IO-Multiplex-1.13-6.el7.noarch.rpm:
                                                                   RPM v3.0 bin noarch perl-IO-Multiplex-1.13-6.el7
49410
            perl-IPC-ShareLite-0.17-12.el7.x86 64.rpm:
                                                                   RPM v3.0 bin i386/x86 64 perl-IPC-ShareLite-0.17-12.e17
49420
            perl-Log-Dispatch-2.41-1.el7.1.noarch.rpm:
                                                                  RPM v3.0 bin noarch perl-Log-Dispatch-2.41-1.el7.1
49430
            perl-Log-Dispatch-FileRotate-1.19-13.el7.noarch.rpm: RPM v3.0 bin noarch perl-Log-Dispatch-FileRotate-1.19-13.el7
49440
            perl-Log-Log4perl-1.42-2.el7.noarch.rpm:
                                                                   RPM v3.0 bin noarch perl-Log-Log4perl-1.42-2.e17
49450
            perl-Mail-Sender-0. 8, 23-1, el7, noarch, rpm:
                                                                   RPM v3.0 bin noarch perl-Mail-Sender-0.8.23-1.e17
49460
            perl-Mail-Sendmail-0.79-21.el7.noarch.rpm:
                                                                   RPM v3.0 bin noarch perl-Mail-Sendmail-0.79-21.e17
49470
            perl-MIME-Lite-3.030-1.el7.noarch.rpm:
                                                                   RPM v3.0 bin noarch perl-MIME-Lite-3.030-1.el7
49480
            perl-MIME-Types-1.38-2.e17.noarch.rpm:
                                                                   RPM v3.0 bin noarch perl-MIME-Types-1.38-2.e17
49490
            perl-Net-CIDR-0.18-1.el7.noarch.rpm:
                                                                   RPM v3.0 bin noarch perl-Net-CIDR-0.18-1.el7
            perl-Net-Server-2.007-2.e17.noarch.rpm:
49500
                                                                   RPM v3.0 bin noarch perl-Net-Server-2.007-2.e17
49510
            perl-Net-SNMP-6. 0. 1-7. e17. noarch. rpm:
                                                                   RPM v3.0 bin noarch perl-Net-SNMP-6.0.1-7.e17
            perl-Taint-Runtime-0.03-19.e17.x86 64.rpm:
49520
                                                                  RPM v3.0 bin i386/x86 64 perl-Taint-Runtime-0.03-19.e17
            per1-XML-DOM-1.44-19.e17.noarch.rpm:
                                                                  RPM v3.0 bin noarch perl-XML-DOM-1.44-19.e17
49530
49540
                                                                  RPM v3.0 bin noarch perl-XML-RegExp-0.04-2.e17
            per1-XML-RegExp-0.04-2.e17.noarch.rpm:
            rrdtool-perl-1.4.8-9.el7.x86 64.rpm:
                                                                  RPM v3.0 bin i386/x86 64 rrdtool-perl-1.4.8-9.e17
49550
49560
            Munin をインストールします。Oracle 社サポート外のパッケージです。
49570
       \bigcirc
49580
            sudo yum -y --disablerepo=\frac{\pmathbf{Y}}{\pmathbf{Y}} --enablerepo=media install httpd
49590 a, s
49600 a, s
            sudo yum -y --disablerepo=\frac{4}{2} --enablerepo=media localinstall munin-\frac{4}{2}.rpm perl-\frac{4}{2}.rpm
49610 a.s
            sudo my munin-*.rpm perl-*.rpm rrdtool-perl-*.rpm /opt/packages/
49620
```

```
インストーラをアンマウントします。
49630
49640
49650 a, s
            sudo umount /mnt
49660
49670
            インストーラをDVDドライブから外します。
49680
49690 a, s
           # Eject DVD
49700
           追加インストールしたパッケージの設定をバックアップします。
49710
49720
           sudo cp -a /etc{, ~}/cron. d/munin
49730 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/fonts
49740 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/httpd
49750 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/logrotate.d/httpd
49760 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/logrotate.d/munin
49770 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/logrotate.d/munin-node
49780 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/munin
49790 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/sysconfig/htcacheclean
49800 a, s
           sudo cp -a /etc{, ~}/sysconfig/httpd
49810 a, s
           sudo cp -a /etc/passwd /etc~/passwd_$(date +%Y\m\%d_\%H\\M\%S)
49820 a, s
           sudo cp -a /etc/passwd- /etc~/passwd- $(date +%Y%m%d %H%M%S)
49830 a, s
                                   /etc<sup>~</sup>/shadow $(date +%Y%m%d %H%M%S)
           sudo cp -a /etc/shadow
49840 a, s
           sudo cp -a /etc/shadow- /etc~/shadow-_$(date +%Y\m\%d_\%H\\M\\%S)
49850 a, s
           sudo cp -a /etc/group
                                    /etc~/group_$(date +%Y%m%d_%H%M%S)
49860 a, s
           sudo cp -a /etc/group- /etc~/group-_$(date +\%Y\\m\\d_\%H\\M\\S)
49870 a, s
           sudo cp -a /etc/gshadow /etc~/gshadow $(date +%Y%m%d %H%M%S)
49880 a, s
           sudo cp -a /etc/gshadow- /etc~/gshadow- $(date +%Y%m%d %H%M%S)
49890 a, s
49900
           DRBD, LIO に関するプラグインを作成します。
49910
      \bigcirc
49920
           cat << 'EOF' | sudo tee /usr/share/munin/plugins/drbd
49930 a, s
49940 a, s
           #!/usr/bin/perl
           #%# family=auto
49950 a, s
            #%# capabilities=autoconf
49960 a, s
           # http://www.drbd.org/en/doc/users-guide-84/ch-admin#s-performance-indicators
49970 a, s
49980 a, s
49990 a, s
           use strict;
           my $file="/proc/drbd";
50000 a, s
           my $store = {};
50010 a, s
50020 a.s
           mv $rid;
50030 a.s
```

```
50040 a, s
                          &crunch;
50050 a, s
                           &display;
50060 a, s
50070 a, s
                           sub display{
                               if ($ARGV[0] and $ARGV[0] eq "config") {
50080 a, s
                                    print "graph_title DRBD\n";
50090 a, s
                                    print "graph_category DRBD\n";
50100 a, s
                                    print "graph_info Graph DRBD\n";
50110 a, s
50120 a, s
                                    print "graph vlabel Graph DRBD (Bytes/sec)\formats";
                                    print "graph_scale yes\n";
50130 a, s
                                    print "graph_args --base 1024 --lower-limit 0\fm";
50140 a, s
                                    print "graph_period second\u00e4n";
50150 a, s
                                    print "graph_height 200\formats";
50160 a, s
                                    print "graph_width 400\formation";
50170 a, s
                                    print "graph_printf %7.21f\fmathbf{Y}n";
50180 a, s
50190 a, s
                                    foreach my $key (keys %$store) {
                                        my $drbdname = 'drbd'. $key;
50200 a, s
50210 a, s
                                        print $drbdname. "dr. label $drbdname Disk Read\u00e4n";
                                        print $drbdname. "dw. label $drbdname Disk Write\n"
50220 a, s
                                        print $drbdname. "ns. label $drbdname Network Send¥n";
50230 a, s
                                        print $drbdname. "nr. label $drbdname Network Receive\n";
50240 a, s
                                        print $drbdname. "os. label $drbdname Out of Sync\formation";
50250 a, s
                                        print $drbdname. "dr. cdef ". $drbdname. "dr, 1024, *\footnote ";
50260 a, s
                                        print $drbdname. "dw. cdef". $drbdname. "dw, 1024, *\footnotes";
50270 a, s
                                        print $drbdname. "ns. cdef ". $drbdname. "ns, 1024, *\footnote 1024, *\foo
50280 a, s
                                        print $drbdname. "nr. cdef". $drbdname. "nr. 1024. *\footnotes";
50290 a, s
                                        print $drbdname. "os. cdef ". $drbdname. "os, 1024, *\footnote n";
50300 a, s
                                        print $drbdname. "dr. min 0\fm";
50310 a, s
                                        print $drbdname. "dw. min 0\formation";
50320 a, s
                                        print $drbdname. "ns. min 0\fm";
50330 a, s
                                        print $drbdname. "nr. min 0\fm";
50340 a, s
                                        print $drbdname. "os. min 0\formation";
50350 a, s
                                        print $drbdname. "dr. type DERIVE¥n";
50360 a, s
                                        print $drbdname. "dw. type DERIVE¥n";
50370 a, s
                                        print $drbdname. "ns. type DERIVE\n";
50380 a, s
                                        print $drbdname. "nr. type DERIVE\n";
50390 a, s
                                        print $drbdname. "os. type DERIVE¥n";
50400 a, s
50410 a, s
50420 a, s
                                    exit 0;
50430 a.s
                               foreach my $key ( keys %$store ) {
50440 a.s
```

```
my $drbdname = 'drbd'. $kev;
50450 a, s
                 print $drbdname. "dw. value ". $store-> {$key}-> {' dw' }. "\fm";
50460 a, s
                 print $drbdname. "dr. value ". $store-> {$key}-> {' dr' }. "\n";
50470 a, s
                 print $drbdname. "ns. value ". $store-> {$key}-> {' ns' }. "\forall n";
50480 a, s
                 print $drbdname. "nr. value ". $store-> {$key}-> {'nr'}. "\n";
50490 a, s
                 print $drbdname. "os. value ". $store->{$key}->{'os'}. "\n";
50500 a, s
50510 a, s
50520 a, s
50530 a, s
50540 a, s
             sub crunch{
               open (IN, $file) || die "Could not open $file for reading: $!";
50550 a, s
               if ($ARGV[0] and $ARGV[0] eq "autoconf") {
50560 a, s
50570 a, s
                 close (IN);
                 print "yes\n";
50580 a, s
50590 a, s
                 exit 0;
50600 a, s
50610 a, s
               while (<IN>) {
50620 a, s
                 next if /version: GIT-hash:/;
50630 a, s
                 chomp;
                 my (\$drbd) = \$_= ^{^*} /^*Ys+(^*Yd):/;
50640 a, s
                 $rid = $drbd if $drbd = \(^{\text{Yd}}\);
50650 a, s
50660 a, s
                my (sns) = s_{=}^{n} /ns: (Yd*)/; store->{ srid }->{'ns'} = sns if sns ne undef;
                 my (nr) = -r /nr: (r); store - { rid } - { rid } - { ri' } = nr if ns ne undef;
50670 a, s
                 my (dw) = = - dw: (Yd*)/; $store->{ $rid }->{' dw'} = $dw if $dw ne undef;
50680 a, s
                 my (dr) = = - /dr: (dr); dr); dr) = dr if dr ne undef;
50690 a, s
                 my (sos) =  = \sim /oos:(Yd*)/; $store\rightarrow{ $rid }\rightarrow{'os'} = $os if $os ne undef;
50700 a, s
50710 a, s
               close (IN);
50720 a, s
50730 a, s
50740 a, s
50750 a, s
             exit 0;
50760 a, s
            EOF
            sudo chmod 755 /usr/share/munin/plugins/drbd
50770 a, s
50780 a, s
            cat << 'EOF' | sudo tee /usr/share/munin/plugins/drbd al
50790 a, s
50800 a, s
             #!/usr/bin/perl
50810 a, s
             #%# family=auto
50820 a, s
             #%# capabilities=autoconf
            # http://www.drbd.org/en/doc/users-guide-84/ch-admin#s-performance-indicators
50830 a, s
50840 a.s
50850 a, s
             use strict;
```

```
my $file="/proc/drbd";
50860 a, s
             my $store = {};
50870 a, s
50880 a, s
             my $rid;
50890 a, s
50900 a, s
             &crunch;
50910 a, s
             &display;
50920 a, s
50930 a, s
             sub display{
50940 a, s
               if ($ARGV[0] and $ARGV[0] eq "config") {
                 print "graph_title DRBD (Activity Log)\formatter{Yn";
50950 a, s
                 print "graph_category DRBD\n";
50960 a, s
                 print "graph_info Graph DRBD (Activity Log)\fmathbf{Y}n";
50970 a, s
                 print "graph_vlabel Graph DRBD (Activity Log)\formatter{\text{Yn}";}
50980 a, s
                 print "graph_scale yes\n";
50990 a, s
                 print "graph_args --base 1024 --lower-limit 0\fm";
51000 a, s
51010 a, s
                 print "graph_period second\n";
                  print "graph_height 200\formats";
51020 a, s
51030 a, s
                 print "graph_width 400\fm";
                 print "graph_printf %7.21f\fmathbf{Y}n";
51040 a, s
                 foreach my $key ( keys %$store ) {
51050 a, s
                    my $drbdname = 'drbd'.$key;
51060 a, s
                    print $drbdname. "al. label $drbdname Activity log\formatter";
51070 a, s
                    print $drbdname. "al. min 0\fm";
51080 a, s
                     print $drbdname. "al. type DERIVE\n";
51090 a, s
51100 a, s
51110 a, s
                  exit 0;
51120 a, s
               foreach my $key ( keys %$store ) {
51130 a, s
                 my $drbdname = 'drbd'.$key;
51140 a, s
                 print $drbdname. "al. value ". $store-> {$key}-> {'al'}. "\n";
51150 a, s
51160 a, s
51170 a, s
51180 a, s
             sub crunch{
51190 a, s
               open (IN, $file) | | die "Could not open $file for reading: $!";
51200 a, s
               if ($ARGV[0] and $ARGV[0] eq "autoconf") {
51210 a, s
51220 a, s
                  close (IN);
                 print "yes\formalfont";
51230 a, s
51240 a, s
                  exit 0;
51250 a. s
               while (<IN>) {
51260 a.s
```

```
next if /version: |GIT-hash:/;
51270 a, s
51280 a, s
                 chomp;
                 my (\$drbd) = \$_=^{^{\prime}} / \$_{S} + (\$d) : /;
51290 a, s
                 $rid = $drbd if $drbd = \(^{\text{Y}}\) /\text{4}/;
51300 a, s
                 my (a1) = a = a1: (a); a = a if a ne undef;
51310 a, s
51320 a, s
               close (IN);
51330 a, s
51340 a, s
51350 a, s
51360 a, s
             exit 0;
51370 a, s
             EOF
51380 a, s
             sudo chmod 755 /usr/share/munin/plugins/drbd_al
51390 a, s
                          | sudo tee /usr/share/munin/plugins/drbd_ext
51400 a, s
             cat << 'EOF'
             #!/usr/bin/perl
51410 a, s
51420 a, s
             #%# family=auto
             #%# capabilities=autoconf
51430 a, s
             # http://www.drbd.org/en/doc/users-guide-84/ch-admin#s-performance-indicators
51440 a, s
51450 a, s
51460 a, s
             use strict;
            my $file="/proc/drbd";
51470 a, s
            my $store = {};
51480 a, s
             my $rid;
51490 a, s
51500 a, s
51510 a, s
             &crunch;
51520 a, s
             &display;
51530 a, s
51540 a, s
             sub display{
               if ($ARGV[0] and $ARGV[0] eq "config") {
51550 a, s
51560 a, s
                 print "graph_title DRBD (Ext)\forall Yn";
                 print "graph_category DRBD\n";
51570 a, s
                 print "graph_info Graph DRBD (Ext)\forall Yn";
51580 a, s
                 print "graph_vlabel Graph DRBD (Ext)\n";
51590 a, s
                 print "graph_scale yes\n";
51600 a, s
                 print "graph_args --base 1024 --lower-limit 0\fm";
51610 a, s
                 print "graph_period second\u00e4n";
51620 a, s
                 print "graph_height 200\formats";
51630 a, s
                 print "graph_width 400\fm";
51640 a, s
51650 a, s
                 print "graph_printf %7.21f\fmathfrak{Y}n";
                 foreach my $key (keys %$store){
51660 a. s
                   my $drbdname = 'drbd'.$key;
51670 a, s
```

```
51680 a, s
                     print $drbdname. "bm. label $drbdname Bit Map\n";
                     print $drbdname. "lo. label $drbdname Local count¥n";
51690 a, s
51700 a, s
                     print $drbdname. "pe. label $drbdname Pending\formation";
51710 a, s
                     print $drbdname. "ua. label $drbdname UnAcknowledged\n";
                     print $drbdname. "ap. label $drbdname Application Pending\n";
51720 a, s
                     print $drbdname. "ep. label $drbdname Epochs\n";
51730 a, s
51740 a, s
51750 a, s
                  exit 0;
51760 a, s
                foreach my $key ( keys %$store ) {
51770 a, s
                  my $drbdname = 'drbd'. $key;
51780 a, s
                                                 ". $store-> {$key}-> {'bm'}. "\n";
51790 a, s
                  print $drbdname. "bm. value
                  print $drbdname. "lo. value
51800 a, s
                                                  '.$store->{$kev}->{'10'}."\n";
                  print $drbdname. "pe. value
                                                  '.$store->{$key}->{'pe'}."\n";
51810 a, s
                  print $drbdname. "ua. value
                                                 ". store \rightarrow {skey} \rightarrow {ua'}. "yn";
51820 a, s
                  print $drbdname. "ap. value ". $store-> {$key}-> {'ap'}. "\n";
51830 a, s
                  print $drbdname. "ep. value ". $store-> {$key}-> {'ep'}. "\n";
51840 a, s
51850 a, s
51860 a, s
51870 a, s
51880 a, s
              sub crunch{
                open (IN, $file) | die "Could not open $file for reading: $!";
51890 a, s
                if ($ARGV[0] and $ARGV[0] eq "autoconf") {
51900 a, s
51910 a, s
                  close (IN);
                  print "yes\function";
51920 a, s
                  exit 0;
51930 a, s
51940 a, s
51950 a, s
                while (<IN>) {
                  next if /version:|GIT-hash:/;
51960 a, s
51970 a, s
                  chomp;
                  my (\$drbd) = \$_ = ^/ *Ys + (Yd) : /;
51980 a, s
                  $rid = $drbd if $drbd = \ \Yd/;
51990 a, s
                  my ($bm) = \frac{1}{2} = \frac{h}{bm} : (\frac{4}{4})/; $store->{ $rid }->{'bm'} = $bm if $bm ne undef;
52000 a, s
                  my (10) = 10 (10); 10 (10); 10) = 10 (10) = 10 (10) = 10 (10) = 10 (10) = 10 (10) = 10
52010 a, s
                  my ($pe) = \frac{1}{2} = \frac{1}{pe} : (\frac{4}{4}); $store->{ $rid }->{'pe'} = $pe if $pe ne undef;
52020 a, s
                  my (\frac{1}{2}ua) = \frac{1}{2} /ua: (\frac{1}{4}d*)/; \frac{1}{2}tore->{ \frac{1}{2}ua'} = \frac{1}{2}ua if \frac{1}{2}ua ne undef;
52030 a, s
                  my ($ap) = $_ =~ /ap: ($d*)/; $store->{ $rid }->{'ap'} = $ap if $ap ne undef;
52040 a, s
                      (\$ep) = \$_= ^{\sim} /ep: (Yd*)/; \$store-> { $rid }-> {'ep'} = \$ep if $ep ne undef;
52050 a, s
52060 a, s
                close (IN);
52070 a. s
52080 a.s
```

```
52090 a, s
52100 a, s
            exit 0;
52110 a, s
            EOF
52120 a, s
            sudo chmod 755 /usr/share/munin/plugins/drbd_ext
52130 a, s
                           sudo tee /usr/share/munin/plugins/lio_read
            cat << 'EOF'
52140 a, s
52150 a, s
            #!/bin/sh
52160 a, s
            #%# family=auto
52170 a, s
            #%# capabilities=autoconf
52180 a, s
            if [ "$1" = "autoconf" ]; then
52190 a, s
              if [ -d /sys/kernel/config/target/iscsi/iqn.*/tpgt_1 ]; then
52200 a, s
52210 a, s
                echo ves
52220 a, s
              else
                echo 'no (no iscsi target)'
52230 a, s
52240 a, s
              fi
52250 a, s
              exit 0
52260 a, s
            fi
            if [ "$1" = "config" ]; then
52270 a, s
52280 a, s
              echo 'graph_title LIO (Read)'
52290 a, s
              echo 'graph category LIO'
              echo 'graph_info Graph LIO (Read)'
52300 a, s
              echo 'graph_vlabel Graph LIO (Bytes/sec)'
52310 a, s
              echo 'graph_scale yes'
52320 a, s
                    'graph_args --base 1024 --lower-limit 0'
52330 a, s
              echo
                    'graph_period second'
52340 a, s
               echo
                     'graph_height 200'
52350 a, s
               echo
            # echo 'graph_width 400'
52360 a, s
52370 a, s
               echo 'graph_printf %7.21f'
52380 a, s
52390 a, s
              TGT_{=}
52400 a, s
              INI =
              for i in $(echo /sys/kernel/config/target/iscsi/iqn.*/tpgt_1/acls/iqn.*/*/statistics/scsi_auth_intr/read_mbytes | LANG=C sort)
52410 a, s
52420 a, s
52430 a, s
                 TGT=$(echo $i |
                                  cut -d/-f7
                INI=$(echo $i
                                  cut -d/ -f10)
52440 a, s
                                  cut -d/ -f11)
52450 a, s
                LUN=$(echo $i |
                if [ "$TGT_" = "$TGT" ]; then
52460 a, s
                   if [ "$INI_" = "$INI" ]; then
52470 a, s
52480 a.s
52490 a.s
                   else
```

```
52500 a, s
                     INI =$INI
                     INI_F=$(echo $INI | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9_]!!g')
52510 a, s
52520 a, s
                   fi
52530 a, s
                 else
52540 a, s
                    TGT = TGT
                    TGT_F=$(echo $TGT | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9_]!!g')
52550 a, s
52560 a, s
                    INI =$INI
                    INI_F=$(echo $INI | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9_]!!g')
52570 a, s
                    for j in $(echo /sys/kernel/config/target/iscsi/$TGT/tpgt 1/lun/*/statistics/scsi tgt port/read mbytes | LANG=C sort)
52580 a, s
52590 a, s
                      LUN_{=}(echo \ \ j \ \ | \ cut \ -d/ \ -f10)
52600 a, s
                      echo ${TGT_F}$LUN_. label $(echo $TGT | cut -d: -f2) ¥($LUN_¥) Read
52610 a, s
                      echo ${TGT_F}$LUN_.cdef ${TGT_F}$LUN_, 1048576, \*
52620 a, s
                      echo ${TGT_F}$LUN_.min 0
52630 a, s
                      echo ${TGT_F}$LUN_. type DERIVE
52640 a, s
52650 a, s
                    done
                 fi
52660 a, s
                 echo ${TGT_F}${INI_F}$LUN. label $(echo $TGT | cut -d: -f2) - $(echo $INI | cut -d: -f2) ¥($LUN\) Read
52670 a, s
                 echo ${TGT_F}${INI_F}$LUN.cdef ${TGT_F}${INI_F}$LUN, 1048576, \**
52680 a, s
                 echo ${TGT_F}${INI_F}$LUN.min 0
52690 a, s
                 echo ${TGT F}${INI F}$LUN. type DERIVE
52700 a, s
52710 a, s
              done
              exit 0
52720 a, s
52730 a, s
            fi
52740 a, s
52750 a, s
            TGT =
52760 a, s
            INI =
            for i in $(echo /sys/kernel/config/target/iscsi/iqn.*/tpgt_1/acls/iqn.*/*/statistics/scsi_auth_intr/read_mbytes | LANG=C sort)
52770 a, s
52780 a, s
            do
              TGT=\$(echo \$i \mid cut -d/ -f7)
52790 a, s
              INI=$(echo $i
52800 a, s
                               cut -d/-f10
52810 a.s
              LUN=(echo i | cut -d/ -f11)
              if [ "$TGT_" = "$TGT" ]; then
52820 a, s
                 if [ "$INI " = "$INI" ]; then
52830 a, s
52840 a, s
52850 a, s
                 else
52860 a, s
                   INI =$INI
                   INI_F=$(echo $INI | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9_]!!g')
52870 a, s
52880 a, s
                fi
52890 a.s
              else
                  TGT_=$TGT
52900 a.s
```

```
TGT_F=$(echo $TGT | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9_]!!g')
52910 a, s
52920 a, s
                  INI =$INI
                  INI_F=$(echo $INI | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9_]!!g')
52930 a, s
52940 a, s
                  for j in $(echo /sys/kernel/config/target/iscsi/$TGT/tpgt_1/lun/*/statistics/scsi_tgt_port/read_mbytes | LANG=C sort)
52950 a, s
                    LUN_{=}(echo \ \ j \mid cut -d/ -f10)
52960 a, s
                    echo -n "$ {TGT_F} $LUN_. value
52970 a, s
52980 a, s
                    cat $i
52990 a, s
                  done
               fi
53000 a, s
              echo -n "${TGT_F}${INI_F}$LUN. value "
53010 a, s
53020 a, s
               cat $i
53030 a, s
            done
53040 a, s
53050 a, s
            exit 0;
53060 a, s
            EOF
            sudo chmod 755 /usr/share/munin/plugins/lio_read
53070 a, s
53080 a, s
53090 a, s
            cat << 'EOF'
                           | sudo tee /usr/share/munin/plugins/lio_write
53100 a, s
            #!/bin/sh
            #%# family=auto
53110 a, s
53120 a, s
            #%# capabilities=autoconf
53130 a, s
            if \lceil "\$1" = "autoconf" \rceil; then
53140 a, s
              if [ -d /sys/kernel/config/target/iscsi/iqn.*/tpgt_1 ]; then
53150 a, s
53160 a, s
                 echo ves
53170 a, s
               else
                 echo 'no (no iscsi target)'
53180 a, s
53190 a, s
              fi
53200 a, s
               exit 0
53210 a, s
            fi
53220 a, s
            if [ "$1" = "config" ]; then
              echo 'graph_title LIO (Write)'
53230 a, s
              echo 'graph_category LIO'
53240 a, s
                    'graph_info Graph LIO (Write)'
53250 a, s
                    'graph_vlabel Graph LIO (Bytes/sec)'
53260 a, s
               echo
                    'graph_scale yes'
53270 a, s
               echo
                    'graph_args --base 1024 --lower-limit 0'
53280 a, s
               echo
               echo 'graph_period second'
53290 a, s
            # echo 'graph_height 200'
53300 a.s
            # echo 'graph_width 400'
53310 a.s
```

```
echo 'graph printf %7.21f'
53320 a, s
53330 a, s
53340 a, s
              TGT_=
53350 a, s
               INI =
53360 a, s
               for i in $(echo /sys/kernel/config/target/iscsi/iqn.*/tpgt_1/acls/iqn.*/*/statistics/scsi_auth_intr/write_mbytes | LANG=C sort)
53370 a, s
53380 a, s
                 TGT=\$(echo \$i \mid cut -d/-f7)
                                   cut -d/-f10)
53390 a, s
                 INI=$(echo $i |
53400 a, s
                 LUN=(echo i cut -d/-f11)
                 if [ "$TGT_" = "$TGT" ]; then
53410 a, s
                   if [ "$INI_" = "$INI" ]; then
53420 a, s
53430 a, s
53440 a, s
                   else
53450 a, s
                     INI =$INI
                     INI_F=$(echo $INI | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9 ]!!g')
53460 a, s
53470 a, s
                   fi
53480 a, s
                 else
53490 a.s
                    TGT = TGT
                    TGT_F=$(echo $TGT | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9_]!!g')
53500 a, s
53510 a, s
                    INI =$INI
                    INI_F=$(echo $INI | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9_]!!g')
53520 a, s
53530 a, s
                    for j in $(echo /sys/kernel/config/target/iscsi/$TGT/tpgt 1/lun/*/statistics/scsi tgt port/write mbytes | LANG=C sort)
53540 a, s
                     do
                      LUN_{=}(echo \ \ j \ | \ cut \ -d/ \ -f10)
53550 a, s
                      echo ${TGT_F}$LUN_.label $(echo $TGT | cut -d: -f2) \text{$($LUN_\text{$\forall}) Write}
53560 a, s
                      echo ${TGT F}$LUN .cdef ${TGT F}$LUN .1048576, \pm\*
53570 a, s
53580 a, s
                       echo ${TGT F}$LUN .min 0
                       echo ${TGT_F}$LUN_. type DERIVE
53590 a, s
53600 a, s
                     done
53610 a, s
                 fi
                 echo ${TGT_F}${INI_F}$LUN.label $(echo $TGT | cut -d: -f2) - $(echo $INI | cut -d: -f2) \times($LUN\times) Write
53620 a, s
53630 a, s
                 echo ${TGT_F}${INI_F}$LUN.cdef ${TGT_F}${INI_F}$LUN, 1048576, \frac{\pmathbf{x}}*
                 echo ${TGT_F}${INI_F}$LUN.min 0
53640 a, s
                 echo ${TGT F}${INI F}$LUN. type DERIVE
53650 a, s
53660 a, s
               done
53670 a, s
               exit 0
53680 a, s
            fi
53690 a, s
53700 a, s
            TGT_=
53710 a.s
            INI =
53720 a. s
            for i in $(echo /sys/kernel/config/target/iscsi/iqn.*/tpgt_1/acls/iqn.*/*/statistics/scsi_auth_intr/write_mbytes | LANG=C sort)
```

```
53730 a, s
            do
53740 a, s
              TGT=\$(echo \$i \mid cut -d/-f7)
              INI=$(echo $i |
53750 a, s
                              cut -d/-f10
53760 a, s
              LUN=$(echo $i
                              cut -d/-f11)
              if [ "$TGT_" = "$TGT" ]; then
53770 a, s
                if [ "$INI_" = "$INI" ]; then
53780 a, s
53790 a, s
53800 a, s
                else
53810 a, s
                  INI =$INI
                  INI_F=$(echo $INI | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9_]!!g')
53820 a, s
53830 a, s
                fi
53840 a, s
              else
53850 a, s
                 TGT = TGT
                 TGT_F=$(echo $TGT | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9_]!!g')
53860 a, s
53870 a, s
                 INI =$INI
                 INI_F=$(echo $INI | tr "[:upper:]" "[:lower:]" | sed -e 's/-/_/g' -e 's![^a-z0-9_]!!g')
53880 a, s
                 for j in $(echo /sys/kernel/config/target/iscsi/$TGT/tpgt_1/lun/*/statistics/scsi_tgt_port/write_mbytes | LANG=C sort)
53890 a, s
53900 a, s
                 do
                   LUN_=\$(echo \$j \mid cut -d/ -f10)
53910 a, s
                   echo -n "$ {TGT_F} $LUN_. value
53920 a, s
53930 a, s
                   cat $i
53940 a, s
                 done
              fi
53950 a, s
              echo -n "${TGT_F}${INI_F}$LUN. value "
53960 a, s
53970 a, s
              cat $i
53980 a, s
            done
53990 a, s
54000 a, s
            exit 0;
54010 a, s
            EOF
            sudo chmod 755 /usr/share/munin/plugins/lio_write
54020 a, s
54030 a, s
            有効化されている不要なプラグインを無効化します。
54040
54050
            sudo rm /etc/munin/plugins/postfix mail*
54060 a, s
            sudo rm /etc/munin/plugins/fw packets
54070 a, s
54080
            Munin の稼働状況をグラフ化するプラグインを有効化します。
54090
54100
                           sudo tee /etc/munin/plugin-conf.d/munin-node
54110 a, s
            cat << 'EOF'
            [diskstats]
54120 a. s
54130 a, s
            user munin
```

```
54140 a, s
            [iostat_ios]
54150 a, s
54160 a, s
            user root
54170 a, s
54180 a, s
            [munin *]
54190 a, s
            user munin
54200 a, s
            EOF
            cat << 'EOF'
                          sudo tee -a /etc/munin/plugin-conf.d/munin-node
54210 a, s
54220 a, s
54230 a, s
            [http loadtime]
            env. target http://127.0.0.1/server-status
54240 a, s
54250 a, s
            env. requisites true
54260 a, s
            EOF
            cat << 'EOF' | sudo tee /etc/httpd/conf. d/status.conf
54270 a, s
            <IfModule mod_status.c>
54280 a, s
54290 a, s
                ExtendedStatus On
54300 a, s
                <Location /server-status>
54310 a, s
                     SetHandler server-status
54320 a, s
                     Order deny, allow
54330 a, s
                     Deny from all
                     Allow from 127.0.0.1
54340 a, s
54350 a, s
                </Location>
            </IfModule>
54360 a, s
54370 a, s
            EOF
            sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/apache_accesses' '/etc/munin/plugins/apache_accesses'
54380 a, s
            sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/apache_processes' '/etc/munin/plugins/apache_processes'
54390 a, s
            sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/apache_volume' '/etc/munin/plugins/apache_volume'
54400 a, s
            sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/http_loadtime' '/etc/munin/plugins/http_loadtime'
54410 a, s
            sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/munin_stats' '/etc/munin/plugins/munin_stats'
54420 a, s
            sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/munin_update' '/etc/munin/plugins/munin_update' sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/iostat' '/etc/munin/plugins/iostat'
54430 a, s
54440 a, s
            sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/iostat ios' '/etc/munin/plugins/iostat ios'
54450 a. s
54460
            ネットワーク統計の詳細情報をグラフ化するプラグインを有効化します。
54470
54480
            sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/netstat_multi' '/etc/munin/plugins/netstat_multi'
54490 a, s
54500
            DRBD の稼働状況をグラフ化するプラグインを有効化します。
54510
54520
            sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/drbd' '/etc/munin/plugins/drbd'
54530 a. s
            sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/drbd al' '/etc/munin/plugins/drbd al'
54540 a.s
```

```
sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/drbd ext' '/etc/munin/plugins/drbd ext'
54550 a, s
54560
           Munin にホスト名を登録します。
54570
54580
54590 a, s
           sudo sed -i -e "s/host_name .*\$/host_name $(uname -n)/" /etc/munin/munin-node.conf
           sudo sed -i -e "s/\frac{\pmax}{\pmax}[localhost/[\frac{\pmax}{\pmax}(uname -n)/" /etc/munin/munin.conf
54600 a, s
54610
           PrivateTmp 機能を無効化します。
54620
54630
           sudo sed -i -e 's/PrivateTmp=.**/PrivateTmp=false/' /usr/lib/systemd/system/munin-node.service
54640 a, s
54650 a, s
           sudo systemctl daemon-reload
54660
           ベーシック認証設定を行います。
54670
54680
           sudo htpasswd -c -b /etc/munin/munin-htpasswd munin 'password'
54690 a, s
           sudo htpasswd -b /etc/munin/munin-htpasswd admin 'password'
54700 a, s
           sudo htpasswd -b /etc/munin/munin-htpasswd monitor 'password'
54710 a, s
54720
54730
          LIO の稼働状況をグラフ化するプラグインを有効化します。
54740
           sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/lio_read' '/etc/munin/plugins/lio_read'
54750 a, s
           sudo ln -s '/usr/share/munin/plugins/lio write' '/etc/munin/plugins/lio write'
54760 a, s
54770
           Active 機で、Munin 関連サービスを自動起動するように変更し、起動します。
54780
54790
54800
          sudo systemctl enable munin-node. service
          sudo systemctl enable httpd. service
54810
54820
           sudo systemctl start munin-node. service
54830
           sudo systemctl start httpd. service
54840
54850
           数十分待ってから、ブラウザでアクセスし、動作を確認します。
54860
54870
          # http://10.110.88.57/munin
54880
           リソースをスイッチオーバします。
54890
54900
54910
           sudo pcs resource move g_tgt; sleep 5; sudo pcs resource clear g_tgt
54920
           Stand-by 機で、Munin 関連サービスを自動起動するように変更し、起動します。
54930
54940
54950
          sudo systemctl enable munin-node, service
```

```
54960
           sudo systemctl enable httpd. service
           sudo systemctl start munin-node. service
54970
54980
           sudo systemctl start httpd. service
54990
55000
           数十分待ってから、ブラウザでアクセスし、動作を確認します。
55010
55020
           # http://10.110.88.58/munin
55030
55040
           リソースをスイッチバックします。
55050
55060
           sudo pcs resource move g_tgt; sleep 5; sudo pcs resource clear g_tgt
55070
           LIO の統計情報を定期保存する設定を行います。
55080
55090
55100 a, s
           sudo mkdir -p /etc/lio
           sudo mkdir -p /var/log/lio/
55110 a, s
55120 a, s
55130 a, s
           cat << 'EOF'
                         sudo tee /etc/lio/save
           #!/bin/sh
55140 a, s
           FILE=/dev/shm/lio-$(date +%Y%m%d%H%M)
55150 a, s
           for i in $(find /sys/kernel/config/target ! -type d | LANG=C sort)
55160 a, s
            do echo [$i]; cat $i; echo; done > $FILE 2> /dev/null
55170 a, s
           gzip $FILE
55180 a, s
           mv $FILE.gz /var/log/lio/
55190 a, s
55200 a, s
           EOF
55210 a, s
           sudo chmod 755 /etc/lio/save
55220 a, s
                         sudo tee /etc/lio/statistics
55230 a, s
           cat << 'EOF'
           #!/bin/sh
55240 a, s
           FILE=/dev/shm/lio-statistics-$(date +%Y%m%d%H%M)
55250 a, s
           55260 a, s
           for i in $(for k in /sys/kernel/config/target/{core/*/*/,iscsi/*/{fabric_,tpgt_1/{acls/*/{fabric_,*/}},lun/*/}}}statistics; do echo $k; done | LANG=C sort)
55270 a. s
            do for j in $(find $i ! -type d | LANG=C sort); do echo [$j]; cat $j; echo; done; done > $FILE 2> /dev/null
55280 a, s
55290 a, s
           gzip $FILE
           mkdir -p /var/log/lio/$YYYYMMDD/
55300 a, s
55310 a, s
           my $FILE.gz /var/log/lio/$YYYYMMDD/
55320 a, s
           EOF
           sudo chmod 755 /etc/lio/statistics
55330 a, s
55340 a, s
           cat << 'EOF' | sudo tee /etc/cron.d/lio
55350 a, s
           59 * * * * root nice -n 19 /etc/lio/save
55360 a.s
```

当文書で紹介した構成で初期構築をご希望の方は、メール(mailto: si@pc-office.net)にてお問い合わせください。
リモートアクセスによる構築サービスを、弊社提示のヒアリング事項(当文書の緑色で記載した部分)以外のカスタマイズはなしとの前提で、サーバ1台あたり10万円(税別)という超特価にてご提供中です。
1号機と2号機(Active 機と Stand-by 機)サーバの物理構成は同一構成との前提です。
カスタマイズやドキュメントの提供、個別訪問等は、別途ご相談となります。
クラスタの起動停止、スイッチオーバ(手動フェイルオーバ)以外の動作確認、結合試験、障害試験、性能試験等は、別途ご相談となります。
インストールメディアからインストールできない環境やコンソールにリモートアクセスできない環境でのインストールも別途ご相談となります。
監視設定(障害監視、リソース監視、セキュリティ監視等)については、別途ご相談となります。
UEFI 対応、ハードウェア固有のドライバや管理ソフト等のインストールについては、別途ご相談となります。
当該サーバには、消失したら困るデータは存在していない前提での作業となります。
既に動いている CentOS を置き換えるインストールの場合、ヒアリング事項を弊社で調査して提示することも可能です。
例えば、IBM Bluemix(SoftLayer)のベアメタルサーバの場合、CentOS7をあらかじめインストールした状態で弊社へお引き渡し頂ければ、お客様の手間を省くことができます。

弊社での正式サポートは、お客様が当該サーバ用の Oracle Linux サブスクリプションを契約中か NRI OpenStandia に相談窓口をお持ちで、 代理で問い合わせを行うという前提を取らさせていただくことになります。費用はご相談ください。

サーバの調達・CE作業費用、OS 等のライセンス費用、サブスクリプション費用等はすべて別料金となります。

OS を Oracle Linux (UEK カーネル) に置き換えずに、RHEL・CentOS で構築することも可能ですが、制限事項についてご相談ください。

MySQL や PostgreSQL、Oracle の冗長構成構築サービスも鋭意開発中です。商品開発に関するリクエストがあればお知らせください。 検討させていただきます。